（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.1.12
Vol.609

見開き **拡大２TOP 対談「五十嵐理事長×向井委員長」**

2019 年度役職者の意気込み
なになに理事長
京都会議と所沢 JC 交流事業

- １月度例会アワー
  新年賀詞交歓会のみどころ
- 次月事業 PR
  ２月例会アワー
  ～ボルガチョフから学ぶ
  プロモーション～
- 年間事業 PR
- バースデー会員新年の抱負

◆2019 年度 基本理念

目の前の人を本物の笑顔にする　そのためにはまず自分が笑顔になろう
「与え続ける覚悟」を持つたくましい青年であれ

◆2019 年度 ポリシー

我々はこの地域を真剣に想い、持続的な発展に向け仕組み作りをしていく。
限界などない、先の見えないステージに飛び込むからこそ成長がある。
同志と真剣に向き合う事で新しい視野を手に入れ世界を広げよう。

◆2019 年度 スローガン

always　challenge　自分達の手で切り開こう　新たな未来

１月度例会アワー
新年賀詞交歓会のみどころ

本年度の賀詞交歓会を担当させていただきます河内正美です。賀詞交歓会ほ毎年１月に開催され１年間のスタートをきる大事な事業という事でとても緊張しています。
今回の事業で会員の皆様には武生青年会議所の熱い想いと方向性をしっかりと理解して頂きたいと思っています。その上でこれから始まる武生青年会議所活動に参加して頂き、会員同士の絆をより一層深め素晴らしい１年間にして欲しいと願っています。また本日参加して頂ける来賓や先輩諸氏の皆様にも積極的に交流し、親睦を深めて欲しいと思います。
本日は皆様どうぞ宜しくお願い致します。

次月事業 PR ２月例会アワー
プロモーション事業　～ボルガチョフから学ぶプロモーション～

共感を生み出すまちづくり委員会委員長の水野です。
２月度例会アワー　プロモーション事業～ボルガチョフから学ぶプロモーション～　を２月７日越前市文化センター小ホールにて事業させて頂きます。
皆さんは「プロモーション」とはどういうものかご存知ですか？「PR」は皆さん知っていると思いますし、今まで少なからず PR したこともあると思います。しかし PR の「来てください・待っています」等ではなくて、どうしたら人に来てもらえるか、どうしたら興味を持ってもらえるか、という事を考えていくことがプロモーションです。
今回の事業では日本ボルガライス協会会長のボルガチョフである波多野翼氏をお呼びしてプロモーションとはどういったものか、波多野氏はボルガライスをどのように全国区にまで押し上げたのかをお話しして頂きます。そのお話を基にグループワークで皆さんに社業のプロモーションを考えて頂き、会社に持ち帰って頂きたいと思っております。
「プロモーション」の勉強は必ず社業、今後の青年会議所活動に活かせると考えます。
２月７日にお待ちしていますので、よろしくお願い致します。

年間事業 PR

しろばんシニア事業 PR　「しろばんシニア」を通じ、特別会員の方には本年の取り組みや方向性、結果や効果を知って頂き、現役会員との距離を近くすることが出来ます。また現役会員の方には特別会員に配信する「しろばんシニア」の情報を共有し、かつ特別会員に現役メンバーの想いを伝える事ができますし、再度自分たちの活動を見直す事ができます。１月・４月・６月・８月・12 月にウェブにて閲覧できますので、是非ご覧ください。

褒賞（ほうしょう）事業 PR　褒賞に関しては AP を正確に集計して、褒賞審査時に有効な審査資料の１つとなるようにしたいと思います。そして全ての委員会、委員の方々に優秀賞の審査対象になって頂きたいので、例会や委員会の出席等を奨励し、褒賞事業の時にみなさんにドキドキして頂きたいと思います。AP や出席が全てではありませんが、この世に無駄なことは１つも無いと思います。よろしくお願い致します。

しろばん事業 PR　2019 年度のしろばんは情報や知識を共有できるような、また会員同士の関係構築の切っ掛けとなる様に取材から記事構成までしていきます。そんな対内広報誌としての役割は勿論のこと、会社や家庭に持ち帰っていただいて、社員やご家族に自身の所属する会が「『なに』を『なぜ』おこなっているのか」を伝えるツールとして活用していただきたいと考えています。皆様の JC ライフが学び多く、また円滑になる一助となる様に邁進していきます。

バースデー会員

寺尾　健一郎 君

事務局の山崎さんのお話に触発され、昨年キャンプ道具を買い揃えたものの、キャンプに行けたのは１回だけ。来年は慌ただしい一年になると思いますが、3,4 回くらいは家族でキャンプに出かけたいと思います。青年会議所は 40 歳までですが、日々成長する子供たちの姿を見ていると、子供たちと過ごせる時間も本当に限られているなと感じます。家族に良い思い出を残せる１年にしたいと思っています。

板倉　恒太 君

私の 2019 年の抱負は仕事に情熱を注ぎ込む事です。この言葉を言うと以前まで注ぎ込んでいなかったのではないかと思われるかもしれませんが、昨年は一時期仕事を疎かにしてしまった部分もありました。我々経営者というのは常に見られているという意識を持ち、今年は昨年を超えるくらい仕事に没頭したいと思います。

田中　慎二 君

2019 年　元旦。この日 40 歳という節目を迎えました。とうとう 40 歳！若いとは言えない…。とにかく仕事に遊びと、何をするにも体が健康でないとはじまらない！40 歳からは、体に気を使って頑張りたいと思います。
この節目年の抱負は、【健康一番】。
目標は、年内に「禁煙」「25㎏ダイエット」「週３回の禁酒」……頑張ります !!

倉橋　豊 君

私の 2019 年の抱負は、人に迷惑をかけないです。
僕はこの抱負に色々な意味を込めました。
社業においては、お客様の要望に迅速、丁寧に応える。それが出来ないと迷惑になると考えます。JC においても、出席を果たす。や、資料などの期日を守るがそれに当たると思います。これらは、当たり前だと思われがちですが、やはりこの部分が人としての根底ではないでしょうか？ですから、2019 年は人に迷惑をかけない。と致します。

地区フォーラム実行委員会って？

地区フォーラム実行委員長 山崎　侑 君

来る７月６日「地区フォーラム 2019in 越前」開催に向けて、２月から全会員対象の地区フォーラム実行委員会を開会します。現役会員の私達が経験した事の無い規模の大会を企画運営するという事は、担当委員会や理事メンバーという括りではなく全会員一人ひとりが担いを持ち、意見を持ち、前のめりになる、そのような武生 JC が必要不可欠です。実行委員会は私達全員！目的を同じくして武生 JC 一丸となり地区フォーラムを大成功させましょう！

編集後記

会員開発委員会 委員 谷崎　翔大 君

しろばん記事作成に際し、インタビュー・資料作り等をさせていただきました。質問内容を考える中でどうやったら記事を見ていただいた皆さんの心に止まるかを自分たちなりに考えてインタビューをさせていただきました。今回の経験を踏まえ、今後はもっともっと読み手の心を掴んでいけるような、そしておもしろい記事作りを心掛けてやっていきたいと思いました。

理事長×向井委員長」

てた三四郎の田中秀隆君にJCに興味あるんなら話し聞いてみんかってことで川端委員長のときに川端委員長から話しを言われて、最初に川端委員長がお前今日決めろJC入ったらまずこんな議案を書かなあかんでってまず議案書を見せてきて、この団体はやばいなぁって思いました。で入らなかったんですよ。そしたら次の週ぐらいに田中陽祐君から電話かかってきて、宮本先輩がいたんです。「今日入れや」みたいなこと言ったみたいやけどお前そんなこと言ったらあかんぞって、そのときに川端さんに怒ったんですよ、僕の目の前で。そんな拡大あかんぞって。あぁ、まともな人がいるって思って。そこで書いてしまったんですよ」

全員(笑)

佐々木「コントじゃないですか」
向井「今思うとやられたなって思います。そのあと宮本さんは僕を財政局次長とかにしてくれてちゃんと面倒見てくれてJCが好きになるきっかけを与えてくれたと思います」

棚田「JC以外の周りの人へのJCという団体の落とし込みや理解についてお聞きします。家族や友人、自社の社員はJCのことをどう思っていますか。また今後はどのように思ってほしいですか」
五十嵐「家族はまちのためにしてるんでしょうっていう雰囲気です。いいんじゃない、行っておいでの感覚。良い部分も悪い部分も包み隠さず、社員にも奥さんにも全部伝えてるのでおそらく良い部分ってのを捉えてくれていると思います。どう思ってほしいかっていうと影響力ある団体なんやなって思ってほしいです。それに尽きるかな。なんというか、行っているからこそ、こうフィードバックしてくれている部分はあるって社員も感じてくれているんですよ。入る前と入ってからの僕を知ってくれているので、社員も奥さんも。なので、僕が兄に感じたようなことを社員も感じてくれている。この前言われたのは副店長にだんだん遠くに行ってしまう気がするって言われたんですよ。いやいや、そんなことないんですよと。あなたに近いままで身の丈にあってないようなことを今やっている、やってのけれているだけなんだっていうのを言ったんですけど、そうやって言ってくれたってことは、多少なりとも経営者として成長しているっていう部分を見てくれてるのかなって思ったんで…」
向井「まずそうですね、今年僕が次年度委員長をやるってことを言って、委員長っていう役職のことを話して、昼間出ないといけないことが多くなってくることがあるかもしれないと。その分日曜日毎日働くって言ったんですね。そしたらこいつ本気でJCやっているんだっていうのを感じたらしくて、なんか認めてくれているんだなって思います。去年は武生JCが結構新聞に載りまして、うちの父が新聞よく読む人なので、まちのためのことやってるんだなっていうのを、うすうす感じてくれているのかなって。だからもう家族には僕が何をやっているのかっていうのは言いますので、それを素直に聞いてそれを信じてほしいですね。いっぱい親に迷惑かけてきたんであんまり僕のいうこと信じてくれないですけど。まちのためにやってます「それは自分のためになります会社のためになるんです」っていうのをちゃんと伝えていけたらなって思います」

棚田「ありがとうございました」

なに？なに？理事長

この「なに？なに？役職」のコーナーではその役職でしか経験できない事や醍醐味など、取材を通して分かりやすくお伝えいたします。記念すべき第一回目は「理事長」です。
最大の醍醐味はやはり会が目指していく方向性を示せる部分ですね。これは理事長という立場だからこそと出来ることだと思います。その点はやっぱり理事長としては大きいかなと。武生JCがどこへ行こうとしているかなんて、なかなか他の立場では言えないじゃないか。その点はしっかりと考えないといけないと思っているし、逆を返すと特権ですね。
出会いという部分に特化するのであれば、会員会議所などで他のLOMの理事長と同じ理事長という立場で思いっきり喋れるっていう機会があること。これは理事長しか出来ない事の一つですね。
五十嵐理事長、取材にご協力頂きまして、ありがとうございました。

京都会議と所沢交流事業

1967年1月20日～22日、社団法人日本青年会議所通常総会が京都にて開催されて以来「1年の計は京都会議にあり！」青年会議所における「年度」は4月からではなく1月1日から始まります。そして、当年度に日本の青年会議所が行うすべての活動は当年度会頭の所信および基本方針に基づいて行われます。本年も日本中から多くの志あるJCメンバーが京都の地にて一堂に会します。また京都会議では兄弟JC締結33年目を迎える(公社)所沢青年会議所との交流が開催されます。兄弟JCとしてふさわしい交流を京都だけでなく所沢や武生の地を行き来しあいながら毎年行ってきました。そして本年も(公社)武生青年会議所が京都の地にてもてなす側として(公社)所沢青年会議所との絆を深めます。その参加者1人1人が、それぞれの担いと目的とをもって、それぞれの関わり方で京都会議を有意義に過ごし、新しい年の第一歩を輝かしく踏み出しましょう。

まち・JCプロモーション室室長 兼 地区フォーラム副実行委員長　田中 陽介 君
2019年は室名の通り、「プロモーション」を極める一年にしたいと思います。頼もしい室メンバーとともにJCの魅力、武生の魅力を堂々と発信し、地区フォーラムという絶好の機会を生かして、武生青年会議所の仲間がどんどん増えるようイメチェンをめざして頑張ります！

副事務局長　板倉 恒太 君
本年度は平成最後の年となり新しい日本の誕生の年です。昨年も事務局次長として事務局の職務に携えさせていただきましたが、副事務局長として新たなる決意を持って精一杯頑張っていきたいと思っております。また本年は広報担当の職務もあり会員の皆様の協力なしでは成功はあり得ないのでご協力のほど宜しくお願い致します。一年間宜しくお願い致します。

総務委員会 委員長　三原 卓也 君
委員長のお話を頂いた時はあまり考えずお受けしましたが、いざ委員会活動等が始まると委員長って大変だなと正直感じております。まずは今までの委員長達に感謝です。
本年の総務委員会の目標は「自分のJCをもつ」です。他の人からどう思われるか、良いか悪いかは別として、それぞれのメンバーが自分の想うJCに所属する在り方を持ってもらい、成長の糧にして欲しいです。みんなに助けてもらえるような委員長になりたいです。

会員開発委員会 委員長　寺田 秀之 君
私がこれまで見てきた会員開発委員長像を一言で表せば「横綱」です。あらゆる役職を歴任し大きく広くなった懐は、如何なる時も冷静かつ温かいものだと感じていました。私はこれまでの会員開発委員長の知識や経験を100とすると半分にも満ちません。しかし、憧れていた役職です。歴代会員開発委員長に少しでも近づけるよう、一生懸命に精進してまいる所存です。自分自身に悔いを残さぬよう共に駆け抜けていきましょう！

未来へつなぐ想い育成委員会 委員長　北川 優也 君
私たちの時代と比べ急速に時代が変化している中、これから先の地域社会を歩むには、自ら考えて、行動できる熱い想いも持った青少年が必要なのではないのでしょうか。様々な地域社会の問題を見つけ出し、課題解決することができ、青少年育成事業を考えてます。委員会メンバー全員がまちの為に、一丸となって取り組み、青少年と共に私たちも成長し、充実した一年にしたいと思います。

外国人と共に夢を描く委員会 委員長　斉藤 陽介 君
本年度、多文化共生事業も5年目となり社会情勢の流れもあって行政からの注目と期待も高まっています。今この時私たち武生青年会議所がどの様な事業によって社会に一石を投じ、新たな価値観を生み出し浸透させていけるのか。注目されている今だからこそ目に見える効果、確かな成果が求められていると思います。幸運にも素晴らしい委員会メンバーに恵まれた私は、全力で事に当たり事業を成功させます。

共感を生み出すまちづくり委員会 委員長　水野　翼 君
本年度は、第61回北陸信越地区大会地区フォーラムを我々武生青年会議所主管で執り行います。現在、武生の素晴らしい魅力はあまり近隣他県の人達に知られていません。この素晴らしい魅力を知って頂く最大のチャンスが地区フォーラムです。このチャンスをしっかり掴めるよう、委員会メンバー一丸となって「たからいち」を成功に導いていきます。何卒、本年度も引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

会員拡大委員会 委員長　向井　智 君
今年は、拡大委員会復活の年であります。「やらんけ一人一名拡大」をスローガンに全員拡大を行っていこう思います。一人が一名を重点的にアプローチ、クロージングしていくそんな一年間にしていこうと思います。歴代最高の25人を目指して会員拡大委員会は、もちろん会員全員で拡大活動を行ってまいります。この武生青年会議所の魅力をしっかり伝えていけば必ず達成できます。一緒に頑張りましょう！

指名理事　三田村 哲郎 君
あけましておめでとうございます。本年度は指名理事を仰せつかりました。実は「定例理事会で質問をする」のは今年が初めてです。元来口下手な人間ですが、昨年度指名理事の前田武彦先輩を目標として、1ミリでもみなさんの役に立てるように意見を出していこうと思います。あまり僕を怖がらずに、共に頑張っていきましょう！

指名理事　水野 裕二 君
昨年、委員長として議案を立案した経験を活かし2019年の理事メンバーとしてしっかり支えていけるよう職務を全うしたいと思っています。また委員長とは違った目線で意見や質問を考えなければいけないポジションとして不安やプレッシャーもありますが、また一つ成長できる場として非常に期待も膨らみますし楽しんでいけたらと思っています。2019年武生青年会議所の運営や活動がしっかり行っていけるよう微力なりに尽力を努める所存です

指名理事　中梶 充宏 君
昨年は事務局次長として1年間理事会を拝見させて頂きました。指名理事の皆さまの意見の質の高さに圧倒されました。私は議案書を書いたことはありませんが、質問や意見をさせて頂く以上はしっかりと議案書を読み込み、勉強して理事会に臨みたいと思います。素晴らしい事業になるよう少しでも貢献できればと思っておりますので1年間宜しくお願いします。

事務局次長　清水 俊樹 君
本年度は次長が二名で皆さんに大丈夫か？と心配、迷惑等をかけておりますが、2019年度末には次長を清水と永田君に頼んでよかったと言ってもらえる様に、目配り、気配り、心配りを忘れず永田次長と切磋琢磨しながら頑張りたいと思います。

事務局次長　永田 拓也 君
次長が2人ということで大変な1年になると思います。今年、次長である清水君と力を合わせ河内事務局長の元、少しずつ成長できるように頑張って行きたいと思います。そして、次長のイメージが悪いと思いますので、これから次長をうける方のイメージが良くなるように改善できることは改善していきたいと思います。

財政局次長　伊藤 伸朗 君
今まで会社でもJCでもあまりお金に関わった内容の仕事はした事がなかったので、今回財政局の仕事を通じて数字的な面で今後の勉強をさせていただきたいと思います。また、蜂谷財政局長をサポートできるよう努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

財政局次長　黒田 克也 君
2回目ということ、委員長を経験させて頂いたことを最大限生かし、会務がより良くなっていくように蜂谷財政局長と密に打ち合わせを行い、次年度の全ての事業が最高のパフォーマンスを発揮できるように取り組んで参ります。

新春特別企画

拡大2TOP対談「五十嵐

棚田「理事長が変わって、これからのJCがどう変わっていくのだろうと期待している会員が多いはずです。何をやりたいかをお聞かせください」
五十嵐「去年と変わらない所で言うと、挑戦という意味では僕も皆に挑戦してもらいたいし、僕も挑戦していきたい。会の目的は絶対同じなので、理事長としてやっぱり拡大だね。従来通りの拡大委員会というのを設けて、必ず拡大を成功させたいという部分だね」
棚田「なるほど。じゃあこれからのJCは、新入会員がたくさん入って人数がどんどん増えて行って、賑やかなJCに変わっていくと期待して良いでしょうか」
五十嵐「はいもちろん」
棚田「ありがとうございます」

棚田「それでは2つめの質問に移らせて頂きます。卒業生が大量に卒業し、2018年の新入会員の数は少なく、全体の会員の数は減ってしまいました。人数が減って、会員が不安に思っていると思います。この現状を打破するには、何が必要だと思いますか？」
五十嵐「まぁ打破っていうと、具体的にいうと拡大だね。不安に感じてもらっているならうれしい、皆さん前向きなのかなと思います。逆に不安にすら感じてない人が他の団体だったらあるのかなと思っているよ。去年は武生JCの空気感というのが漂った一年だったなと思っていたよ。40で卒業するっていう所にも通じるんだけど、やっぱりこう入れ替わるっていう所が僕は大事だと思っていて、ただ今回は出ていく方だけがちょっと多かった。やっぱり新しい出会いだとか、その新入会員の新しい価値観と出会って皆が成長してくれればなと。それが雰囲気を変えてくれるのかなと思うよ。このまま放っておくと僕の卒業の年でも30人台になるという誰も経験した事のない人数になる。それだけまちに与える影響が、少なくなってしまう。僕らみたいな意識を持った青年経済人がたくさん増える事で、この地域に影響を与える必要があると思うから」

向井「理事長が仰った存在感。拡大というか武生青年会議所の存在感を増すためには、大きな人数が必要だって事は確かに仰る通りだよ。まずはやっぱりJCが一番魅力的な団体であるって事を伝えていかなければ。まず僕たち既存会員が、JCが本当に良い団体というか、何をしているかっていうのを今一度よく知ってもらって。そしてその後に現役会員が自ら全員で武生青年会議所の事を勧めて、拡大を自ら行っていけたらなって思うよ」
五十嵐「僕は拡大って、会員の多くは営業とかのプロではないから、スキルとか技術とかって走りがちなんだ。それも大事だけど、僕はもう最低限のスキルで良いと思っていて、やっぱり熱量。委員長の熱量、僕の熱量だと思っている。やっぱり熱量っていうのを大事にしてほしい。本気度というか」

棚田「全国大会にて会員拡大のセミナーに参加されていましたが、そこで得た経験を会員拡大にどう活かしていきますか。また、入会予定者にどういったアプローチをしていきますか」
向井「そうですね、2月の講演会に候補者をたくさん連れてきていただくという、そこをまず目標としていけたらなと思っております」

棚田「ありがとうございます。JCに入ろうと思うにはJCに入るメリットというものが必要だと思いますが、JCに入るメリットと体験談をお聞かせください」
五十嵐「限界がない、限界なんてないんだなっていうのを感じさせてもらったところかな。それが一番大きいかな」
向井「僕は人としてちょっと変わっているところがあるかもしれないけど、まずJCの話しを聞いた時点で入りたいなって思ったんですよ。今までの友達よりJCのやつと会うほうが断然多くなってくるんです。なんかもうJCの友達のほうがなんか会う回数がめちゃくちゃ多くなってくるんで。4年JCやってきて、やって良かったなって思えるから委員長受けるんですし、楽しいなって思えたことがメリットですね」

棚田「ありがとうございます。それではおふたりのJC活動の原点をあまり知らない人にJC入会のきっかけや理由を教えてください」
五十嵐「僕は兄が一番強いきっかけで、兄も理事長してるんですね。兄は口数が少なくて僕と真逆というかクールな人で。それが社員の前で喋ってるんですよ。的を射たことを言ってかっこいいなと思って、なんでそうなったかっていうとやっぱりJCっていうのを聞いて、兄のそういう変わった瞬間っていうのを目の当たりにしていたので、僕もああなりたいなと思って。入会のきっかけっていうか動機はそれです。もう兄です。今でも追いかけてますから」
向井「JCを知ったっていうのはまず2014年だったかな、上木先輩のまちづくり事業で、中央公園で街コンがあったんですけどそこで最初JCは街コン団体だなと。そこでまぁ楽しい思いをしたのでJCとしてあぁこういう団体があるんだなっていうのを初めて知って、そこでJCに入っ

2019年度 役職者の意気込み

監事　土橋 二彰 君
本年度、監事と言う大役を務めさせていただくことになりました。
私は、卒業まであと2年しかありませんし、客観的に見て言わせていただく立場の役職です。皆様には厳しく愛情を持って言わせていただきたいと思います。どうぞ、宜しくお願い致します。

監事　田中 慎二 君
青年会議所10年目、卒業となる本年に監事をやらせていただくことになりました。
今まで学んだ事・数々の経験活かし、微力ながらも会のお役に立てたらと思っております。
また監事ということで、客観的に見ながら、運営や・規則・礼儀など、いろいろとアドバイスをしていきたいと思います。この役職を活かして、自分も成長出来るよう努めてまいります。

直前理事長　美濃 友樹 君
2018年はメンバーの皆さんのご協力のもと無事2019年にバトンを渡すことができたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。ＪＣは単年度制です。皆さんには2019年に与えられたフィールドでこのまちのため、家族のために力を発揮して頂きたいと思います。私は16年間のＪＣライフで頂いた経験をもとに変化と挑戦を忘れることなくこのまちのため、武生青年会議所のために活動していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

理事長　五十嵐　浩 君
誠実、貢献を胸に、この地域を真剣に想い、明るい豊かな社会の実現を強く願い尋常の一所懸命を突き抜ける所存であります。会を代表するものとして目先の利益に惑わされず、その先のビジョンを見据え失敗を恐れずに先の見えないステージに飛び込む勇気を発揮します。自分に与えられた時間を少しも無駄にせず、仲間と共に創発的な影響を社会に与え、今ないモノを手に入れるために同士と真剣に向き合い、価値ある1年にします。

専務　松ケ谷 敏嗣 君
専務理事の役職を預からせて頂いた重責を常に自覚し、会員の皆様に実りある機会の提供を与えられるように1年間ＪＣ活動、運動を全うしていきます。
また、本年は地区フォーラムが武生の地で開催されるという事で多々、お願いごとをするかと思いますが、会務のトップとして全力で会員の皆さまのサポートをしていきますのでどうかご協力の程宜しくお願いいたします。共にやりましょう！！

副理事長　正光 哲二 君
本年、副理事長の役職を預からせて頂きました。理事長が目指す方向性をしっかりと理解し JC 活動、運動を全うします。また、総務・会員開発は LOM として重要な委員会です。
この武生青年会議所の定款に定められた委員会をしっかりと育てあげます。また、今年は地区フォーラムが武生の地で開催されます。全会員の力が無ければ開催する意味がない！皆様のご協力宜しくお願い致します。

副理事長　谷口 康介 君
本年度は大変恐縮ながら、副理事長という大役を仰せつかることになりました。常に理事長の右腕として支え、未来を切り拓く一員として邁進する所存です。また、本年度担当させていただく室・委員会の方々には、迷いなく常に最善の答えに導けるよう時には厳しく、時にはアドバイスを送り勇気付けて参ります。武生青年会議所を牽引する一員として、全力で JC 運動を展開してまいりますのでご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致しま

副理事長 兼 地区フォーラム実行委員長　山﨑　侑 君
2019年度五十嵐理事長のもと、副理事長として武生青年会議所全体の方向性を示すとともに真心を持って厳しくとも温かく一年間の職務を全うさせていただきます。また今年、北陸信越地区協議会地区フォーラムを武生ＪＣが主管として執り行います。理事長所信にありますよう全員が実践者となり地域、武生ＪＣ、会員それぞれの益を地区フォーラムを通じて最大に引き出す為、武生ＪＣ会員、皆様と共に地区フォーラムを大成功させましょう！

財政局長　蜂谷 雄次 君
本年、財政局長を任せていただく蜂谷です。大事な会費を取り仕切る立場として、委員長達にはやりたい事業をやってもらいたいという想いがありますが、費用の意味合いを含め細かく確認し、無駄な費用に関しては意見を言わせていただこうと思います。また、違った角度からの視点で委員長達の議案の手助けになれればと思いますので、財政次長と共に今年一年どうぞ宜しくお願い申し上げます。

事務局長　河内 正美 君
２０１９年度は初めて事務局という立場でやらせていただきます。
分からない事ばかりですが副事務局長、次長と助け合いながら頑張って
いこうと思いますのでどうか宜しくお願い致します。

総務会員開発室 室長　奥村 広志 君
本年度、総務委員会と会員開発委員会の室長を務めさせていただく奥村です。筆頭委員会である総務委員会と新入会員を預かる会員開発委員会この室は武生青年会議所において重要な位地だと思っています。総務委員会としてまず会員が様々な機会に対して積極的に参画する環境を整え、そして会員開発委員会の活気あるメンバー姿を全会員に魅せる事で2019年度の武生青年会議所を盛り上げていきたいと思いますので、本年度一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

明日のまちを担う人づくり室 室長　寺尾 健一郎 君
室長予定者としての期間を過ごしてきて、先輩から伺った「役職が変わると視点も変わる」という言葉の意味を実感しています。自分の力不足を痛感する日々ですが、委員長という役職を勇気を出して受けてくれた二人が、この一年間を通じてやりがいと成長を実感できるように、また、彼らの事業がこのまちと（公社）武生青年会議所の発展に確実に繋がるものとなるように努めてまいります。皆様1年間よろしくお願いいたします。

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.2.7
Vol.610

1 分でわかる !! 京都会議での会頭所信

なに？なに？室長

例会アワーの見どころ ～ボルガチョフから学ぶプロモーション～

共感を生み出すまちづくり委員会

・1 月度例会アワー　新年賀詞交歓会を終えて
・入会審査に向けて
・バースデー会員
・京都会議を終えて

1月度例会アワー
新年賀詞交歓会を終えて

2019年度新年賀詞交歓会に多くの皆様にお越しいただき深く感謝申し上げます。本年は 先輩と現役会員が交わる新年賀詞交歓会の中で現役会員には多くの先輩と出会い、今後 青年会議所の繋がり以上の人間関係を築けるきっかけになればと思い、歓談の時間を多く設けさせていただきました。先輩方から頂くお話は、武生青年会議所活動や現役会員 個人の成長の為の気付きであると思います。また今年の五十嵐理事長の「always challenge　自分達の手で切り開こう 新たな未来」のもと、事務局としてしっかり設営等をしていきたいと思っています。改めて新年賀詞交歓会におきましてたくさんのご協力、ご指導本当にありがとうございました。

事務局長　河内正美

入会審査に向けて

「入会審査の意気込み」

総務委員長　三原卓也

青年会議所の会員であれば必ず通るものの中に、入会審査があります。推薦人や保証人とともに審査会場へ赴き、審査委員の質問等に答え、入会の意気込みを語ってもらう場になります。

今年度は私が総務委員長ですので、入会審査を中心的に段取り、進行していく立場です。

特に大切にしていこうと思っている部分は、推薦人、入会候補者、総務委員とのコミュニケーションです。なぜ推薦人は推薦しているのか、入会予定者はなぜ入会を希望しているのか、入会審査委員である総務のメンバーはどういった質問をし、候補者の意気込みを聞き出すのか、武生青年会議所に入会し何を得たいのか。

入会審査は数十分で終わりますが、関わる人たちにとって青年会議所活動を考えるいい入会審査にできるよう努めていきたいです。

バースデー会員

五十嵐　浩 君

いよいよ39歳になります。普段から体を動かすのが好きでしたが、青年会議所活動に勤しんでいるおかげで（笑）運動をする機会が少し減り、疲れが取れないなど、体力の衰えを感じることがあります。そこでこの度24時間営業のジムを契約致しました。これで健康を取り戻し、理事長職を力の限り全うできます。あと、地方創生に貢献すべく、元気になったついでに子供を今年度中に２人くらい作ろうかなと目論んでおります。

笠島　孝行 君

今年の抱負は去年に続きダイエットとお店のお蕎麦を今まで以上に極める事と何事にも妥協しない事です。ダイエットといっても無理をせずに健康的に痩せる事が目的です。目標体重の85キロまでまだまだですが頑張ります！お店のお蕎麦もたくさんの方に食べていただけるように自分なりに極めていきたいです。今後武生JCのメンバーと猪突猛進で駆け抜けようとおもいます！！！

田中　秀隆 君

今年は中学校のPTA会長を務める事になりましたので地域と学校と保護者の方達と、子供達がより良い環境で生活出来るようにJCでの学びを活かして活動していきます。そして会社でも変化の年でありますので、まずは個人のスキルアップを目指し色々な資格取得に挑戦していきます。家庭では母子家庭だと言われないように一つでも多く協力していきたいと思います。

岡野　義博 君

今年は中学校のPTA会長を務める事になりましたので地域と学校と保護者の方達と、子供達がより良い環境で生活出来るようにJCでの学びを活かして活動していきます。そして会社でも変化の年でありますので、まずは個人のスキルアップを目指し色々な資格取得に挑戦していきます。家庭では母子家庭だと言われないように一つでも多く協力していきたいと思います。

正光　哲二 君

私の2019年度の抱負は「余裕を持って行動する。」当たり前な事ですが、当たり前ができていないから成長できると思います。仕事・家庭・JCのバランスを如何に効率よく出来るかを考え行動しないといけない1年。忙しいのは自分だけじゃない事を頭にぶち込んで行動したいと思います。私事ではありますが、長男の高校入試が終わり合格通知も届きました。15歳で親元を離れ生活する長男に負けず恥じないよう自分を磨き上げたいと思います。

山﨑　侑 君

誕生日記事、楽しそうなしろばん記事の機会をいただきましてありがとうございます。2月24日で32歳を迎えます山﨑です。忙しい一年となりますがその中で自分自身を鍛え、心身ともに充実した一年を過ごしたいと思います。まだまだ甘ちゃんな部分が多いので、自分に厳しく！いつか精神年齢と体内年齢が入れ替わる日を夢見て…。どうぞこれからもよろしくお願いします。

中林　祐紀 君

2019年1月に加入して右も左もわからずとても緊張しています。
ですがそれと同時に今ＪＣの一員として居られる事が本当に嬉しいです。
今の気持ちを忘れず、今年一年日々誠実に活動に励むつもりです。
目標①全会員の名前を覚え全員と一言でも多く喋る。　②パソコンの基礎だけでも今年中にできるよう頑張ります。

京都会議を終えて

専務理事 松ケ谷　敏嗣 君

まず最初に京都会議（所沢交流）において、たくさんのご参加を頂きましたことをこの場をお借りしてお礼申しあげます。誠にありがとうございました。本年の京都会議では初めて日本ＪＣの理事会、総会にオブザーブをさせて頂きました。またその総会においてSDGs推進宣言が全LOM全会一致で可決され、本年の日本JCの方向性を肌で感じまいりました。この貴重な体験をしっかりと皆さまにお伝えし、私たちの運動において少しでもプラスにしたいと思います。

編集後記

会員開発委員会 委員 棚田　兼太郎 君

しろばん記事作成に際し、インタビュー・資料作り等をさせていただきました。質問内容を考える中でどうやったら記事を見ていただいた皆さんの心に止まるかを自分たちなりに考えてインタビューをさせていただきました。今回の経験を踏まえ、今後はもっともっと読み手の心を掴んでいけるような、そしておもしろい記事作りを心掛けてやっていきたいと思いました。

例会アワーの見どころ
～ボルガチョフから学ぶプロモーション～

この事業では、「秘密のケンミンSHOW」にも取り上げられた、越前市のソールフード「ボルガライス」を有名にしたボルガラー協会会長の波多野翼氏をお呼びして、「プロモーション」を学びます。

第１部では講演会、第２部ではグループディスカッションを行います。

プロモーションとは、PRの「来てください・待っています」等ではなくて、「どうしたら人に来てもらえるか、どうしたら興味を持ってもらえるか」、という事を考えていくことがプロモーションと言うそうです。

たしかに、「PR」という言葉はよく聞きますが、「プロモーション」という言葉はあまり使いませんね。そこに、会社の業績を伸ばすヒントがあるのかもしれません！

講演会では、波多野氏に

①なぜ「ボルガライス」を有名にしようと思ったのか。
②どのようなプロモーションを行ってきたのか。
③プロモーションを行うにあたり、どんな問題点があったか。
④その問題点の解決方法。
⑤成功、失敗例。
⑥地域プロモーションの実践に向けたアドバイス。

をお話しして頂きます。

グループディスカッションでは、グループの中からプロモーションしたい会社を１つに絞っていただき、グループメンバーでもっとこうプロモーションした方がいいと考えていただきます。

その後、発表者に作成した案を発表してもらいます。発表が終わりましたら波多野氏に発表案に対しての講評をしていただきます。

たしかに、このまちには多くの魅力があり、まちづくりやPRをしているにも関わらず、観光客は伸び悩んでますね。

その理由が、効果的なプロモーション不足にあるのだとしたら、この事業はこのまちの観光客を増やし、わがまちの発展へと繋げる大チャンスです！

皆さん、ぜひ事業に参加して、地域や社業をプロモーションする知識、行う力を身に付けて、今後のまちづくり事業や社業の発展に活かしていきましょう！

それが、このまちの発展へと繋げる道になるはずです！

なに？なに？室長

第２回は室長の皆様です！

寺田　委員長と室長では違うっていうところはありますか？

田中　委員長は猪突猛進でいいと思います。だから室長がサポートしつつ導いていくとうまくいく、立ち位置が一番違うと思います。

寺田　では、どういう立ち位置でいることが必要だと思いますか？

寺尾　ポジショニングとして中間管理職にあると思います。具体的に言うと会としての思いを委員長に伝え、委員長はこんな思いでこれをやりたいということを正副に伝えていく。繋ぎ役っていう立ち位置かなと思います。

寺田　素晴らしいですね。では、委員長ではできたのに室長ではやりにくいことなどはありますか？

奥村　やはり委員会のTOPは委員長なので、委員会メンバーとのふれあい方がむずかしいですね。

寺田　なるほど、遠すぎない親しみやすさでしょうか。では、どういう室長が理想と感じていますか？

奥村　全体を見回せるように、ある程度俯瞰的な距離間が必要だと思います。

寺尾　委員長の思いで進んでいけるようにサポートやフォローに徹したいと思っています。

田中　委員長や副委員長がフォローしきれていないメンバーがいたらそこの穴を埋めてあげたいなと思っています。

室長の御三方、ありがとうございました。

地域経済ビジョン確立会議 委員
永宮　清勝 君

僕は入会して４年目になりますが、これまで役というものに縁が有りませんでした。
例会や事業にも、ただ参加しているのが現状でした。
ですが本年は地区出向の声をかけていただいて、これまでよりも前向きに何事にもチャレンジしたいと思います。
そして地区フォーラムの事業成功は勿論の事、同委員会の人達から必要な存在だったと言ってもらえる用、全力で取り組み全力で楽しみたいと思います。

地域経済ビジョン確立会議 委員
橋本　英明 君

今回出向させていただく北陸信越地区協議会の地域経済ビジョン確立会議では労働人口の減少が背景として取り上げられています。これは私が生業としている自動車産業にも整備士のなり手不足という形で非常に密接した問題となっております。これらを解決する起点として今回の出向では沢山の学べる所が多く有ると思いますので、一つでも多く学び身に着けてROMや地元に持ち帰り、還元できるよう頑張りたいと思います。

福井ブロック

副会長　地内　武海 君

新入会員オリエンテーション、多子社会実現、高等教育、ブロックアカデミー、と４つの事業を実施致します。
中でも新入会員オリエンテーションは重点を置いており、LOMで即戦力となり、地域に変革をもたらすリーダーを育成し、他のLOMのメンバーと苦楽を共にすることで生まれる生涯の絆を得ていただきたいと思っております。
次世代を担うメンバーとして参加をお願いすると共に理事メンバーの皆様にはご協力をお願いいたします。

会員拡大会議 副議長　水野　裕二 君

本年はブロックへの出向ということで、会員拡大の委員会である副議長を務めることになりました。
先日行われた京都会議にて会員拡大を推進するセミナーを受けてきたばかりなので、そこで学んだことを活かしLOMの委員長である向井君と共に出向し、鯖江JCから出向しておられる澤田議長の元しっかりと下支えできるよう精進してまいりたいと思います。
またLOMでは25名拡大を達成したいと思っておりますので、一年間宜しくお願い致します。

会員拡大会議 委員　向井　智 君

今年福井ブロック協議会の会員拡大会議に出向となりました。
この拡大会議においては、県内10LOMの拡大担当メンバーによる情報の共有や拡大手法の学びなどを行っていきます。
県内LOMの拡大進捗状況を知り武生も負けてられないという気概を見せていけたらなと思います。
拡大とは、必ず皆さんの社業にも役に立つ手法や情報があると思いますので、これからの報告など楽しみにしていてください。

持続可能化委員会 委員　高村　沙織 君

今年初めてブロック出向になり福井ブロック協議会持続可能化委員会をさせて頂くことになりました。
LOMとブロックの２つのコミュニティの場を持てるのは、今後の活動においても重要だと思います。
また現在のLOMと違い委員長が同じ女性ということでとても楽しみです。always challenge 今回の経験が少しでも役立つよう頑張りたいです。

経済再興委員会 委員　南　一平 君

現在、福井県においては今後人口の減少幅が全国に比べると大きくなることが懸念されております。このような問題は福井県の中にある過疎地区、限界集落にとっては大変重大な問題で、社会の変化に柔軟に対応できる新たなビジネスモデルや価値を生む企業や人材の育成が必要となります。このような問題の解決策や取り組みを真剣に考えて地元に活用していこうと思います。

人材育成委員会 委員　黒田　克也 君

2019年度日本青年会議所北陸信越地区福井ブロック協議会の人材育成委員会に出向させていただく事になりました。この委員会ではブロック新オリ開催や公開討論会、セミナーなど多彩な事業を担当しております。一つひとつの事業を委員長の想いが最大限に込める事ができるお手伝いをさせて頂けるように乾坤一擲力の限り頑張らせていただきます。

事務局 次長　近江　智彦 君

ご縁がありまして、福井ブロックの事務局次長を引き受けさせて頂くこととなりました。
本年度の事務局案件としまして、２月に開催されるブロック全体ミーティングがあります。本年は全会員が対象となり、様々な企画を予定しております。
本年は武生にて地区フォーラムが開催されます。これも一つの集客材料と捉え、地区フォーラムへの参加を呼びかけるためにも、皆さんで２月17日のブロック全体ミーティングへ参りましょう！

1 分でわかる !! 京都会議での会頭所信

2019 年 1 月 17 日から 20 日にかけて京都の地で京都会議が開催され、20 日の新年式典の中で鎌田長明会頭の本年度所信が発信されました。冒頭部分では社会保険料の増加・各種控除が無くなっていることにより私たちの収入が減っていることについて触れ、更に少子高齢化により日本社会の持続が困難になっていること、2020 年には日本の女性の二人に一人が 50 歳以上になることから子供を産み育てる力さえも弱まっているということを懸念されていました。このままでは日本社会の持続が困難になってしまう。

だからこそ今から青年会議所メンバー全員が発想の転換をし、行動し、よりよい社会への道を開いていかなければならない。そのために我々一人一人に 3 つの発想の転換を行ってほしいと仰っていました。

一つ目の発想の転換は SDGs の推進です。SDGs（エス・ディー・ジーズ）は「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015 年 9 月、国連サミットで採択された成果文章「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ（通称：2030 アジェンダ）」の柱として、世界共通の 17 のゴール（目標）、目標ごとの 169 のターゲットから構成されています。国連に加盟している 193 の国・地域が 2030 年を期限に達成を目指すものです。

今までやってきた事業・運動これからやっていく事業・運動を SDGs にすり合わせ、日本で一番 SDGs を推進している団体になることで青年会議所の事業・運動、更には拡大もやりやすくなっていくと仰っていました。二つ目の発想の転換はこれまで青年会議所内でタブーとされていた、青年会議所活動内において様々なビジネスの機会を与えることです。我々青年経済人が真っ先にすることはビジネスで価値を生み出し、情報を共有し、自身のマネジメントスキルを向上させること。そして 2018 年の日本青年会議所の定款にビジネスの機会を与えることが明記されたことで、もはや青年会議所でビジネスの機会を掴み、新しい価値を生み出すことを躊躇する必要はありませんと仰っていました。

三つ目の発想の転換は少子化対策から子供が多く産まれることで活社会創造への発想の転換です。我々青年世代こそ子供が多く産まれる世界を提言することには大きな意味があり、我々青年世代より上の世代にはなかなか言えずアイディアもない。更に我々青年会議所は日本で一番公開討論会を開催している団体だからこそ私たちが活社会創造を考えていくことが重要なのだと仰っていました。

以上、三つの発想の転換を推進し行動していくことで、2019 年の青年会議所を我々青年経済人が「おもしろい」と思える団体にしていく。それを青年会議所の仲間と考え始めることで未来のすべてが変わっていくというのが鎌田長明会頭の本年度所信でした。

さぁ、やりましょう !!

会員開発委員会　委員　谷﨑将大

2019 年度 役職者の意気込み

日本 JC

渉外委員会 会頭補佐　関　和宏 君

私にとって、今年一年が武生青年会議所のメンバーとして活動できる最後の年となりました。その年に会頭補佐と言う大役を預かり、思い残すことなくいただいた役割を全うしたいと思います

地域経済再興委員会 委員

安久　泰弘 君

地域経済再興委員会は、北陸信越地区協議会で当会議が行う事業のおおもとの委員会であります。地区での事業の精度をさらに向上することも目的の一つでありますが、全国から集まる方々からしっかり学び、LOM の成長に少しでも繋がるよう伝えていきたいと思います。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

北信越地区

地域経済ビジョン確立会議 議長

安久　泰弘 君

北陸信越地区の基本理念である「誰もが挑戦できる未来への希望あふれる北陸信越の実現」のもと明るい豊かな地域の実現に向け運動を展開します。当会議では、地域経済ビジョンを推進する経済人会議、地区のメイン事業となる地区フォーラムの企画・開催を担当します。これ以上に地域の魅力を発信する場は他になく、熱い想いを持って事業構築にあたります。そして参加してくれた方々には、自分のまちでも地区フォーラムを開催したいと思っていただけるような事業を目指します。

地域経済ビジョン確立会議 運営幹事

中梶　充宏 君

今年度、公益社団法人日本青年会議所 北陸信越地区協議会 地域経済ビジョン確立会議に運営幹事として出向させて頂いております。事業と致しましては 3 月に行われます経済人会議と 7 月に行われます地区フォーラムの開催です。地区ということで行きたくても簡単には行けない、集まりたくても中々集まれない状況ではありますが、しっかりと当会議の運営を行いたいと思います。

地域経済ビジョン確立会議 委員

嵐　智幸 君

今年度、地区に出向させて頂くことになりました、嵐です。地区に出向するのも、安久議長と御一緒するのも、また橋本君以外のメンバーは初めて一緒になるのでとても楽しみにしています。めちゃめちゃ熱い安久議長と、これまためちゃめちゃ熱い寺田委員長から今まで感じことのない想いを体感させていただき、そして議長を支えさせて頂きます。そして、その経験を拡大に活かしていく所存です。

地域経済ビジョン確立会議 委員

岡野　義博 君

本年度は武生の地で地区フォーラムが開催されるということでメンバーとして議長を支え他人事では無く自分事として率先して行動し最高のおもてなしが出来るように努めたいと思います。そして他 ROM からの出向者の方々との懇親を深めこれからの JC 活動やビジネスに繋げられる様に各地を飛び回って行きたいと思います。1 年間どうぞよろしくお願い致します。

地域経済ビジョン確立会議 委員

寺田　秀之 君

JC ライフ最後の年に初出向させていただけることになりました。安久君が地区の議長に内定した時に、この機会に出向させていただきたいと自身から申し出て願いがかなった形です。地区フォーラムも絡みますし、ハードな会議体になると思いますが、他のメンバーと共に議長を盛り立て、そして自身に悔いを残さぬよう精一杯やり切りますので、議長共々、皆様一年間どうぞよろしくお願いいたします。

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.3.7
Vol.611

共に進もう！新しい未来へ！　～国際交流協会対談～
例会アワーのみどころ　～ブロック公式訪問～

・なに？なに？事務局長
・２月度例会アワー
　～ボルガチョフから学ぶプロモーション～を終えて
・４月度例会アワーへの意気込み
・ブロック全体ミーティング
・バースデー会員思い出の写真

共に進もう！新しい未来へ！
～国際交流協会対談～

私たちが多文化共生を考える上で切っても切れない関係であるのが、行政や越前市国際交流協会（以下EIA）ではないでしょうか。そこで今回は現EIA運営委員長で歴代理事長でもある大谷恵一先輩にお話しを伺ってまいりました。JCの中と外から多文化共生について考えたいと思います。

寺田：今日はありがとうございます。さっそくですが、JC、EIA、行政では担いの違いがあると思います。このことについて教えていただけますか？

大谷：行政というのは大枠を決めるところで、細かいところまでは行き届かない現実があります。それは人員、予算が足りていない現状があるからです。ですから、かゆいところに手を届かせるのがEIAやJCであると考えますね。

寺田：なるほど。EIAでは料理教室や外国人に対する夏休みの宿題サポートなどを実施していると伺っております。これはどういった背景から行っているのですか？

大谷：料理教室などの交流事業は昔から実施しています。食から入るというのは交流の手法としてやりやすいという部分がありますね。今年からはそれをもう少し戦略的にということで、国高公民館でベトナム人と地区住民を対象として交流を実施しています。宿題サポートは約3年位前から行っています。年を重ねるごとに参加者は増えてきていて、定着してきていると思いますよ。学校などの教育現場も対応しきれない現状がありますからね。

寺田：少し伺ったのですが、それと学習支援とはどういうものですか？

大谷：それはEIAが直接行っているわけではないのですが、学校にも馴染みにくかったり、両親は交代制で勤務などの児童を対象とした居場所づくりといったコンセプトでやっています。将来的には進学をサポートできるようにしていきたいと考えているようですね。ですが、現状は言葉の壁や人員不足もあり難しい課題ですが、ようやく軌道に乗るところまで漕ぎつけたという印象です。

寺田：ありがとうございます。それでは次の質問に移らせていただきます。JCだから出来ること、やりやすいこと。EIAだから出来ること、やりやすいことはありますか？

大谷：それは予算面ですね。JCは事業の予算を自分たちの会費から賄っているのに対し、EIAは行政からの補助金で運営しています。補助金を受けて活動している以上、当然行政の意向をある程度反映させなければならなくなってくる。自身らのオリジナリティを出しやすいというのがJCでやりやすいことですね。これが一番大きいメリットだと思いますね。

寺田：では逆にEIAが得意としていることはありますか？

大谷：JCの様に討議、協議、審議と会議を重ねなくても方針を決定できるというスピード感ですね。確かに会議を重ねるという事も大切ではあるけれども、刻々と変化を続けている情勢についていけていない感は否めませんから。それとJCのシステム上、決められた予算は使い切らなければならないことや、使い道を途中で変えれないのに対し、EIAではそれが出来るのですよ。但し、審査が甘くなる危険も孕んでいるので注意は必要です。行政、EIA、JCとそれぞれ一長一短だと思います。この穴をそれぞれが埋め合っていくことが理想だと考えますね。

寺田：それでは次にEIAが考える未来の越前市の在り方を教えてください。

大谷：目的というか、そういった活動目的は文章としてありますよ。固い文章ですけど（笑）
「活動目的：このまちに暮らす様々な国籍や文化を持つ住民どうしが、地域社会のパートナーとして多様性や活力の源泉に豊かな人間性を育めるまちの実現」ですね。

寺田：なるほど。納得の文章ですね。ですが、しろばんなので、もう少しかみ砕いて例えば5年後、10年後くらいの遠くない未来に向けてのビジョンを教えてください。

大谷：例えば、先ほどのベトナム人との料理教室の様な交流をEIA抜きで出来る様なまちになることが理想ですね。ただ、まだまだそこには至っていないので、やり続けて定着させていく必要があると思います。

寺田：最後になりますが、現役メンバーに伝えたいことはありますか？

大谷：武生JCはおよそ20年も前から多文化の事業を行っていたのですよ。行政や他の団体が力を入れるずっと以前から先見の明があったことに自信を持ってほしいですね。先を見据えたうえで今どうするか。それこそが商売をするにあたって大切な事だと思います。そして、JC在籍中はどんどんネットワークを広げていってください。そうやって構築した人間関係は損得勘定を越えて動いてくれる人を増やしますね。その繋がりが自分の武器になると思います。役職を受けるのもネットワークを広げるいい手法だと思いますよ。それと内向きにならずに、JCの外を見て活動していって欲しいと思いますね。現役時代はそういったネットワークや知識を蓄える場とも言えますね。

最後になりますが、EIAでは会員を募集しております。JC活動だけに留まらず、積極的に参加してもらえたらと思います。

3月度例会アワーの見どころ ～ブロック公式訪問～

2019年度の３月度例会アワーブロック公式訪問は総務会員開発室の室長の奥村が事業担当を務めます。

唐突ですが皆さんは福井ブロック協議会が一年間を通して、どのような事業を行っているのかご存知でしょうか。本年度、福井ブロック協議に出向している方や以前に出向した経験がある方は、ご存知かと思います。しかし武生青年会議所会員の中でも、出向した経験がない方や福井ブロック協議会の事業に参加した事がない方が多くいると思います。毎年、福井ブロック協議会も「明るい社会の実現

のためインパクトのある事業や個人的にも参加したら必ず成長できる事業など、多くの素晴らしい事業を行っています。ところが福井ブロック協議会の事を知らない方は参加する事もなく、事業がある日時を知っている方でもなぜ参加しなければならないのか、参加する事でどういう効果を得れるのかを、理解してない方は参加する意欲がわかないと思います。

そこで今回の３月度例会アワーブロック公式訪問で、各事業を担当する議長・委員長・事務局長に事業説明を通して、事業背景・目的・効果・手法・武生青年会議所会員が事業にどうかかわるとより効果を得れるのかを詳しく説明していただきます。そして参加意義を理解したうえで事業に関わる事で、武生青年会議所の事業だけでなく、福井ブロック協議会の事業にも参加する事で、年間を通して参加しなかった方より必ず成長することが出来ます。また組織としてもこれまで行ってきた地域の特色を活かした事業や地域に対する問題を解決するための多文化共生、青少年育成、まちづくり、市民参加型研修など、地域とつながり合う事業を我々の住まうまちだけにとどまらず、福井県内の各地域のリーダーが集うブロック役員の方に、武生青年会議所が行ってきた地域を活かした事業を知ってもらう事が、より効果的に地域の特色を多くの方に広めることができ、我々の住む地域の更なる活性化につながります。もちろん本年度の重要な事業の一つである地区フォーラムの事も、福井県内のJC会員や他地域の市民の方に周知が出来ます。

そして今後の武生青年会議所運動を盛り上げるためにも、福井ブロック協議会とお互いの思いや意見を交わせるブロック公式訪問を通じ、理解共有して共同歩調をとる事で、我々の住む地域だけでなく、福井県内すべての地域に武生青年会議所旋風を起こしましょう！

なに？なに？事務局長

谷﨑：事務局長という役職を受ける前のイメージと実際やってみて感じる違いはなんですか？

河内：歴代事務局長は本当に大変そうで、どこにでも参加して走り回っているイメージでした。
実際やってみるとその通りで…客観的に見て抱くイメージより100倍大変ですよ(笑)
どこにでも参加して走り回っているっていうのは会の運営や事業や大会運営のこと全般に関わっているからで、基本的にすべて事務局が運営しているっていうところからです。

谷﨑：事務局長を受けるにあたってプレッシャーはありましたか？

河内：プレッシャーっていうのは議案書を抱えている委員長とか室長のほうがあると思います。ただそれを裏方として支えるのが事務局の仕事だと思っています。理事会の設営とかも委員長をはじめメンバーや会が円滑に進むために設営しています。そういう意味では性に合いますね。

谷﨑：理想の事務局長像はありますか？

河内：次長に後悔させたくないですね。JCを通して成長するのではなく、まず人として成長してもらいJC活動に繋げてもらう。その結果として次長に今年一年やって良かったなって思ってもらえること。そして一年間を通して、ありがとうって言ってもらえることが理想の事務局長ですね。

谷﨑：最後の質問ですが事務局長のやりがいはなんですか？

河内：事務局長としてのやりがいは感謝し続けることが出来るっていうところですね。事務局長っていうのは常に相手あってのものなので、感謝の心を持ち続けることが出来るんです。

ブロック全体ミーティング

ブロック全体ミーティング～福井ブロックをひとつに～は、県下10LOMから多くのメンバーが参加し盛大に執り行われました。その中で、ブロック各委員会の事業計画説明をはじめ、「ナホトカ号重油流出事故から学べ～JCのあるべき姿～」と題し、同事故当時、福井ブロック会長だった東角　操先輩の体験を通したリアリティ溢れる災害講演会がありました。この中で、JCだから出来る官民の垣根を超えた災害支援の重要性や、この時の仕組みが「福井システム」として今も災害支援の際に使われていることを知り、JCの在るべき姿を感じることが出来ました。

２月度例会アワー
～ボルガチョフから学ぶプロモーションを終えて～

今回、共感を生み出すまちづくり委員会の事業にご参加頂きましてありがとうございました。
事業の構築にあたり、波多野さんと打ち合わせをしていくうちに、この講演会は必ず仕事に持ち帰って頂けるものだと確信していきました。正直、もっと時間を設けることが出来れば中身の濃いグループワークが出来たと思いますが、例会アワーの時間の中ではベストな事業が出来たと思っております。
波多野さんと委員会メンバーには本当に感謝しています。
ご参加頂いた会員の皆様も本当にありがとうございました。

共感を生み出すまちづくり委員会 委員長　水野　翼

４月例会アワーへの意気込み

４月度例会アワーの会員研修事業でVSOPを題材にお話しをさせて頂きます。VSOPは日本JCが創り出したもので、SDGSをより身近に感じるためのいわば前身の様な位置づけになっています。これから日本は少子高齢化の問題が加速し、現在の地域社会や経済を維持していくのが困難な状況になっています。その問題に立ち向かうためには仕事、家族、地域社会と包括的な関わりが必要になってきます。VSOPは本業を通じた社会貢献活動です。仕事とボランティアを切り離して考えるのではなくミックスさせて考え行動し、自らが地域社会をより良くする原動力になるべくVSOPの研修が出来たら幸いです

総務委員会 委員長　三原卓也

バースデー会員思い出の写真

伊藤　伸朗 君

今年、新しいタイヤショベルを購入しました。
古い機械も私が２歳の時に購入。そして今回の新しい機械もどういった偶然か私の息子が２歳になる時に購入しました。
新しいタイヤショベルで今後いっそう仕事に取り組んでいくとともに、息子の成長を見守っていきたいと思います。

関　和宏 君

バレンタインのチョコレート。男は皆欲しいはず！
断っておくが、男の魅力が無い者はもらえないぞ。妻と娘からは、失敗作のチョコだった。
しかし、この素敵なチョコは、いつも僕にラブコールをくれる。保険の営業女性（55歳）からいただいたものだ・・・。
さあて、男の魅力を磨くとしよう。

内藤　宏基 君

一ヶ月ほど前に家族で旅行に行き、アンパンミュージアムに訪れた時の写真です。
この時は、若干の小雨が降っており、５歳の娘が「パパ！！あのアンパンマン偽者だよ！」と大きな声で言って、周囲から冷たい目で見られたのを良く覚えております。
ただ、楽しそうにはしてたので、また旅行に連れて行ってあげたいと思います。

向井　智 君

これは、2015年のフジロックに行った時の写真です。
自分は、音楽が好きで毎年どこかのフェスに行っています。
この年は、僕の大好きなフーファイターズが来日してヘッドライナーを務めて最高に盛り上がった一日でした

清水　俊樹 君

20代中頃にチームを結成しましたが、30代になりみんな家庭を持ち、仕事と家庭と忙しく中々集まることができず休部という形になりましたが、落ち着いたころにまた復活できればと思っております。
その頃には雰囲気が変わったなと言われるよう自分自身成長できたらと思っています。

地内　武海 君

私の一番の思い出は2018年度に卒業されました神谷平先輩です。先輩は私が2017年度（公社）日本青年会議所に出向した時のメンバーです。当時、とても辛い時期があり私の事を本当に考えてくれる一番の良き理解者でありました。私も先輩のようになれるように成長していきたいと思っております。皆さん共に思いっきりJC活動をしてたくさんの思い出を残していきましょう！

南　一平 君

サラリーマン（営業職）を１３年、兼業で漁師をしながら（現在も）全くのゼロから創業した朝どれ限定の魚介類卸業。今まで生きている上でその創業こそが私の生きがいであり、今までの中での最大の思い出です。

２月バースデー

田中　秀隆 君

―30歳を越えてから勘が冴える ―
人生何が起こるかわからない…
と、言うこともない。
歳をとるにつれ経験や知識、知恵が増える。
これは、賢く生きていく上で重要な要素、
特に、失敗した経験や他人の体験談は貴重だ。
しかし、歳をとるにつれ失敗はできない。
常に最良の選択をしていけるように心がけたい。
人生は自分で選択した結果なのだから。

※２月の掲載の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

訃報

安養青年会議所　第51代会長
李　永日君が　２月14日に
ご逝去されました（享年41）
ここに謹んでお悔やみ申しあげお知らせいたします。

編集後記

会員開発委員会 委員 嶋崎　正敏 君

委員会後の懇親会中に床に紙を広げて、しろばんのレイアウトを検討している新入会員の姿。JCに来ている、限られた時間の間は、ひたむきに、自分事として取り組む姿勢。初心にかえるひと時でした。
何もかもが中途半端になりがちな今日この頃、自分自身も真っ白な紙に、頭の中を整理して、「やるべきこと」をレイアウトする時間をつくってみることも必要かもしれません。「自分しかできないこと」を見つけるために！

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.4.4
Vol.612

見開き

教えて 例会アワー　会員研修事業（VSOP）
～選ばれる人になるために～

５月例会アワー PR　青少年育成事業
～未来へつなぐ誇れる大人になろう～

なに？なに？直前理事長

新入会員紹介

・北陸信越地区経済人会議に参加して
・バースデー会員（思い出の１枚）
・新入会員交流ボーリング大会開催について
・３月例会アワー報告

4月例会アワー会員研修事業（VSOP）
～選ばれる人になるために～

総務委員会 委員長
三原　卓也 君

まずは今回の会員研修事業をしろばんに取り上げていただき有難うございます。本年は総務委員会が会員研修事業をさせて頂くという事で、題材はVSOPに関連したものをするという事で年の初めに議案がスタートしました。VSOPとはVolunteer service oneday projectの略称で、日本語にすると“本業を通じた社会貢献活動”になるそうです。日本JCが生み出した事業でSDGs等と似たような方向性をもつ活動だと感じます。

さて“本業を通じた社会貢献活動”の研修事業をするにあたり、どの様な研修にするか非常に悩みました。議案書でいうと背景・目的・効果でもどのように一連の流れを形成するのか、実際の研修の内容でも何をメインに皆さんに考えて頂くのかを考えに考えました。そこでポイントにしたのがVSOPをどのように（HOW）するのかを考えるのではなく、まずはなぜ（WHY）VSOPをするのかを考えてもらうようにしようと思いました。

社会貢献活動というとある程度の活動の種類は思いつきます。ゴミ拾い、町内会の取りまとめ、老人ホームでお手伝い等いろいろあります。しかしVSOPは“本業”を通じたとあります。皆さんの日々の仕事での技術・知識・資材・人材等を駆使した社会貢献をするという事になります。私はなかなか考えるのが難しいと感じました。

そこで順序を整理して考えることにしました。まずは本業をなぜ自分がやっているのか。そもそも自分が所属している会社は誰がなぜ作ったのか。その会社・仕事で誰に・どのように役に立ちたいのかを原点に返り考えました。そうすると自分の仕事がお客さんにどのように貢献できるのかが整理できました。そうするともっとこういう風にお客さんの役に立ちたい！今の客層とは別の層の人に役に立てるのではないか、などのアイデアが浮かびやすくなりました。

今回の会員研修事業で各会員が自分のVSOPを考えつかなくてもいいと思っています。それより今の本業について振り返っていただき、どんな人にどのように役に立っているのかを見つめなおしていただければ、おのずと新たな貢献の形が見えてくるはずです。病気になって初めて普段のご飯をおいしく食べられることに感謝できるように、毎日の仕事に追われ自身の仕事の本質を忘れがちになっていませんか？今回の研修で少しでもご自身の本業への考えを深めていただけたら嬉しいです。

オブザーブ報告

3月27日、総務委員会の定例委員会にお邪魔しました。4月の事業前ということもあり事業の内容や進め方などの話しを全員で活発な意見を出し合い詰めていました。今回の例会アワーではVSOPを主軸とした事業ということもあり、そもそもVSOPってなんだろう？ということを三原委員長から委員の社業に絡めながら説明をしていました。委員メンバーといえどその委員の社業の表面的なところだけではなく本質的な部分など、意外と知らないことがあるのが現状です。そういった現状を引き出しながら委員メンバー全員が意見を出し合い、冗談も言い合いながらの委員会活動は本当に楽しそうでした。

今回の事業ではグループディスカッションで会員同士の社業をVSOPを用いてどのように社会貢献できるかという論点で話し合います。これを機に同じグループになった会員の社業を改めて認知し合い、それを周知してお互いの根本である社業を理解し合うことで自分では気づけなかった新しい社会貢献のアイディアをいただけるような素晴らしい事業になると思います。（谷﨑将大）

新入会員紹介

①名　　前
②会 社 名
③職　　種
④趣　　味
⑤意気込み

①棚田　兼太郎 君（2018年7月入会）
②㈲棚田材木店
③木材・製材業で、丸太を市場で購入して柱などに加工して、市場で大工さん達に売るという仕事をしています。
④相撲観戦で、かれこれ10年以上は相撲中継を見続けています。見始めた当初はモンゴル勢が猛威を振るい、優勝力士といえばモンゴル人横綱や大関ばかりでした。あの頃から比べると、白鵬たちモンゴル人力士の力も歳のせいか衰え、数で勝る日本人力士にも優勝のチャンスが舞い込んでいる気がしています。これから行われるであろう、世代交代の瞬間から目が離せません。
⑤後輩達に胸を張っていられるようにしよう。それだけが意気込みです。

①角方　直樹 君（2019年1月入会）
②角方建設㈱
③土木工事一式
④音楽鑑賞（V系、パンクなど）、携帯ゲーム（野球、麻雀ゲーム）、ドライブ、スポーツ観戦
⑤入会して約3カ月が経ち、まだまだ分からない事も多いですが失敗を恐れず何事にも積極的に参加し自分の成長に繋げていきたいです。それと同時に、まずは分からない事や困った事があれば、どんどん質問して理解できるよう頑張っていきます。また今月から新しいメンバーも増えるので積極的にコミュニケーションを取り、楽しく、時には助け合いながらお互いモチベーションを高めていきたいです。最後になりましたがご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

①谷﨑　将大 君（2018年7月入会）
②株式会社　武生環境保全
③一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬処理業、その他管工事及び住宅増改築、下水道管内及び貯蓄層・側溝の清掃、グリストラップの清掃、遺品整理業など
④音楽鑑賞(ROCKが大好物です)、ゲーム、ツーリングなど
⑤委員長所信にもあるように価値観というフレーズに重きを置き、他人の価値観にも柔軟に対応できるよう精進していきます。そのためにいろんな会員と接し、自分も含めて相手の価値観を広げていきます。今年の会員開発は拡大委員会の尽力により大所帯になってきました。人が増えれば価値観も多様化します。そんな中でも感謝を忘れず、まずは新入会員同士の価値観を広げられるよう何事も楽しく頑張ります。

①中林　祐紀 君（2019年1月入会）
②友建工業
③主に住宅メインの仮設足場をしていますが工場やビルなどの足場施工もしています。
④釣り、マリンスポーツ、旅行など趣味はいっぱいあります。子供の頃から近所の川や溜池で鯉やフナなど釣って遊んでいましが最近ではジェットスキーで沖に出て揺られながら釣りをしたり、スピアフィッシング（モリ突き）で魚と遊ぶことがマイブームです。これからも幅広くフットワーク軽くいろんな趣味を楽しみたいです。
⑤自分のできることを精一杯こなし、苦手な事にもチャレンジし、スキルアップできるように頑張ります

5月例会アワー青少年育成事業
～未来へつなぐ誇れる大人になろう～

未来へつなぐ想い育成委員会 委員長
北川　優也 君

本年の青少年育成事業は、青少年の成長に伴い地域との関わりが少なくなる中、社会への意識も徐々に薄れていく現状があります。青少年の「誰かの役に立ちたい」という気持ちを育て、自身が社会をより良く変えていくことができるかけがえのない存在であることの気付きが、社会に関わる意欲を高め将来地域を支え世界で活躍する人材への成長に繋がると考えています。そこで例会アワーではなぜ現代社会に社会貢献教育が必要なのか、社会貢献教育を通して青少年や学校、周囲の大人たちがどんな事が学べるかを講演会にて話してもらいます。社会貢献教育を皆様に知って頂くと同時に、新しい教育として青少年や保護者、教員の皆様方に社会貢献教育を通じて、一人ひとりが社会参画し、今後の私たちの社会をつくる意識が向上する内容となっております。例会アワー後の５月 24 日社会貢献事前勉強会では、６月からの社会貢献教育を中学校の出前授業を行うにあたって実際の授業がどのように行われるかを知って頂き、私たち青年会議所メンバーが中学校での授業の関り方を学んでいただきます。その後中学校の出前授業をし、授業を通じて、社会貢献がなぜ大切かに気づき、様々な形で社会貢献が可能であり、自分にも何かできることがあると感じていただきたいです。私たちの地域にもいろんな課題があるから私たちも関わって変えていく必要がある事を考えて感じてもらい、これから先の私たちの地域をより良く変えて行けたら幸いです。

オブザーブ報告

未来へつなぐ想い育成委員会にオブザーブさせていただきました。他の委員会を見ることは初めてだったので、委員会によってこんなに雰囲気が違うのかと驚きました。とても明るい雰囲気でした。社会貢献教育というテーマですが、企業人として社会貢献は必須の課題だと思いますし、子供たちへの社会貢献の心を育む機会の提供はとても大切なことと思いました。例会が楽しみです。（角方直樹）

なに？なに？直前理事長

直前理事長　　**美濃　友樹 君**

角方：直前理事長はどのような役職ですか？
美濃：基本的にはアドバイスで、理事長、副理事長などから相談されて相談にのります。去年理事長を経験した分、事業や議案についてアドバイスができるかな。
角方：直前理事長の醍醐味はなんですか？
美濃：この間、勝山と鯖江に地区フォーラムのキャラバンに行って、全登録を約束してもらえた。理事長が言いにくいことも言えるのが直前理事長の醍醐味かもしれんね。発言に余裕がもてるし、組織図的にもラインがないので、誰のことも気にせず、会の為に最善と思われることを言うことができる。上下のラインのことを考えると言えないこともあるからね。
角方：新入会員に向けて、よりＪＣ活動を充実させるためのポイントは何ですか？
美濃：入会時に約束した、「例会、委員会にでる事を守る」このことを一つ一つ一生懸命参加し、積み重ねることが大事だと思う。入会時に持っている目的、目標があると思うけど、会を経験し役職を経験していくと、見える景色も変わり、目的も変わっていくことが自分自身も肌で感じた。１つ１つの事業に真面目に参加して、その事業の目的を理解し取り組むことが大切だと思う。まずは、もらったＪＣ手帳の「理事長所信」を読んでみることも大切と思う。
またチャンスがあったら出向も経験し、県内外の同世代のメンバーとつながることも大切と思う。事業の出来不出来でなく、一生懸命取り組んだから、今でもその仲間とは語り合える仲間で、今でもブロック副会長時代の仲間とは月に１回ぐらい会うよ。
角方：最後に、去年、理事長をやられてみての今のお気持ちを教えてください。
美濃：理事長は責任感が全然違う。１年間、例会、理事会、事業に穴をあけることができないプレッシャーと闘わなければならない。他の役職は２人以上いるが、理事長は１人。そのプレッシャーに打ち勝ち、褒章事業で皆勤賞に理事長とはいえ名前をつらねられたことが自信になった。全うできた感じやわ。
是非、新入会員のみんなも、組織図を理解し、自分のステップアップをイメージして理事長を目指してほしいと思います。

①清水口　司 君（2019 年 4 月入会）
② LABE
③ WEB サイトの制作・運営、WEB プロモーション (SNS 含む)、WEB マーケティング、名刺・ポスターなどのデザイン
④読書とお酒。最近はお酒を飲みながら読書をしています。
⑤新入会員はもちろんですが、既存の会員との親睦も深め、良い関係を築きながら活動をしていきたいと思っています。また、多くの会員がいる中で、今までに経験してきたことも持ち合わせている知識も違います。皆さんの良いところをどんどん吸収させていただくためにも、多くの会員と接していきたいと思います。そして、他の会員の方に何か与えることのできる人間となれるよう精進致します。皆様、よろしくお願いいたします！

①中村　真利江 君（2019 年 4 月入会）
②ジブラルタ 生命
③生命保険業です
お客様に心の平和と経済的安定をお届けする仕事です
④筋トレ、人と会う事
自分が未体験の話や熱い想い、考え悩みを聞くと自分の中で閃きや新しい情報が入ってきて新鮮な気持ちになれるので色んな方とお話ししたいです。
筋トレは自分の継続力を試す意味で続けています。
⑤今回、このような素晴らしい会に入らせて頂き、誠にありがとうございます。男性が多い団体と伺っておりますので女性としての考えや感じ方、目線を活かして１日も早く皆様の力になれるように精一杯皆様の背中を追いかけて行きますので、ご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、暖かな目で見守って頂けるようにお願いします！

①萬谷　聡 君
（2019 年 4 月入会）
②有限会社 萬谷
③飲食店、食品製造卸。県内にて和食２店舗、洋食１店舗を経営しているほか、押し寿司やお惣菜の製造卸をしています。
④ YouTube でのプレイリスト作り（音楽、ゲーム、バナナマン）
⑤業種、年齢も様々の方々の中で多様な考え方、思いを感じ、自分の思い、考え方とより良く融合させていきたいと思っています。

①土井　梨津子 君（2019 年 4 月入会）
② Doi　Production
③各種司会　タレント　モデル
④書道　茶道　英会話　時々パン作り
⑤この度、ご縁を頂き入会させていただくことになり、とても感謝しています。ここでの経験は、私の今後の人生において財産になると確信しています。会員の方々と共に人の繋がりを大切にし、更に地域に根ざした武生青年会議所となるよう、そして武生青年会議所から日本へ、そして世界に発信できるよう頑張りたいと思います。

①真柄　進 君（2019 年 4 月入会）
②㈱オレコ・（お店）ベトナムショップ
③・ベトナム技能実習生送り出し機関で、日本側の事業部に担当し、主に営業とお客様サポートにしています。人手不足問題対策で、若手と優秀人材を送り出しています。・鯖江市で西山公園の近くにベトナムショップを経営して、主にベトナムの食材を販売しています。
④サッカーを見ること・旅行・音楽を聴く等
⑤出会いが楽しです。そして、そこで同じ思い出を持てる方々が集まって、皆チームで何かを起こしたいです 。

①森岡　和麻 君（2019 年 4 月入会）
② Financial Partners
③プライベートバンク代理店ドル口座開設手続き、ランドバンキング、保険各種、暗号資産等、最先端の金融商品を取り揃え、皆様の資産を守ります！
④フットサル、カラオケ、サンバダンス
⑤皆様の資産を救うために、自分で会社を立ち上げました！日本の夜明けに向け、共に出港しましょう！

北陸信越地区経済人会議に参加して

2019 年度北陸信越地区経済人会議が 3 月 31 日金沢にて、講師にホンマでっか !?TV でも有名な門倉貴史氏を招いて行われました。今回の開催テーマが「コラボレーションによる北陸信越の持続可能な経済成長の実現」ということで、参加する前に地域経済ビジョン確立会議の議長である安久議長に「なぜ今回の経済人会議を開催しようと思ったのか？」を聞いてみた所、「地域経済を再興する為には当該地域の行政、経済団体、企業、市民等の経済人が、当事者意識をもって地域経済の現状や将来について議論し、将来のビジョンを策定して行動に移す必要があります。その為には、地域の経済人が終結した経済人会議が適していると考え当事業開催に至りました。」と回答がありました。また「最大の狙いは、人手不足を理解するだけではなく、この地域の課題解決に向けて当事者意識をもって行動する事」だと回答してくれました。事業に参加する前にそれを聞き感じたことは、まず凄く身近な問題で将来会社を経営していく上で人手不足は経営に直結しますし、当事者意識を持って真剣に向き合うべき課題だと感じました。実際に事業に参加してみて、毎年人口減少が加速していて、それに伴い将来の不安から若者の消費が減ってきているという事が印象的で、第 1 部の「日本の企業がどういった経営戦略を構築していけばいいか」では今クールジャパン戦略（外国人を呼び込む戦略）というものがあり「映画や音楽などで日本への関心を高めて外国人観光客を増加させる戦略」というものです。その戦略を聞き経済効果が凄く見込めそうだと感じましたし、ターゲットを外国人に向けることで戦略の幅が広がるなと感じました。第 2 部の「今後の北陸信越地区が目指すべき方向性」では、まず当地域は高齢化スピードが全国的に見ても早いということに驚きました。そして当地域が目指すべき方向性は、門倉氏の「過去の事を売り出すより、未来のビジョンを明確にし売りにしていく事が大事」という言葉が印象的でした。（角方直樹）

バースデー会員（思い出の 1 枚）

土橋　二彰 君（4 月 12 日生）

2017 年の夏に越前町の花火に家族で行きました。写真は花火が上がった時の様子です！次女（当時小 1）と長男（当時 2 歳）が怖い顔をしながらも大きい花火とデカい音の迫力さに喜んでいたのが印象的でした！また行きたいと言ったので毎年、行くようにしています！！

上木　伸鷹 君（4 月 22 日生）

この写真は小学校、中学校からの友人との集合写真です。20 年以上の付き合いです。いまだにバーベキューをしたり、旅行に行ったりします。まじめな話もたまーにします。喧嘩もたくさんしてきました。仲間のために集まって夜遅くまで話し合うこともあります。仲間って大切だと写真を見直して改めて思いました。これからも仲間を大切にしていきます。人は、誰かに助けてもらって、助けながら成長するんかなと思いました。

黒田　克矢 君（4 月 22 日生）

今月入会の中村真利江さんが入会を決意してくださったときの一枚です。振り返ってみると 4 年前自分も転職したばかりで青年会議所に入会をしました。彼女と同じく右も左もわ からない暗中模索の状態で新しい仕事に取り組んでいましたが、本会に入会し、多くの仲間 と時間を共にすることで沢山の学びを得て仕事へフィードバックできたことを考えると、今後入会してくる皆さんにも必ず一つは学びを持ってもらえるように行動していかなけれ ばならないと強く思います。青年経済人として、人として多くの学びをもらえるこの会を卒 業まであと二年、仲間と共に全力で駆け抜けていきますのでご協力お願いいたします

加藤　貴士 君（4 月 23 日生）

誕生日にまつわる淡い思い出を数日間振り返ったが何も無く…なので、我が家の誕生日ケーキについて。子どもたちにイラストケーキをプレゼントしてます。どんな要望にも応えてくれる今のケーキ屋さんはすごいよねー。ってことで、期待に応えれる仕事を追求して 40 歳も過ごします。

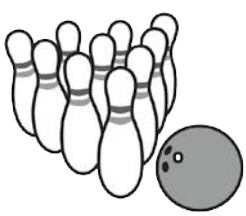
新入会員交流ボーリング大会開催について

5 月に、我々新入会員が主導でボーリング大会を開催します！ボーリング大会といえども、我々にとっては初めて取り仕切る催しであり、緊張 6 割、胸の高まりも確かに 4 割の気持ちでただいま準備を進めております！このボーリング大会の主な目的は、新入会員をはじめとする武生 JC メンバー同士の交流です。まだ話した事の無い人や、交流が浅いけど気になっているという方とボーリングを通じて交流を深めてみませんか！

まだまだどんな大会にしようかと模索している段階ですが、成績優秀だった人やチームには、超豪華な賞品も贈ろうと考えております。

日頃 JC といえば体を動かさず話し合いに精を出す事が多くなりがちです。

この機会に、最近本気で体を動かしていないなという方も、気心の知れた仲間や新しい人と思いっきり体を動かして熱くなってみてはいかがでしょう！



我こそは武生 JC のボウラーの中のボウラーだという方のご参加をお待ちしています！

日時詳細は決まり次第ご連絡させていただきます。（棚田兼太郎）

3 月例会アワー報告

総務会員開発室 室長 奥村　広志 君

今回の 3 月度例会アワー、ブロック公式訪問を終えて、率直に感じたことは県内 10LOM と福井ブロック協議会との強い繋がりであります。福井ブロック協議会という大きな基盤がなければ武生青年会議所会員は福井県内にある他の LOM の方と接する機会はありません。やはり武生青年会議所以外の方と接する事が刺激となり、武生青年会議所にはない多くの事を得れるのではないでしょうか。今回を期に私も機会があれば是非、福井ブロック協議会に出向したいと思います。

編集後記

会員開発委員会 副委員 佐々木　一峰 君

平成最後の月も後僅かとなり、新年号も「令和」と発表されました。4 月は、社会や企業においても新期となり、入学式や入社式など新生活がスタートする節目の月です。武生青年会議所においても 4 月は新入会員が一番多く入会してくる時期です。会員開発委員会としては新入会員を温かく迎え入れ、新体制で一丸となって頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.5.8
Vol.613

見開き

特集記事 新年号令和 !! ～新時代に向けて～

６月例会アワー　多文化共生事業

なに？なに？専務理事

福井ブロック協議会女性会員 × 会員拡大会議

・第３回地区フォーラム実行委員会
・じゃがいも開幕戦
・バースデー会員（ゴールデンウイークの過ごし方）
・第 31 回さくらまつり
・４月例会アワー報告

新年号令和！！～新時代に向けて～

会員開発４月度定例委員会
JC の基礎知識、新入会員が学んだこと、初委員会をベースにこれから会に携わっていくこと

会員開発員会　委員長　寺田秀之

「JC は道具である」公益社団法人日本青年会議所　第 66 代会頭　青木照護先輩の言葉です。

さて、4 月を経て新たなメンバーも加わり、当委員会も賑やかになってまいりました。今回の「しろばん」では先月の委員会の趣旨とは？ということで、少しお話しさせていただきます。

まず、委員会の前哨として各メンバーのスタート地点である入会動機のリサーチを行いました。少し気が早いかもしれませんが、スタート地点を明確にすることで少し先の未来、いわばゴールのイメージを持ってもらおうという試みです。そこから武生 JC の年間フレーム、組織形態を伝えることで出来るだけ早く「道具」としての理解を深めてもらおうということが前回委員会の趣旨です。

委員会、委員長によって様々な運営の方法があると思います。これが正解だということはないのかもしれません。しかし私は、委員長に与えられた職務は皆が当事者意識をもって生き生きと JC ライフが送れる環境を整えること、この一点に尽きると考えています。私が大好きな武生 JC を皆にも好きになってもらいたいですからね。

最後になりますが、私たちの会員開発委員会から武生 JC、ひいてはこのまちを変えてやろう！本気でそう考えています。

佐々木副委員長

本年度は、寺田委員長の下で委員長が掲げました運営方針をしっかりと全うすると共に既存会員、新入会員と規律と秩序を重んじながらも生涯の仲間として絆を育んでいきます。

また、副委員長として既存会員と密にコミュニケーションを取り、新入会員の成長を図っていきます。委員会として目的を共有し、一人ひとりが事業に対し、しっかりと目的を持って参加できるよう心掛けていきます。青年会議所活動の無限にある価値、楽しみ方を伝え、自己成長を図れる委員会運営を行っていきます。

嶋崎委員

「会員開発委員会は決して、新入会員の為だけにあるものではない」寺田委員長の言葉でした。新しい価値観を持った新入会員の姿を見て、既存会員自身も、忘れていた初心と、新たな行動の原動力をもらうことにつながると私は感じました。

私は、４０歳でＪＣが終わるのではなく、一生ＪＡＹＣＥＥでいれるように、ＪＣのことが好きなままで、新入会員とともに切磋琢磨したいと思います。

安久委員

先月、当委員会に新たな仲間が入会し、初の委員会でした。そこには新入会員だけでなく既存メンバーも同じように入会動機からゴール（目標）までを改めて再確認することができました。寺田委員会を少しでも盛り上げ、メンバーが最高の委員会だったと思っていただけるよう共に学び、共に楽しんでいきます。

高村委員

今年度会員開発委員会に配属された高村沙織です。

1 月度に 2 名、4 月度に 6 名の新入会員が入り、当初の 9 名から 17 名になりました。そして、初の委員会が 4 月 21 日に開催されました。委員会時の委員長からの「青年会議所とは」「会員開発委員会とは」という説明を聞く新入会員の前向きな姿。

会員開発委員会は面倒だと思うことが多いですが、メンバーと協力し自分ができることをみつけたいです。

谷崎委員

4 月 21 日、4 月入会の新入会員には初となる委員会が開催されました。寺田委員長から武生青年会議所とはどういった団体なのか、どういった意義があって活動をしているのか、会員開発委員会とはどういった委員会なのかの基礎的な部分を丁寧に説明していただきました。右も左もわからない我々新入会員としっかりと向き合って時折ユーモアも交えながらの委員会は本当に楽しいと思える時間でした。今年一年、しっかり委員長についていきたいと思います。

棚田委員

入会したのは 2018 年 7 月なので新入会員とは言いづらいのですが、まだまだ至らない点ばかりなので、今年入会した皆さんと共に一年歩めれば良いなと思います。

JC の目指す所は「より良い未来を創ろう」との事で、これを我が社に置き換えて言えば、より会社を発展させる。と解釈しました。

これから我が社をより発展させるべく JC 活動で多くの事を学び、委員会においては休まず出席を目標とし、後輩の皆に恥ずかしくないよう活動します。

角方委員

4 月度の委員会に参加し感じた事は、まず青年会議所は JC 手帳に書いてある理事長の所信に沿って全てが動いているという事が凄く印象的でした。また今まで JC と JAYCEE の違いが分からなかったのですが、その違いが分かり勉強になりました。今後 JC 活動をしていく上で理事長の所信などをよく読み理解した上で、常に頭に入れ意識しながら JC 活動をしていきたいです。そして目配り・気配り・心配りで沢山の仲間達に信頼される JAYCEE になりたいです。

中林委員

先輩方の熱い思いを聞き、自分も加入したくなったことがＪＣに入会した僕の動機です。ＪＣ手帳を読み、組織のことをもっと理解して、先輩にご指導をもらいながら頑張りたいと思います。

清水口委員

初めての委員会は「JC とは？」に焦点を当てた内容が主なところで、JC の基礎を学ぶことができました。今後､様々な事業に関わるのが楽しみです。直近では 5/25 のボーリング大会を新入会員が主体となり執り行わせて頂きます。打ち合わせを重ねている最中ではございますが、全員が参加して良かったと思えるようなものにしたいと思いますので、ご参加のほどよろしくお願い致します！

土井委員

入会後初の会員開発委員会が開催され、寺田委員長より青年会議所とは、会員開発委員会とは、をご説明いただき、わからないところはそのままにせず、何度も手を上げ自分の中に落とし込みました。「気づく」ことの大切さを改めて感じた、とても実りのある時間でした。

ただ今新入会員でボーリング大会を企画中です。時にはぶつかりながらも学びと楽しみのある企画となるよう、そして私たち新入会員にとって素晴らしい JC ライフの1つとなるよう力を尽くしたいと思います。

中村委員

今回初めて定例委員会に参加させて頂きました。

まず基礎知識を教えて頂いて組織図や基本方針を知ったことにより JC の組織が少し理解出来たので自分と JC の距離が近づきました。

また、進行など見て規律ある会だと言うことを改めて認識しました。自分を高めていかなければならないと実感でき、気を引き締めてこれからも関わっていくと共に JC の考えを吸収出来るよう出席出来るものには参加していく様に努めたいと思います！

萬谷委員

初の委員会を経て率直に感じたことは、ＪＣがやっぱり何をするところかよく分からない！ということです。でもそのＪＣについての理解を深める場所がこの委員会ということなので、これから事業に参加していくことで理解が深まっていくんだよと、教えていただいたと思っています。

これから基本方針、運営方針にもあるように事業を通して会員同士の絆を深めながらＪＡＹＣＥＥとしても個人的にも成長していきたいと思いました。

真柄委員

偶然な出会いで JCI に入会することになりました。
入会してから、まだ 1 カ月目ですが、楽しく忙しい日々を過ごしています。

JCI の活動を通じて、お互いに助け合う場面が出てくるので、そこで「私達は仲間」という認識を実感出来るのは、とても素晴らしいことです。
そして何年後振り返って考える時「あの頃 頑張って良かった」と思えるようにしていきます。ＪＣの活動がとてもいい事だと私は思います。

森岡委員

実際に JC に参加して感じたことは、自分たちが街を担うという責任感を持って活動することの大切さです。1 人 1 人の活動が、ダイレクトに JC の活動結果に結びつくので、熱意を持って参加したいです。
委員会毎のメンバーのコミュニティから生み出される、アイディアや企画だけでなく、委員会・街・県を越えて、横の繋がりは一生の財産になると感じました。

6月例会アワー
多文化共生事業
～Let's get started 互いに必要と思える地域を目指して～

外国人と共に夢を描く委員会　委員長
斎藤　陽介 君

6月6日(木)の例会アワーにおいて多文化共生事業～Let's　get　started 互いに必要と思える地域を目指して～と題して事業を行います。今回の事業では、この多文化共生を進めている越前市にとってその当事者である日本人住民と外国人住民、特に日本人の方に外国人を受け入れる気持ち、また外国人には日本人のコミュニティに入っていきたいという気持ち、お互いの意識の醸成が必要だと考えました。その為には実際に生活している現場、その地域の中で外国人住民に地域活動に関わっていってもらい、日本人がその姿を見てこのまちをもっと盛り上げていくには外国人の力も必要だと感じることができる仕掛けをつくっていきたいと考えています。今までは別に少しばかり外国人が多いだけで特に関わりあわなくても良いんじゃないかという考えの市民が少しでも、このまちに存在する文化的多様性にはまちをより良くしていく可能性が多分に含まれていて、それを本当に活かすことが出来るのは行政ではなく自分たち自身であるという考えに変わってほしいと思います。

「共生」というのは「共に生きたい」ということ、「交流」は「心を交える」ということだと思っていて、私の中では「共生」は「交流」の少し先にあるだけで本質は一緒だと思っています。「交流」なしに「共生」はあり得ないと思います。大事なのは当事者である住民同士が、心から触れあえる交流が出来るような環境があるかだと、そうやって個人と個人がちゃんと心で繋がる経験をすることが「共生」に繋がっていくのだと思います。私の場合は音楽というものを通じて以前そういう経験をしました。でも多分それは何でも良くて、バーベキューでも、お酒の席でも、サッカーとかスポーツでもいいと思う。そういう経験を地域の活動の中で市民にしてもらいたい、今年の事業がそのきっかけをつくる土台になっていってくれたらと思います。

オブザーブ報告

外国人と共に夢を描く委員会にオブザーブとして参加してきました。

斉藤陽介委員長を中心に、理事会報告、6月度例会アワーへの準備を進めている所を拝見させていただきました。

委員長の説明を聞いていると、我が町の日本人と外国人との関係は浅く、孤立している人や社会活動に参加しない外国人が多いみたいです。

そこで、日本人と外国人の繋がりを強め、共に社会に貢献しようというのが委員会の目標であり、そのために日本人と外国人を交えたネットワークの構築、講師を呼ぶ等の活動をこれからしていくようです。

その町に住む日本人と外国人が手を取り、共に社会を築いていく。

JCが目指す「より良い社会」の一つの答えだと感じました。

（棚田兼太郎）

なに？なに？専務理事

専務理事　　**松ケ谷敏嗣 君**

清水口：本日はお時間頂きありがとうございます。早速ですが、専務理事という役職はどのようなものでしょうか？

松ヶ谷：端的に言えば「運営上のトップ」になります。他の青年会議所や行政など外部からのファーストコンタクトの役割を担ったり、JCの三大大会のように会員の皆様に機会の提供をしたりというようなところですね。事務局に山崎さんという方がいますが、その方からの連絡も僕のところに来るようになっています。

また、理事長のやりたいことをいかに遂行できるかについても考えます。「理事長の女房」とも言われる役職です(笑)

清水口：新入会員に向けて、JC活動をする上で伝えておきたいことはありますか？

松ヶ谷：どうせやるなら"ちょっと"無理した方が良いと思っています。今日もこうしてしろばん記事で来て頂いていますが、なんでもない日に時間を割いてJCの活動をしている。これに意味があると思います。やりすぎて仕事に影響が出るのはまずいですが、"ちょっとだけ"無理してみてください。そこから見えるものがきっとあります。そして来年から様々な役職に就くと思いますが、勇気を持って取り組んでもらいたいですね。

清水口：最後に、これまでのJC活動を通して得たものを教えてください。

松ヶ谷：委員長という役職に就かせて頂いた時のことですが、周りへの気遣い方やお願いの仕方を学ぶことができました。会社だとお給料を払っていて利害関係があるので学びづらいですが、JCは利害関係がない分多くのことを学ぶことができます。これは実際の会社経営でも活きてくることで、すごく良い経験でした。

また、JCには様々な業種の方がいます。同業だけの付き合いだとどうしても狭い視野になりがちですが、JCの活動を通して視野や考え方の幅が広がりました。

特に4月入会の方は業種が多岐に渡っており、様々な意見を頂けそうで今から楽しみです。

福井ブロック協議会女性会員×会員拡大会議

4月13日に私が出向させていただいています福井ブロックの拡大会議に出席してまいりました。拡大会議では、毎月一度集まり、拡大の進捗状況や各LOMの拡大担当者の悩みや拡大手法の共有などを行っております。今回4月には、女性会員×会員拡大会議の意見交換会と銘打ってどうしたら女性会員が増えていくのか、LOMをどのように改革していったら女性が活躍しやすいまた入りたいと思えるようなJCとなるのかを女性ならでは、の意見を聞きつつ話し合いました。

昨今男女平等やジェンダーフリーといった意見をよく耳にするようになり女性活躍という観点は、JCの中でも高まりつつありますが、日本のJCの男女比率は、世界的みてもかなり女性の割合が低くなっております。

この割合で活動を行っていくとどうしても男性目線の事業が増えてしまいます。

意見交換会の中でも、女性が活動しやすいLOMを作ることが女性拡大の第一歩だという意見が多く飛び買いました。具体的にいうなれば、やはりJCを行う２０代、30代といいますと、やはり子育てや出産といった課題が多く出ました。そこで他LOMの意見を聞いたところ、鯖江JCさんが行っていることとしては、会議１０時を超えないように事前質問書を作り会議を円滑に進めたり、例会には託児所を設けたり、委員会は、お子さんと一緒に出席するなど様々な工夫をしてらっしゃいました。

またほかの意見としまして本気で女性会員を増やしていくなら金銭面での優遇や、男性社会ならではのセクハラ問題の解決も話し合われました。

今世の中は、目まぐるしく変化しています その変化に対応してLOMを改革していかないと今後武生青年会議所も存続の危機になるかもしれないと感じた会になりました。

会員拡大委員会 委員長　向井　智

第3回地区フォーラム実行委員会

３月から県内キャラバンが連日続く中、第３回実行委員会にも多数の会員に参加頂き、まずは心より感謝申し上げます。今回は部会分科会の時間を長めにしましたが、記念事業、大懇親会ともに議案が審議通過前の構築段階であることを踏まえて、参加メンバーから一つでも多くの意見やアドバイスをもらって議案に盛り込むことを意識して臨みました。両事業とも事業規模や予算が非常に大きく担当者だけでは気づかない点も多い中で、本当にたくさんの会員の方から様々な観点や角度から前向きなで活発意見をもらうことができて、確実に完成度が一層高まったと感じます。５月からはいよいよ準備が本格化していきます。武生ＪＣ会員全員が「主役」として参画し、事業本番で輝いて頂けるよう、一人ひとりの役割、行動スケジュールを明確化したうえで取り組んで頂けるよう計画中です。引き続き､皆様ご協力よろしくお願いします！７月６日、みんなで、やろっさ！　（田中陽介）

じゃがいも開幕戦

2019 年度じゃがいもクラブ会長を務めさせていただきます水野裕二です。４月７日には開幕戦を行わせていただきましたが、ご参加をいただいたメンバーの皆様には感謝を申し上げます。ありがとうございました。このじゃがいもクラブの始まりは当時の先輩達が JC 活動をしている中で、毎回会議だの懇親会だの飲み食いばかりして健康に気を使ったメンバー達が、たまには外の空気を吸ってスポーツでもしようじゃないかと始められたのがゴルフ部だったそうです。その中でもスポーツには無縁の方々も多く、芋掘りゴルファーが多かった為じゃがいもと名付けられたそうです。普段スポーツを中々する機会が無い方や、ゴルフに興味があり始めようか迷っている方など、お気軽に参加してみてはいかがですか？このコンペは JC の先輩と現役だけの参加になっているので、きっと先輩方と楽しくラウンドができると思いますよ。私もゴルフを始めたきっかけはじゃがいもクラブで、初参加が初ラウンドになりました。もちろん緊張はありましたが楽しくゴルフをすることが出来ました。また事業で行われる新年賀詞交換会やシニアと語る会とは違い、スポーツを通じて諸先輩方と交流ができる有意義な時間を過ごせる場となります。もし、道具の事や練習の事など不安なことがある方はお気軽にお声がけ下さい。いつでもお付き合いさせていただきます (^_-) ☆
Let's enjoy GOLF !! ☆　（水野裕二）

バースデー会員（GW の過ごし方）

北川　優也 君

ゴールデンウイークは子供が東京から帰ってくるので、２日間は家族で、バーベキューや雪がある立山に行き絶景を楽しみ何もかも忘れてリフレッシュしたいと思います。又、私たちの５月の例会アワーの事業も控えてるのでイメージトレーニングなどを含めて過ごしたいと思っています。例会は僕の誕生日なので、その前に家族に誕生日を祝ってもらい過ごしたいです。

奥村　広志 君

ゴールデンウィークはほぼ仕事です。前半は出張、後半は地元で民間工事と貧乏暇なしで働いています。しかし新天皇即位の日で新しい年号がスタートする５月１日だけは必ず休みます。また一日ではありますが､家族サービスもバーベキューなどを考えています。これからまだまだ仕事も JC も忙しくなりますが、家族に支えがあるからこそ、仕事や JC を一生懸命に取組める事を忘れずに、家族サービスの時間もしっかりとつくっていきたいと思います。

水野　翼 君

今年のゴールデンウィークは 10 連休です。自分はこの連休を使い海外に逃亡しようと思いましたが、なんだかんだ BBQ の予定が３件入り、お客さんとの片町の予定も入りいつも通り毎日酒を飲む連休になりそうです。でも最近ほぼ毎日家にいないので、連休中１～２日ぐらいは嫁を連れて出掛けようと思います。

さぁて、連休終わったらダイエットせねば！

永宮　清勝 君

僕の今年の GW の過ごし方は、仕事と田んぼをやって終わっていそうな気がします。
いつもは、だらしなく過ごし連休明けが辛いと毎年言っているのですが、今年はジム通いもしてダイエットに力を入れてみようと思います。
そして、体を絞ってまた美味しいお酒を飲もうと思います。(笑)

中梶　充宏 君

世間では 10 連休と騒がれている今年の GW ですが私の会社では 10 連休もとれるはずもなく例年通り 3,4,5 の３日間休みとなりました。特にどこかに旅行に行くとかの計画は無いんですが、普段 JC や仕事で家を留守にしがちなので、GW は子供の行きたい所へ連れていってあげようと思います。また５月は結婚記念日の月でもあります。いっそう日ごろの感謝の心を持って家族と過ごそうと思います。

北村　優樹 君

会員の皆さまお疲れさまです。総務委員会の北村優樹です。ちなみに世間では 10 連休ですが、皆さまはどうお過ごしになられました？我が北村工業は世間と同じ 10 連休ですがはっきり言って半分以上はする事がありません (泣) 玉を弾きに行けば令和元年の最初の月を廃人のようになってしまうので、腰痛のケアにあてたいと思います (笑) とりあえず大きな事故もなく無事にすごせたらと思います。

第 31 回さくらまつり

明日のまちを担う人づくり室 室長
寺尾　健一郎 君

４月 14 日（日）に安養寺町みどりと自然の村にて、太陽の広場桜まつりが開催されました。本年は、蕎麦 BAR 大和様のご協力のもと、昨年の多文化共生事業において外国人住民の方と共に開発したシナジーフード「シュラスコ蕎麦」を販売させていただきました。あいにくの小雨日和でしたが、多くの会員の皆様のご協力のもと 50 食全てを無事に完売することができました。

（公社）武生青年会議所と安養寺町の関わりは深く、毎年桜まつりに出展させていただいています。そうしたご縁もあり、安養寺町の方からは（公社）武生青年会議所に対する信頼や感謝の気持ちを感じました。また、隣接の女性部の方など安養寺町の方との交流も図ることができました。規模の大小はあるかと思いますが、地域の方々との協働や交流の積み重ねが我々の運動の大切な基盤となっていくものと思います。

最後になりますが、多くの皆様にご協力いただき本当にありがとうございました。

４月例会アワー報告

総務委員会 委員長 **三原　卓也 君**

今回初めて事業を立案し、実際に事業を開催するという流れを経験させて頂きとても学ぶ点が多かったです。議案書上で考えていること、リハーサルでやってみたこと、本番での流れなど、どの様に考えたものと行われるものの“ズレ”が生じるのかを体感できました。委員長、委員会メンバー、参加していただいた方それぞれの共通した視点をいかに多くするかが非常に重要になってくると感じました。参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

会員開発委員会 **高村　沙織 君**

新しい年号になる月のしろばんを４月度入会の新入会員と一緒に取り組むことができ、嬉しく思います。３月から班編成をして令和第１号の特集記事を何にしようか考えてました。今までの武生青年会議所の歴史を振り返られるのも、この機会だからという思い。それでも深くは取り上げられない。そこで平成元年の理事長を調べてみると、なんと第 27 代棚田理事長でした。初の親子対談が実現するとより読み応えのあるしろばんになったのでは!?という思いで、しろばん作り頑張ってます。

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.6.6
Vol.614

～　紡ぐ　～

見開き

特集　**地区フォーラム鼎談（ていだん） ～紡ぐもの～**

理事会オブザーブ報告
ボウリング大会報告
なに？なに？財政局長
ブロック新入会員オリエンテーション

・ギャップ萌え～
・バースデー会員（思い出の１枚）
・５月例会アワー報告

地区フォーラム鼎談　～紡ぐもの～

地区フォーラムを約１か月後に控え、今このタイミングだからこそ語れる想いを三者で語っていただきました。歴史を感じられる場で、あらためて武生の魅力を感じながら・・・

※鼎談（ていだん）…三人が向かい合って話をすること

【武生で地区フォーラムを開く意義は】

五十嵐：地区フォーラム開催の意義としては、青年会議所運動の本質でもある部分、『地域の活性化』と『市民の意識変革』この２点を実現することと思ってます。

市民の意識変革から色んなことにつながって地域の活性化になりその２つが好循環となると思ってます。昨年、諸先輩方が、「地区フォーラムを武生に持って帰ってくるぞ」と言われた時には、私は「今の武生で大丈夫ですか？」と言いました。でも考えてみると逆に、これが今の武生の起爆剤になるのではないかと考えを改めました。

諸先輩方が獲得してきてくれたこの地区フォーラムを成功させて「持って帰ってきてよかった」と先輩方に思ってもらえることが僕の個人的な想いです。

【地区フォーラムが、起爆剤として対内・対外に与える影響は】

山﨑：僕が、先輩と話していていつも聞くのが「昔はもっと統率がとれてた」という言葉です。この意味は、いざという時に、トップがこうするぞと言ったら、みんなが一緒に同じベクトルを向くことが大きいということだと思います。

起爆剤という言葉ではないですが、「薬」という意味で、今後、良い効果が生まれると思っています。各事業でも委員長の想いを聞いた委員メンバーが同じベクトルに向いているかどうかでその事業の成功を左右すると思っています。今このことに改めて気づくことで今後の事業の意識が変わり、もっと大きな効果が生まれる事業を行うことができると思っています。

対外的には、４年後の新幹線を意識していますが、決して通過駅になってはいけないと思っています。自分が去年の地区フォーラムで上越に行って感じたのは、「上越の何かを知って帰った」というよりは、「上越の誰かを知ってその人に会いにいきたい」というつながりができ、行くきっかけができたように感じています。

「関係人口」という言葉がありますが、今すぐ人口の増加につながらなくても、仕事か何かでつながってもらう、つながる要素があることで、経済効果につながり、そのさきがけにこの地区フォーラムがなればと思っています。

ＪＣ入会時に誰もが初心として持っている「自己成長、人脈づくり」は忘れずにいたいです。対内だけに仲間ができたと収まるのではなく、もっともっと知らない人と出会う機会は自分がつかんでいきたい。つながれる機会をラッキーと思ってもらいたいです。

【想いをより効果的に伝えていく記念事業、懇親会になるために】

田中：県外の会員が 1,000 人以上来られるからには、地域の魅力を知ってまた来たいと思ってもらいたいです。丹南地域の素晴らしいところは３つあると思っていまして①海の幸があって自然が豊かな環境の良さ② 1,000 年を超える伝統工芸などの歴史と伝統③これが武生の特徴と思いますが、多文化で、色んな人種の人が住み暮らす、最近では、ダイバーシティと言いますが、いろんな人がいろんな形で活躍して暮らせるまち。の３つだと思っています。

丹南地域は広いですが、例えば、伝統工芸だと、ＲＥＮＥＷ（リニュー）、1,000 年未来工芸祭とか特定の分野にスポットをあてたイベントは盛んになっていますが、でもそれはなかなか興味がある人しか足を運びづらいことがあるので、丹南地域の３つの魅力をまるごとぎゅっと詰め込んで、初めて来た人に伝えて、何かの切り口でまた来たいなと思ってもらえるような、そういったところを伝えられるような記念事業にしていきたいと思ってます。

また、車で回りやすいようなガイドマップを作成したり、この機に市とのタイアップをして、その日だけで終わらせない、持続的な、「また来てもらえるしくみづくりをしたいと考えています。

大懇親会は、例年みたいに本当は有名人を呼んで、飲んで盛り上がればいいと思っていましたが、でもせっかく北信越の会員が集まってやる意味がないので、そこの会員が集まることで交流、他の県、他のＬＯＭのことも知ってもらいたい。福井に来てもらうということで、福井の各ＬＯＭにも協力してもらって、福井全体のグルメも楽しんでもらって、大懇親会が終わったときに「あそこのブロックのあの人と友達になったから会いに行こうかな」みたいな先につながるものが生まれる会にしたいと思っています。

企画としてもチャレンジの要素の多い内容で、内心ドキドキもしていますが、会員みんなで力をあわせてチャレンジすれば、きっと得られるものも大きいと思いますのでみんなで協力しながらやっていきたいと思っています。

五十嵐：大懇親会は、どんな役職の方とも同じ場所に入れて、同じものを食べて、同じお酒を酌み交わす場。他のブロックの話が聞けることは知恵になるし、それを持って帰ることは、自分にとってもＬＯＭにとってもプラスだし、そして、地域にとってもプラスになるので、大懇親会には意外と大きなことが眠ってるので、今年は本当にすごいことに挑戦しようとしていると思います。

【紡ぐもの・・】

田 中：地区フォーラムは大変でみんなの協力がないと成功しない大変なもの。でも、ＪＣをやってるのは、自分、会社を伸ばすためにやってるというところで、自分は、2000 人規模、予算では 1,000 万円規模の事業に携われたことは、自分の今後の人生に生きてくる経験だと思うので、会員同士の力を紡ぐこともそうですが、この先の人生に向けてつながっていくものと思っています。

山 﨑：紡ぐというタイトルが決まったときに、歴史や伝統文化、そして多文化など新しい文化を紡いでいくことの重要性は感じていますが、人同士を紡ぎたいという思いが大きかったです。僕らが 20 年後、30 年後もＪＣ卒業した同じ仲間として一緒に笑っていきたいと思っているので、やはり人を紡ぐ想いは強いです。

ＪＣでは、「機会の提供」という言葉がありますが、研修などに出ることが機会と思っていましたが、地区フォーラムに携わって、色んな人と関わって、その人ともっと深い関係になれるのが機会かなと思うようになりました。その人を通して得られるものを、自分が受け身でなく取りに行く姿勢をとることがＪＣとしての機会と思います。紡ぐべきもの、人と人とを紡ぐことがＪＣらしい人間味だと思っています。

五十嵐：役職目線になりますが、所信に書かせていただいていますが、これからものすごい時代が来て、今までの簡単なことが通用しない時代が来ます。だからこそ、今回のフォーラムに携わった人すべて、会員だけでなく一般市民も意識変革してもらってまちづくりに前向きになってもらいたいです。携わった人全員が、自分のまちに帰ってから前向きに楽しくまちづくりに携わってもらうことで、北陸信越地区全体を変え、地区の地図が、人の想いが伝播して膨らんでいくイメージを持てるようなフォーラムになればと思っています。

その成果を成し遂げることがこの地区フォーラムの価値と思っています。

理事会オブザーブ報告

５月 17 日に理事会へオブザーブさせていただきました。４月に武生青年会議所に入会し初めての理事会オブザーブです。例会や委員会とはまた違った緊張感があり、とても有意義な時間となりました。

理事会では、報告事項や委員会ごとの議案書に関する話し合いがされており、鋭い意見や指摘が飛び交っていました。そのときに「素敵だな」と感じたのは、意見をいただいたことに対しての感謝をしっかりと伝えているというところです。意見を述べる側も「○○委員長、宜しくお願いします」の一言から始まり、双方が敬意を持って接してる点に感銘を受けました。

また、初のオブザーブでは「なぜその事業をするのか (したいのか)」が重要であることを学びました。議案書では、背景・目的・効果を明示していますが、そこに " 想い " があって初めてスタートラインに立つことができるのだろうと感じました。そして、背景が変われば目的も変わり、それによって成される効果も変わってきます。もちろん手法も変わってきます。

「なぜその事業をするのか」というのは事業背景にあたり、事業をする上での根幹を成すということを学びました。

議案書には討議、協議、審議があると聞いています。事業がどのようなプロセスを経て遂行されているのかを知るためにも、機会があれば積極的に理事会へオブザーブさせていただきたいと思います。そして自分が委員長になるときが来れば、ここで得た経験を存分に活かしたいと思います。

この度はオブザーブさせていただき誠にありがとうございました。(会員開発委員会　清水口　司)

ボウリング大会報告

会員開発委員会　谷﨑　将大 君

五十嵐理事長が放ったボールがまっすぐレーン中央を走る。しろばん特別企画ボウリング大会の始球式だ。ピンを次々となぎ倒し、見事なストライクで沸き起こる歓声と共にボウリング大会が幕を開けた。

思えば 4 月度例会から始動したこの企画でしたが本当にたくさんの紆余曲折があり、一つの事業をすることの難しさを痛感しました。しかし、ボウリング場に広がる笑顔・笑い声・歓声と落胆の声 (笑) を感じている中でその苦労も、意味があったと感じました。反省点はもちろんありましたが、我々新入会員が一丸となって精一杯作り上げたあの空間こそが我々の成果であると思います。ボウリング大会が終わって「谷﨑くん、ボウリング大会めっちゃ良かったよ！」という声をたくさんいただきましたが是非新入会員全員に伝えていただきたいと思います。

結びになりますが、今回の企画を通してたくさんの既存会員の皆さんと交流のきっかけを作ることが出来ました。貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

なに？なに？財政局長

財政局長　　蜂谷　雄次 君

角方：財政局長はどのような役職ですか？

蜂谷：簡単に言うと武生ＪＣの「金庫番」と思って頂いて大丈夫です。皆さんから頂いた年会費が元になって事業運営されているので、予算を割り振った上で、お金が事業達成の目的の為に適切に使われているかどうかを常に見ているのが財政局長の役割です。時には理事長より権限がある場面もあります。

角方：役職を受けるときにどんな風に気持ちを決められましたか。

蜂谷：正直、新婚だったので、したい気持ちと奥さんへの気持ちと迷いがありましたが、ＪＣは 40 歳までなので、できること、やりたいことはできる限りしようと思いました。それと財政って自分の仕事にもつながることだと思ったので、引き受けました。やるからには全うしたいと思います。

角方：半年間やってみていかがですか。

蜂谷：ようやくやりがいを感じてきました。初めは、遠慮していた自分がいて、去年自分が委員長の立場だったので、今の委員長の辛さを身にしみて分かっていて情けみたいなものがあったのだと思います。でも、財政局長の責任の重さを理解する中で、言いたくないこともダメなものはダメと言わないといけない思いが強くなり同時にやりがいを感じている現状です。

角方：これまでどのような役職をされてきましたか。

蜂谷：2016 年に入会後、事務局次長をさせていただき、去年まちづくり委員会の委員長をさせていただきました。

角方：最後に新入会員に財政局長を目指すならこれをすべきなどのアドバイスをいただけますか。

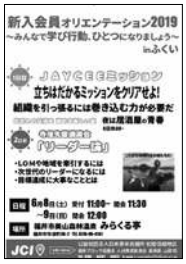
蜂谷：委員長を経験した方が分かる部分は多いと思います。予算を立てるルールなど怒られてルールが理解できました。あとは、毎回の例会に「何を持って帰るか」を念頭に持つことと思います。懇親会も「今日は、誰と話そう」と思って出席すべきと思います。同じ年会費を払って学べる場はフラットです。何かを持って帰る意識で昨日よりも 1 ミリ成長している自分になることを僕は意識しています。それが将来の大きな差になると思ってます。
あとは楽しくですね。

ブロック新入会員オリエンテーション

福井ブロック協議会　人材育成委員会　委員長

山田　聡 君

これまで、福井ブロック協議会ではその入会３年未満のメンバーを対象とした研修を十数年間、開催をしてきました。全国 47 都道府県のブロック協議会の中でも、継続して開催しているブロック協議会は一部のブロック協議会しかありません。先輩達から受け継がれてきた、伝統ある事業を構築していく上で、やはり参加した全てのメンバーが「参加して本当によかった」と言える事業にしたいと、この事業を担った時に思った率直な感想です。自分が入会した時はどのような考え方でＪＣ活動を行っていたのだろう。自分が参加したいと思える事業とはどのような事業だろう。と真剣に考え今回の事業を構築させていただきました。本年度の目的として、参加するメンバーが横のつながりと今後、地域や社業において周りの人たちを牽引していくために必要な巻き込む力を育んでいただくことを目的としております。他ＬＯＭの理事長と間近に接することができ学びや気づきを得られ、多くの仲間を増やすことができるのがこの新入会員オリエンテーションです。私自身も、この機会を通して学び成長するターニングポイントと考えております。令和元年、必ずや記憶に残る２日間を楽しみにしてください。



共感を生み出すまちづくり委員会

近江　智彦 君

２年前、４月に入会した私は、日が浅いままブロック新人オリエンテーションに参加しました。

頭の固い自分を変えたいと思い青年会議所の門を叩いた私は、この日何をするのか分からないまま会場へと向かいました。どんな講習が始まるのだろうと思っていた矢先、吉本新喜劇で観た事がある方々が入ってきて、コントを始めました。自分とは全く逆のタイプの方々です。話を聞いているうちに、そこで初見の方とコントをするという流れになり、驚きました。えっ！これが青年会議所なの！？とびっくりしましたが、それは私だけではなかったようで、周りの皆さんも驚いていました。しかしながら、そういった非日常の状況だったからこそ、すぐに打ち解けられ、普段あがり症の自分ではやらないであろう内容のコントを組み立て、ステージで披露していました。自分の殻を１つ破る事が出来たんだなと、今では感じられます。

良い思い出ともなる新オリ、普段とは違った状況に自分を置いて、変化を楽しみましょう！

ギャップ萌え〜　委員会運営を縁の下で支える副委員長にスポットを当てるコーナーです。意外な一面をのぞき見！

未来へつなぐ想い育成委員会
副委員長　岡野　義博 君

私の趣味はキャンプをしてその場所の旬の食べ物を自分で調理してお酒を飲むことです。そして周辺の観光地へ行くことです。旅館やホテルへ行くよりお金がかからず、２泊３泊とできてゆっくりと滞在することができるのでオススメです。最近ではこりすぎて荷物が大分増えてきたので最低限の物を使って今まで以上に楽しむことができるように日々、雑誌やネット等で勉強することも楽しみの一つになっております。場所の選定から荷物の選定まで事前準備でも楽しめるのでぜひ皆様もやってみてください。

共感を生み出すまちづくり委員会
副委員長　竹山　朝雄 君

お世話になります。共感を生み出すまちづくり委員会副委員長の竹山です。思います。自分は多趣味というか色々な方面の事が好きで、定期的な趣味というと体力維持も兼ねたサッカー、ゴルフ、最近はあまり行ってませんが、ボードやスケボーもしたりしていました。あと変わった事だとサバゲーなども好きですね（かなりいい運動になります）全然やっていませんが、ボーリングも昔やっていましたね。

運動以外ですと、いい歳してプラモやラジコンが好きなので。衝動的に買ってしまったりします。

だもんで、自分の趣味のものが家の簡易ガレージに詰め込んである為よく家族に片付けしてと怒られます。それでも多趣味のおかげで色々な方との話のタネになったり、出会いを生んでくれるので、まだまだ新しい趣味を増やしていきたいと思っております。記事を読んでどれかアンテナに引っかかった方一緒に遊びましょう

バースデー会員（思い出の１枚）

三原　卓也 君

私の誕生日の記事は、長女です。私の誕生日の１日前に生まれて来ました。

赤ちゃんの頃はワンワン泣きましたし、寝返りをうつようになると目が離せませんし、ハイハイをしだすとどこでなにを触るかハラハラしますし、歩けるようになるとたくさん転けて泣きますし、喋れるようになると変な言葉をすぐ覚えました。

今月で私は 34 歳、長女は３歳です。

大変ですが、本当に愛しい娘です。毎年一緒に誕生日会が出来たら本当に幸せだと思います。

家族を守るために、イロイロ頑張りまーす。

三田村　哲郎 君

思い出の写真ということで、2015 年、夜７時から朝４時まで議案書を作成し、その日の昼 12 時から委員会全員で BBQ をした時の写真です。力尽きて寝ています。

思い返せば、JC も遊びも力尽きるまで本気でやることを身をもって教えてくれたのはこの年の委員会だなとつくづく感じます。そういえば歴代会頭の青木先輩との出会いも 2015 年でした。2015 年の１年間は今の僕にとって絶大なターニングポイントだったんだなぁ。

佐々木　亮太 君

今年の思い出は 10 年ぶりの家族旅行で名古屋にいったことです。

子供の成長のはやさをひしひしと感じた旅でした。

５月例会アワー報告

未来へつなぐ想い育成委員会　委員長　**北川　優也 君**

５月の例会アワー青少年育成事業のアンケートのご意見をご紹介させていただきます。

○「社会貢献」という言葉自体初めて聞きました。難しく考えるのではなく、自分でやりたいと思ったら意外とできるものではないかと思いました。

○自ら関心を持ち社会人になっても当たり前のように意識して社会貢献（寄付）できるようなちゃんとした大人になりたいと思いました。

○「寄付」というワードが前面に出すぎていて抵抗感を感じました。でも社会貢献は大切なので子供たちに考えさせたいと思います。

○授業をどういった気持ちで受けているか、きれいごとではなく本音で、学生から聞く機会があるとよいと思いました。

○寄付をするのは簡単ですが、「なぜ」するのかを考えさせることが大切だと感じました。

これから出前講座も始まります。

皆さんご協力のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

会員開発委員会
萬谷　聡 君

しろばん作成やボーリング大会の企画を共同作業で行ってみると、みんなの出す意見に触発されたり、自分が、ミーティングに参加できない時に自分の想いをうまく伝えきれずもどかしくなったりと、共同作業の面白さや難しさを感じました。 共同作業をするには、自分がしなければならない事、人にやってもらわなければならない事を明確にすることが大切であると学びました。そして時間を作ることも大切であり難しいことと実感しました。

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.7.6
Vol.615

見開き

第 61 回地区フォーラム in 越前
第 6 回理事会オブザーブ報告
サマーコンファレンスから学べること
第 2 回多文化人プロジェクト報告
福井ブロック協議会第 25 回参議院選挙公開討論会を終えて
7 月度新入会員紹介

・JC 野球結果報告～次年度に向けて～
・福井ブロック協議会新入会員オリエンテーションでの学び
・バースデー会員～夏の過ごし方～
・6 月例会アワー報告

第 61 回地区フォーラム in 越前

地区フォーラムを直前に控えて、これまでの軌跡と当日への意気込み

総務会員開発室 室長

奥村　広志 君

「第 61 回地区フォーラム in 越前」広報部会の部会長を務める奥村広志です。

広報部会は総務委員会と事務局で構成される部会で主な活動は「PR」であります。「PR」とは「Public Relations の略」で「Public ＝一般の人々」と「Relations ＝関係性」をつくる仕事という意味です。つまり今回、広報部会の役割は一般の方と武生 JC をつなぐのが担いであります。その為に様々な広報戦略を行ってきました。各メディア (TV、イベント情報サイト、新聞や雑誌などの広報誌) などの掲載枠に予算がなかったので、無料なところを探して地区フォーラムの情報を発信していました。その他にも駐車場の確保やチラシ・ポスターを民間や公共の施設へ配布、武生 JC 専用フェイスブックでの情報発信 (それも毎日更新！) など様々な活動を行ってきました。

また広報部会は表舞台に立つことはなく、裏方の業務です。多分、皆さんは広報部会がどのような動きをしていたのかはご存知ないと思いますが、事業当日までの数か月間という長いスパンを、多くの方が「第 61 回地区フォーラム in 越前」にお越しいただけるように部会メンバーと一生懸命に活動してきました。

もちろん当日も担いはあります。受付や駐車場の対応、まるごと越前パークフェスと大懇親会のサポートなど広報部会の役割は地区フォーラムが終わるまでありますので、部会メンバーと共に全うしたと思います。

あと当日は武生 JC 全会員がこれだけ頑張ってきたので、晴れてほしいです！

地区フォーラム副実行委員長

田中　陽介 君

【七尾での原体験】

実は、私自身は大懇親会に唯一参加したのが 2017 年七尾大会でしたが、ブロック等の懇親会とは桁違いの人数、ボリューム、あえの風の豪華な会場に圧倒されながらも、地元漁港の魚介や、人、地元の祭りなど「七尾らしさ」が感じられました。また、謝辞の際には会場全員が肩を組みながら歌を歌うなど会員同士の一体感を感じることができました。

【“ 設営の武生 ” を形に】

上記の原体験を振り返りながら、他県から来てくれた参加者へかけがえのない何かを提供できる武生らしい大懇親会とは何かを昨年夏から考え続けてきました。大物有名タレントが来る、酒を一気飲みして盛り上げるのも大事ですが、「設営の武生」らしい会となるよう、会員手作りの料理、和紙を用いた手仕事が感じられる設営、アトラクション「武生システム」を通じた会員交流やご当地 PR、そして会員全員の感謝の心を伝える謝辞。ただ派手さを追求するのではなく、一つ一つに意味のある設えやおもてなしで「設営の武生」を部会全員で形にしました。

【一人ひとりが主役】

当日本番では、司会進行、アトラクション、ゲスト対応、他 LOM 出品対応、キャラバン対応など多数の重要タスクが同時進行で進みます。だからこそ、メンバー全員が自分の役割を理解し、状況を把握しながら主役として行動することが不可欠です。これまでの準備を活かし、一人ひとりが主役として輝くことで、全員で成功を分かち合いたいと思います。

共感を生み出すまちづくり委員会　委員長

水野　翼 君

私自身、地区フォーラムには昨年の上越大会が初めての参加でした。その時は大懇親会だけの参加で、今年武生の地で地区フォーラムが行われるという事で参加させて頂きました。初めての参加でしたが、会場の熱気に圧倒されたのを覚えています。

今年委員長をしてほしいと話が来たとき、地区フォーラムの記念事業が担当だと言われ、地区フォーラムに関わる事がしたいと思っていたので喜んで受けさせて頂きました。

しかし、初めての委員長、初めての議案書、何をどうしていいか分からず議案書を書いている時は、今すぐ JC を辞めようと何度も考えました…でもその度に委員会メンバーの事が頭に浮かびもう少し頑張ろうと思い頑張ってきました。委員会メンバー以外にもたくさんの人が相談に乗ってくれ力を貸してくれ、本当にみなさんのおかげでここまで来ることが出来ました。いろんな方に支えられ、後は設営、当日を迎えるだけです。

当日天気がどうなるかは分かりませんが、たくさんの人達に来てもらい楽しんでもらえたらこれほどの喜びはありません。本当にここまで辿り着けたのはみなさんのおかげです。副理事長、室長、委員会メンバーのみんな、本当にありがとうございました。当日は武生 JC メンバー一人ひとりが主役になり、最高の地区フォーラム、そして最高の思い出が作れるように頑張りましょう！

北陸信越地区協議会
地域経済ビジョン確立会議　議長

安久　泰弘 君

本大会の二つのテーマである、「誰もが挑戦できる未来への希望溢れる北陸信越の実現」と「紡ぐ～歴史・文化・ひとが織りなす越前美の発信～」の魅力をこのたけふの地で最大限に発信いたします。これまで本大会に向けて、主催者である北陸信越地区協議会、主管である武生青年会議所のメンバーがこの日のために尽力してきました。その成果を今日発信し、参加していただいた方に、たけふいいな、JC おもしろいな、JC の事業また参加したいな、俺のまちでも地区フォーラムやりたいな、と思っていただくこと、そしてこのまち・地域から必要とされる存在への一歩となれるような大会にしましょう！今日は、感謝の気持ちを持ってオープニングセレモニー、フォーラム、クロージングセレモニーを LOM のメンバーに恥じぬよう責任をもって行います。みんなで最高の一日となるよう頑張りましょう！

本日はどうぞよろしくお願い致します！

第６回 定例理事会オブザーブ報告

会員開発委員会　委員　谷﨑　将大 君

６月17日に定例理事会にオブザーブさせていただきました。冒頭の五十嵐理事長の挨拶の中に非常に心が引き締まる話がありました。四季折々、その時その瞬間の物であったり景色の見え方は心や自分の状況によって良いものにも悪いものにも見えてくるということです。どんな綺麗な物でも自分の心に余裕が無ければ目に入ることすらない。それは本当にもったいないことだと感じました。捉え方を変え、物の見方を変え、常に心に余裕を持つことが大切だと思いました。次に議案書を書く上でのコツにも触れられていました。エビデンス、ガバナンス、エレガントの三つをしっかり抑え、意識することでより良い議案になるということをお話をされていました。エビデンスは根拠、ガバナンスは組織、エレガントは読み手に伝わりやすくて美しく洗練されたということだそうです。僕は去年の新入会員オリエンテーションで議案書の作成に取り組ませていただいただけで本質的な大変さはあまり理解出来ていないと思いますが、本当に貴重なお話を聞かせていただいたと思っています。もっと自分に落とし込んでいくために寺田委員長をはじめいろいろな方にこのことについて掘り下げて聞いていこうと思いました。なにはともあれ実践ということで、この記事を書き終えたら寺田委員長に電話します(笑)

五十嵐理事長の挨拶が終わり、三原委員長の４月度例会アワー会員研修事業の決算審議がありました。この事業は僕の中で初めてVSOPに触れた事業でした。そして社業を通じた社会貢献活動のいうものの在り方や本質を考える貴重な機会でした。これからもしっかり考えていきたいと思います。ありがとうございました。

そしてSDGs推進事業、シニアと語る会の議案の後に寺田委員長の新入会員オリエンテーション事業の討議が始まりました。ついに来ました。この時期が。

去年のように悔いが残らないようしっかり準備して当日に臨みたいと思います。以上理事会報告でした。お読みいただきありがとうございました。

サマーコンファレンスから学べること

会員開発委員会 副委員長　佐々木　一峰 君

初めに毎年、行われております公益社団法人日本青年会議所によるサマーコンファレンスですが、何を行っている場であるかご存じでしょうか。サマーコンファレンスとは、公益社団法人日本青年会議所の運動を広く発信するために、各界を代表する著名な有識者をお招きし、政治・経済・社会など様々なジャンルのファンクションを開催する場であり、その年の会頭の提唱するＪＣの自己改革の大きな実践の場として位置づけられています。2019年度のテーマは、「地球と向き合う２日間、あなたのSDGsがみつかる」です。

次に、サマーコンファレンスの魅力や学べる内容としてセミナーの講師の方、パネリストの方が本当にビックネームで普段聞くことのできないような方々が多いことです。例えば近年ですと2016年は、一般財団法人日本総合研究所会長寺島実郎氏、2017年は、カルビー株式会社代表取締役会長兼CEO松本晃氏などです。このような多くの著名な方々にテーマに沿って講演やパネルディスカッションを行っていただいた中身は、濃く実りある時間になります。本年度の魅力は、われ等が寺尾忍先輩が「日本から持続可能な世界へ～SDGs × World ～」にパネリストとしてご出席されます。武生青年会議所の本体スケジュールにもこのセミナーは組み込まれています。

三つ目に、武生青年会議所のサマーコンファレンスの魅力や学べる内容として公益社団法人所沢青年会議所との「所沢交流」があります。本年度で弊団体との兄弟JCの締結が、３４年目になります。１月は京都会議時に武生青年会議所主催、７月はサマーコンファレンス時に所沢青年会議所主催になり、１年に２回も交流を図ることができます。交流というだけあり異なる地域、組織、文化についてお酒を交えて深く話し合い、学べる最高の場になります。

最後に、サマーコンファレンスで学べることについてですが、まず会員みんな一緒に行きましょう！！

第２回越前多文化人プロジェクト定例会議報告

外国人と共に夢を描く委員会 委員長　斎藤　陽介 君

６月26日(水)、越前市文化センター301号室にて越前多文化人プロジェクトの第２回定例会議を行いました。今回の会議ではプロジェクトの具体的な活動についてメンバーの考えを引き出し、まとめていきたいと思いました。しかしプロジェクトメンバーの参加が少なく、また会議のゴール設定がしっかり出来ていなかったこともあり、思うように議論が進みませんでした。それから青年会議所メンバーの関わり方も見直した方が良いとご意見頂きまして、これからは本来のオブザーブの形で発言はしない方向で臨み、会議後に内容を報告しそれに対して意見を頂いていくという形を検討しています。

とにかくまずメンバーの定例会議への参加人数をしっかりと確保していかなくては議論にならないということで、次の定例会議までに新メンバーの拡大や、現メンバーとの個別打ち合わせもしていき参加人数が増えていく状況を作っていきます。

福井ブロック協議会
第25回参議院選挙公開討論会を終えて

福井ブロック協議会人材育成委員会　委員　黒田　克矢 君

人材育成委員会で３つ目の事業となる公開討論会を行いました。今回の公開討論会は7/21に投票日を迎える第25回参議院議員選挙に向けて、立候補予定者の想い、考えを聞くと言うもので、私はコーディネーター補助を初体験させて頂きました。

途中、立候補予定者の一人がもう一人の発言を遮って発言を行うなどトラブルもありましたが、おおむね、無事終了できたのではないかと思います。皆さんもこのような機会に政治に興味を持っていただけると、選挙の際に候補者がどのような意図を持っているのか、正しい知識を持っているのか、理解しやすくなり、投票の際に判断基準を設ける事ができるのではないかと思います。青年経済人として政治に向き合い、学びを得れる貴重な機会でした。またお道足の悪い中、ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。

７月度新入会員紹介

会員開発委員会 新入会員　斎藤　史明 君

地元で活躍されている同世代の方々と交流を深め、地域活性化を通して多くの学びと刺激を受ける事で人間としても成長したいという気持ちから入会を決めました。

同世代で作り上げていく地域活性の取組やイベント活動をとても楽しみにしていますし、自分自身も積極的に携わりながら出会いを大切にし、感謝の気持ちをもって越前市の地域活性化に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願いいたします。

ＪＣ野球結果報告～次年度に向けて

外国人と共に夢を描く委員会 委員　水野　裕二 君

本年度、武生 JC 野球部の監督を務めさせていただきました水野裕二です。どうぞ宜しくお願い致します。今年の県予選は武生 JC 対敦賀 JC、福井 JC 対大野 JC という四チームによるエントリーで始まりました。そして双方の勝者にて決勝戦を行い、優勝者が地区予選へと進めることになります。その為、今年は武生 JC 主管で地区フォーラムが開催されるという事もありますので是が非でも地区予選への進出を目標とし、また全国大会へも駒を進めたいという気持ちで気合を入れ幾度となく練習を重ね､第一戦へと臨みました。その一回戦は６月３日に河野グラウンドで行われ、先発ピッチャー安久君のもと試合は始まりました。数多くの応援メンバーも駆けつけ、とてもリラックスしながらも良い緊張感のなか得点を重ね、見事勝利を収めることができました。そして決勝戦の相手は、毎年ライバル視し熱い決戦を繰り広げている福井 JC と過去５年間では出場してきていない大野 JC の勝者でした。全国大会を制した経験がある福井 JC の勝利を誰もが予測していましたが、勝ち上がってきたのは大野 JC でした。なんの情報もないまま、ただ 140 キロの速球を投げる怪物投手がいるという噂に戸惑いながらも決勝戦は６月24日に丹南グラウンドにて行われました。当日その豪腕ピッチャーはいなかったものの､若いメンバーで構成されたチームに圧倒され､また武生 JC の豪腕ピッチャー安久君の熱投も虚しく打線の援護もないまま敢え無く敗退に終わってしまいました。私自身最終年度ということもあり、まだまだこのメンバーで野球をしたかったですが入会して４年と２ヶ月、そしてこの JC 野球部は５年目ということで多くの同士と共に闘った５年間は一生忘れません。一度も地区予選へ進むことは出来ませんでしたが、悔いはなくとても楽しかったです。また応援をしてくださった多くのメンバーへも武生 JC 卒業者の代表として感謝いたします。本当にありがとうございました。そして次年度以降、地区予選進出を果たせるよう頑張ってください。元気ハツラツ！武生 JC ！

福井ブロック協議会新入会員オリエンテーションでの学び

新入会員オリエンテーション1日目

会員開発委員会 委員　中村　真利江 君

はじめは緊張の開会宣言から始まりました。
その後 JAYCEE ミッションを達成する為にグループを組みましたが、違うブロックの新入会員の方との交流をしながらミッションをみんなで考え、達成していく事はとても楽しく、塾長のまとめで進めていくミッションは最後には同じ目標に向かって行く仲間としての一体感が生まれました。

夜の居酒屋の青春では、もっと沢山の方と交流する事が出来て JC で色んな経験されてきた事などを聞かせて頂き良い時間を過ごさせて頂きました。

それも当日までの準備、当日もたくさんの方が影で進行をして頂いたからこそ出来ている会だと思いました。

これから JC に関わらせて頂くなかで、自分がこれから企画していく際にどの様にしていくか、などもこれから参加しながら違う目線で見ていきたいと思います、ありがとうございました。

新入会員オリエンテーション２日目

会員開発委員会 委員　土井　梨津子 君

６月に開催された新入会員オリエンテーション。２日目は武生 JC の伝説と言われている寺尾忍先輩の講演。登場した時のオーラは、先輩の中からにじみ出る自信と確信からなるものでした。リーダーとは何か。なんのために仕事をしているのか､JC に入ったのか。入会して３ヵ月が経とうとしていますが、今一度立ち返り、なんのために存在し、なにを目指すのかを考える、とてもよい時間となりました。考えるだけではなくまずは行動。その日のうちに経営理念を先輩に送り、ひとつ行動に変換しました。今までならあー楽しかった、で終わっていたでしょう。「伝わる」とはその人の行動までも変えてこそ伝わると言います。私の行動を変えた先輩はやはり素晴らしい尊敬できる方でした。すべては私次第。これからしっかり行動に移し信頼できるリーダー、仲間となるよう努力します。ありがとうございました。

バースデー会員（夏の過ごし方）

竹山　朝雄 君

皆様、お世話になります。先月に引き続き竹山です。今回は、夏の過ごし方というテーマですが、毎年何か決まった事をしているわけではないので、去年のお話をさせて頂きます。以前書かせて頂きましたが、多趣味な為、昨年夏は舟釣りにお誘いいただき人生初の舟での釣りをする機会がありました。玄達瀬という期間限定の漁場で素人の自分にはもったいない体験ができました。釣果は大漁、真鯛２０本をはじめ、ヒラマサ、目鯛等釣った魚の引き取り先を探すのに苦労するほどでした。毎年決まった過ごし方はしていませんが、今年も新しいチャレンジを出来たら良いなと考えております。

美濃　友樹 君

ＪＣ活動をやっていると夏といえばサマコンではないでしょうか。中華街で昼食を堪能し、昼からセミナー等で勉強し、夜は所沢ＪＣさんと親交を深め横浜を満喫すると夏が来たということが感じられます。所沢交流では屋形船に乗り海から横浜を眺めたこともありますし、高層ビルから花火を見ることもありました。また、福井豪雨となり急遽福井に帰った年もあります。毎年積み重ねることが自分の心に残り季節を感じられる風物詩となるのではないでしょうか。私は最後のサマコン楽しみたいと思います。

森岡　和麻 君

私は、夏男である。夏になると、身体の細胞が活発化し、行動範囲が広まる。定番の海、BBQ、お祭り、花火大会とあらゆるものにくり出すのである。今年は何をしようか。１度夏に行った屋久島が忘れられない。人より猿、鹿の方が多いという雄大で澄み切った自然。その島にいるとタイムスリップしたかのように、地球の歴史を感じることができ、自然と身体が浄化される。そうだ、屋久島へ行こう。

６月度例会アワー報告

明日のまちを担う人づくり室 室長　寺尾　健一郎 君

６月度例会アワー多文化共生事業においては、多くの会員の方に参加、ご協力いただきありがとうございました。幸い、想定を超える多くの方にご参加いただき、越前多文化人プロジェクトの周知と文化的多様性の可能性を感じていただくことができました。このことは、多文化共生に関する注目の高さもありますが、多くの現役会員や特別会員の方にご協力いただいた賜物です。

本年の多文化共生事業の特徴は、例会アワーが最後ではなく、始まりであるということです。越前多文化人プロジェクトを立ち上げ、今後も継続する組織として今まさに取り組みを始めています。多くの会員の協力と外国人住民の方を始め様々な立場の方々を巻き込みながら事業を展開している、そうした自覚と使命感を、また同時に可能性と面白さを感じながら委員長には事業を遂行してもらいたいと思います。私自身も室長として委員長と共に「一所懸命を突き抜けて」いきたいと思います。皆様もぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

会員開発委員会

委員　清水口　司 君

今回初めてしろばん作成の企画側となって動きました。タイトなスケジュールの中、記事の依頼をしてくれたメンバーとそれに応えてくれた会員に感謝しております。

そんな中、改めて「時間を作ることの大切さ」を感じました。よく言われることではありますが､時間は誰しも一日 24 時間で平等です。JC 活動を通して、効率の良い時間の使い方・時間の作り方を学んでいきたいと思います。

最後に、貴重なお時間をしろばん７月号を読む時間に割いて頂きありがとうございました！

地区フォーラム報告

地区フォーラム実行委員会 実行委員長　山﨑　侑 君

「第 61 回地区フォーラム 2019 in 越前」から早くも 1 カ月が経とうとしており、当日もこの 8 月の残暑のように日差しが照りつけていたことを思い出します。会員の皆様におかれましては、2018 年度予定者の段階から地区フォーラム開催当日まで大変なご尽力をいただきましたこと、心より感謝を申し上げます。地区フォーラムがどのような大会かも分からないまま昨年の予定者の時期を迎えて、前回開催地の上越青年会議所や北陸信越地区協議会と打合せを重ね徐々に地区フォーラムという大枠を作ってまいりました。そして武生青年会議所の総力が十分にあってこそ迎えることができた地区フォーラムだと実感しております。このような大きな大会は会員個人に貴重な経験を、また LOM にまとまりと勢いを生み出すものだと思っております。ただそれとは裏腹に LOM がバラバラになりかねないという不安もありました。そうならなかったのは、この地区フォーラムに対して会員一人ひとりが担いと責任感を持って臨んでくれたお陰であり、本当に本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

武生青年会議所が事業を実施した大懇親会と記念事業「越前まるごとパークフェス」、企画段階で一筋縄ではいかないことや次から次へと出てきて対応が追い付かない打合せ項目、そして当日も実動面や気遣いという点で私の配慮が至らなかった点があったかもしれません。それでもお越しいただいた一般の方やご協力いただきました出店者、行政、各外部団体からは「来年もしないのでしょうか」や各地青年会議所の会員からは「また越前に来ます」等のお言葉をいただき、この地区フォーラムがまちやひと、そして武生青年会議所に与えた影響力の大きさを感じています。みんなでやって良かった。この気持ちを次年度以降、地区フォーラムの開催地、そして武生青年会議所に繋げていきます。

武生 JC の底力…この地区フォーラムを経て私が率直に感じたことです。みんなの底力？みんなのベクトル？…このような表現が当日から今でも私の頭の中に焼き付いて離れません。この結集した力を持ってしてできないことはない！僕達ならなんでもできる！これからも数多くのまちの課題解決に向けた事業に取り組む中で、この地区フォーラムが起爆剤となり今後の希望溢れる事業の遂行と、改めて皆様への感謝の気持ちを込めまして地区フォーラム実行委員長の挨拶とさせていただきます。この度は誠にありがとうございました。

バースデー会員（思い出の夏の曲）

嵐　智幸 君

僕の思い出の曲は、BUMP OF CHICKEN の天体観測です。中学校の夏休みはずっとこの曲を聴いてオンラインゲームをやっていた記憶があります。夏休みの宿題は一つもやらずに。僕の中学校＝ BUMP OF CHICKEN 一色だったので中二病全開の最高の思い出ですね。

田中　陽介 君

思い出の夏メロは、「いとしのエリー」サザンオールスターズです。

10 年前の 24 歳の夏、プロポーズしたときに歌った思い出の曲です。当時自分は東京にいたのですが、嫁が働いていた湘南・江の島はサザンの地元で、この歌を歌うとプロポーズが成功するという都市伝説があったので乗っかりました。歌自体は微妙だったらしいですがなんとか結婚できました。サザンのおかげです。

田中　陽祐 君

8 月で 32 歳になりました。これからも一歩ずつたくさんの経験をして自身の糧にしていきたいと思っています。今回のしろばん記事は夏の思い出の曲がテーマということで、私の夏の思い出の曲はケツメイシの「夏の思い出」です。

高校生の夏休みのときに毎日のように夜、友達とカラオケにいき歌っていたのを思い出します。今年は結婚もでき、奥さんや家族とこの曲でも車で流しながら、海で BBQ や遊泳に行きたいと思います。そこで奥さんや奥さんの家族と親睦を深めながら楽しい夏の思い出を作りたいと思っています。

橋本　英明 君

夏の思い出の曲「風よ、鈴鹿へ」

毎年 7 月最終週に行われる鈴鹿 8 時間耐久バイクロードレースのテーマソングです。8 時間夏の炎天下路面温度が 70 度を超える中をじっと耐えて観戦し、表彰式でこの曲がかかると夏を最も感じられます。この曲は TV ドラマ「風よ、鈴鹿へ」ともリンクしていますので是非一度この TV ドラマを視聴していただきこのレースに興味を持っていただければ幸いです。

ギャップ萌え〜

会員拡大委員会　副委員長　田邊　真樹 君

会員拡大委員会副委員長、田邊真樹です。

僕はバーテンダーとしてカウンター業、接客業と言う、わりかし人と接する事が多い職業をしていますが、実はかなりの人見知りで、新規のお客様が来られた時は、かなり焦ってます。バーテンダーを始めたての頃は親方に、喋るのが商売やとよく殴られましたね。そんな僕が今でもこの職業を続けてこれたのは、最初の不純な動機、女にモテたいやと思います。モテてたいがために、親方の殴る蹴るや、罵声にもたえて、可愛い嫁さんも、見つけられて、経営するまでになったんだから、不純な動機、モテてたいは素晴らしい動機だなと思っています。結婚 15 年目ですが今でもモテる努力もしています。

この前もモテる本をブックオフで 150 円で購入しました。

そんな僕の店カムラードは 9 割男性客なので、高村さん、土井さん、中村さん、まってます（笑）

編集後記

毎回しろばんを作成するにあたり、どういった記事内容にすれば皆さんの心に止まり 2 度 3 度と読みたくなるようなしろばんになるのか考えさせられます。また記事内容だけではなく、記事の配置や写真の入れ方でガラリとしろばんのイメージは変わる事を感じました。今後もしろばんを作成していくにあたり読み手側の気持ちになって読みやすく、面白いと思ってもらえるような記事作りを心掛けていきます。最後まで読んで頂きありがとうございました。

（会員開発委員会
委員　角方　直樹 君）

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.8.1
Vol.616

９月度例会アワー シニアと語る会 PR
サマーコンファレンス 2019 報告
地区フォーラムからの学び

・地区フォーラム報告
・バースデー会員（思い出の夏の曲）
・ギャップ萌え～

９月例会アワー　シニアと語る会 PR

明日のまちを担う人づくり室

室長　**寺尾健一郎 君**

本年の９月度例会アワーシニアと語る会は「人の絆が紡ぐ武生青年会議所」をテーマに９月５日（木）セントミッシェルガーデンウェディングにて開催いたします。

シニアと語る会は特別会員と現役会員が一同に会し、飲食を共にしながら懇親を深め、また新たな繋がりを築くことができる貴重な機会です。本年のシニアと語る会では、改めてその原点に立ち返り、例年のスーツではなく武生 JC ポロシャツにてお出迎えし、交流用の名刺をご用意させていただくなど、現役会員の皆様が少しでも多くの特別会員の方と交流しやすい雰囲気・環境作りに努めさせていただきます。

創立 57 年目を迎えた我々（公社）武生青年会議所は、昨年、一昨年と 28 名の先輩諸兄姉がご卒業され、２年後にはさらに約 30 名もの会員が卒業されます。そうした中、長きに渡り紡いできた人の絆が失われていくことが懸念されています。人的資本の蓄積による組織としての知識や経験、人脈や信頼が我々の力の源泉であり、それは皆様の会社においても同様であると思います。シニアと語る会という場を武生青年会議所と皆様個人個人の大きな機会として捉え、主体的に繋がりを築き、また深めていく場としていただきたいと考えています。ぜひご参加のほどよろしくお願いいたします！

2019 年度武生 JC　シニア・クラブ

会長　**宮川　貴一 先輩**

現役会員に向けてシニアと語る会に参加する上での心得を伺ってきました。

毎年 LOM 内にて行われます事業において多くのシニアの先輩方と接することができる機会は、新年賀詞交歓会とシニアと語る会の２回になります。この場を良い機会とし積極的にシニアと接してほしいと考えておられます。

１つ目に、同席の先輩の情報をしっかりと頭に入れてほしいです。職業はもちろんのこと、現役時の役職や所属委員会等も分かっておくことによりいろいろと話しが深まると思います。

２つ目に、構えず物怖じせず、自分を出して積極的に話しに行ってほしいです。ジェネレーションギャップなどを感じることも先輩としてはうれしいとのことです。

３つ目に、シニアと語る会でせっかく知り合えたのであれば、当日だけで終わらずに、その後も会う機会に参加してほしいです。例えば、委員会後の懇親会にオブザーブ参加をお願いするとか月末会やじゃがいもクラブに参加する等によって懇親を深めることができると思います。

以上のことは、青年会議所活動においてもビジネス上においても必要なことです。この心得を理解した上でシニアと語る会に出席することで当日が本当に実りある時間となるでしょう。

（会員開発委員会　副委員長　佐々木一峰 君）

地区フォーラムからの学び

(公社) 日本青年会議所北陸信越地区
石川ブロック協議会　会長

大西　隆章 君

公益社団法人武生青年会議所の皆さま、「第 61 回地区フォーラム 2019 in 越前」の主管、大変お疲れ様でした。本大会の誘致から準備、そして当日に至るまで長い時間をかけてシニアメンバーや行政、一般市民の多くの方の力を借りて開催されたことと思います。

また、主管 LOM として多大なるご尽力をされ開催されました事に心からの感謝と敬意を表します。

今回の地区フォーラムでは、開催地である越前の伝統や文化、食や人の魅力を大いに感じる事が出来ました。それは、武生 JC の皆さまと、様々な関係各所との日頃の連携や関係性がなされているからと感じましたし、今後も更なる関係構築をメンバー一丸となり進めて頂ければ幸いです。

この地区フォーラムという機会で得た経験は良い事ばかりではなく、それぞれが感じた反省点もあるかと思います。今回のこの経験を活かして今後の事業に取り組み、更なる地域の発展と自己の成長を目指して頂けたらと思います。

結びになりますが、武生青年会議所の更なるご発展とメンバーの皆さま方のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

(公社) 日本青年会議所北陸信越地区
福井ブロック協議会　会長

笹岡　太久磨 君

武生ＪＣ会員の皆様、長きに渡る地区フォーラムへのご尽力、大変お疲れさまでした。私達、福井ブロック協議会の代表として主管を率先してお引き受けいただき、当日まで一切手を抜くことなく立派に役目を果たす皆様のお姿を拝見し、深い感謝と尊敬の念を覚えました。今回の地区フォーラムではうまくいったことが多々あったかと思います。是非それらを皆様が大きなことを成し遂げたとして大いに「自信」にしていただきたいと思います。皆様はそれだけのことを実践されました。そして、中にはうまくいかなかったこともあったかもしれません。それらも貴重な「経験」としてＬＯＭや会員の皆様の今後の糧としていただきたいです。皆様が地区フォーラムで得たすべてのものを貪欲に取り込み、武生ＪＣさん並びに会員の皆様が更に大きく発展されることを心より祈念しております。これからの武生ＪＣさんに大いに期待しています！

(公社) 日本青年会議所北陸信越地区
長野ブロック協議会　会長

野村　和正 君

公益社団法人武生青年会議所の皆様、北陸信越地区フォーラム in 越前を主管頂き、その設営・準備と大変お疲れ様でした。開催にあたり多くの気づきと新たな学びを頂けたことに、心より御礼申し上げます。

ＪＣは多くの機会を提供する団体です。今回、私自身、武生青年会議所による地区フォーラムという機会を頂けたこと、五十嵐理事長はじめとする多くのメンバーの皆様とお話しをする機会を頂けたこと、本当に感謝しております。

地区フォーラム全体を通して、地域の魅力をしっかり堪能させていただいた、と感じています。また、たから市では地域の関係団体が多く出店されており、周囲との関係構築ができていると感じました。この機会を通じて新たに結んだ縁、強めた絆等多くあると思います。今後の武生青年会議所を発信し、事業を展開していく為には、多くの市民、関係諸団体との連携が必要です。今回の縁を大切にして頂き更に大きなことにもチャレンジして頂きたいと思っています。そして、この機会で感じたこと、気づいたことをこれからの事業に活かし、地域を盛り上げてください。そして次のメンバーたちに皆さんの想いと経験を引き継いでいただきたいと思います。

字数制限越えているのに最後・・・あの武生システムはヤバいですね (笑)。うちの運営専務は翌日、足が痛いと一日中ぼやいていました・・・

サマーコンファレンス 2019 報告

会員開発委員会 委員　嶋﨑　正敏 君

自分自身 JC 在籍 7 年、初めてサマコンに参加できました。メンバーによっては、なかなか行きたくても行けないのがサマコンではないでしょうか。自分自身はそう感じていました。そして、今回は会員開発委員会の古参という立場でも参加させていただきましたが、新入会員に感じてほしかったのは、LOM にこだわらず、上を見てもらい、世界規模で考え、世界とつながることのできる JC に身を置いていることを誇りに思ってほしいということでした。それを感じられるのがサマコンだと思います。

我々は、地区フォーラムを終え、その成果は、今後の事業内容に問われていくと思います。寺尾先輩のセミナーにありましたが、「まずはニーズの的確な把握が大事」だということです。自己満足に終わらず、本当に必要とされていることは何か？ SDGs の掲げる「誰一人とりこぼさない社会」をきづくために、地域問題の深層部を探ることも大切と思います。サマコンで見たことを他人ごとにせず真剣に課題に向き合う姿勢が大切だと感じました。

最後に、今回、県外事業に参加し、事務局の仕事の大変さを感じました。それぞれのメンバーの都合に合わせて、チケットを手配し、連絡調整や席取りなど、参加したメンバーがいかに充実した時間を送れるかを考え動いておられました。感謝です。やってもらって当たり前ではなく、事務局が動きやすいように配慮できることも JAYCEE なのではないでしょうか。

所沢交流

会員開発委員会 委員　清水口　司 君

武生青年会議所に入会し、早いもので 4 カ月が過ぎようとしています。そんな中、7/20.21 に横浜にて開催された「サマーコンファレンス 2019」に参加してきました。

今年のサマコンのテーマは「World SDGs Summit」。武生青年会議所に入会してからよく耳にする「SDGs」について、たくさんの話を聞くことができました。

そんなサマコンですが、実はもう一つ大きなイベントがありました。所沢青年会議所との交流会です。

行く前から先輩方に所沢青年会議所の話は何度も聞いていました。埼玉と福井、遠い地でありながらも兄弟 JC として切磋琢磨できる関係というのはすごいなと感じていました。

僕自身、交流会を非常に楽しみにしていましたし、実際に会に参加することで先輩方が言っていたことの意味が分かりました。

交流会を通して感じたことは、お互いが強く意識して JC 活動をしているということです。まさに「切磋琢磨」という言葉がピッタリなのですが、非常に強い仲間意識を持っているのを肌で感じました。

今後、多くの事業に携わっていくことになると思います。所沢青年会議所の方々も頑張っていることを忘れず、良い意味で意識していきたいと思います。

（各ブロック会長よりコメントをいただきました）

（公社）日本青年会議所北陸信越地区
新潟ブロック協議会　会長

天木　正史 君

まずは地区フォーラムを主管された武生青年会議所五十嵐理事長をはじめとしますメンバーの皆様、大変お疲れ様でした。「誰もが挑戦できる未来への希望溢れる北陸信越の実現」のテーマのもと、非常に盛り上がり、各ブロックからも大勢のメンバーの登録、参加と当日 は素晴らしいフォーラムでした。

特に、越前海岸から池田町まで広域にまたがる越前・丹南地域の魅力を、「食・職・文化・ひと」の 4 つの切り口で、「食べる、触れる、感じる」ことのできる一日で創り出した「たからいち」は、天候的にもとてもよかったです。さらに防災プロジェクト講演は良かったですが、欲を言えば次長課長の河本氏にはもう少しお笑いを交えて踏み込んだフォーラムにしてもらいたかったですね。

また、フォーラム自体が1つなくなったのは、非常に残念でした。

最後に地区協議会として考えるならば、ステージパフォーマンスとして、福井ブロック、武生地域だけではなく、例えば新潟の佐渡おけさや長野県、富山県や石川県などそれぞれのブロックを特徴とするお祭りや踊りなどをも取り入れて、地区全体としてのステージであったら、より良かったかと感じました。

（公社）日本青年会議所北陸信越地区
富山ブロック協議会　会長

大西　正起 君

北陸信越地区協議会メイン事業である地区フォーラム、開催の意義や目的、また効果など様々な結果を求められた中での開催でありました。多くのメンバーは地区フォーラムの目的を理解しているのであろうか、また一般市民においては、青年会議所が何の目的で事業を開催しているかを知らない方々が大半ではないだろうか。期待と不安が交錯する中開催された今、振り返ると事業構築も含め未来に向けて大きな変革が必要であることは言うまでもありません。

事業当日はフォーラムが一つ減り、少し寂しい内容とはなりましたが、逆に言えばスマートな大会になったのかとは思います。登録者数も 1,000 名を超え、多くの来場者を迎え式典、フォーラム、そして飲食ブースと賑わっていたのかと思います。また遊具においても地区フォーラムのために稼働したとお聞きしたので、武生青年会議所の皆様がまちを動かしたといっても過言ではありません。大会を通して多少の課題が残ったかもしれませんが課題なき団体に成長はありません。次なるステージのため今回の経験を大いに活かしていただきたいと思います。

結びになりますが武生青年会議所は五十嵐理事長を始め多くの方々に大変お世話になりました。心より感謝申し上げると共に皆様方の今後益々のご活躍と皆様方の地域の更なる発展を祈念申し上げます。本当にありがとうございました。

P.S 2020 年は富山県は「となみ」の地でお待ちしてます！！

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.9.5
Vol.617

見開き

10 月度例会アワー新入会員オリエンテーション PR
ブロック大会 in 大野
第 68 回全国大会 富山大会
なに？なに？副理事長

やりましょう !!

・８月度例会アワー報告
・バースデー会員（秋といえば○○）
・ギャップ萌え～

10 月度例会アワー新入会員オリエンテーション PR

会員開発委員会 委員長　寺田　秀之 君

まずは、様々なアイデアや意見、質問をくれた方々やメンバーにお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。それでは順をおって事業概要の PR をさせていただきます。

9 月 1 日開催の JCI　achieve、JCI　impact の両セミナーには多くの皆様に参加いただきました。皆様の価値観に新しい軸が生まれていれば、これほど嬉しいことはありません。このセミナーを経て、新入会員は議案書作成の真っ最中です。今回学んだことを主軸とすることで方向性の一致を図り、委員長チームとして最大限に力を発揮してほしいものです。既存メンバーの皆様へは今後どの様な化学反応が生まれるか、乞うご期待といったところでしょうか。

そして、後数日後には討議上程が、そして協議上程が待っています。こちらでは正副と各室、計 4 つの指名理事チームを編成していただきます。議案書は事前配信させていただきますので、事業内のシンキングタイムでは各チームでの意見のすり合わせなど、より良い模擬事業になる様に有効に時間を使っていただければと存じます。また時間の都合上、伝えきることができなかった意見や質問なども、模擬理事長ナイトと称しまして同会場にて 30 分間意見等を交換できる場を設けておりますので、是非ご活用ください。飲食のない理事長ナイトと思っていただければよいと思います。

これらを経て、10 月 5、6 日の両日にこの事業はフィナーレを迎えます。審議上程での新入会員の雄姿をその目に焼き付けてください。そう、授業参観のような気持ちで。

居酒屋の青春では心づくしで皆様をお迎えします。「お・も・て・な・し」の心で。

最後に、「楽しくなければ JC じゃない　愛を握りしめ、誰かの為に動いてこそ武生 JC マンだ！！」これは私が入会した当時開発委員長だった山本將博先輩の言葉です。皆様、今こそ会員開発委員会に力を貸してください！皆様一人ひとりの参画が力となり、糧となるのです。

どうぞよろしくお願いいたします！

ブロック大会 in 大野

式典

共感を生み出すまちづくり委員会
委員　南　一平 君

今回、2019 年度福井ブロック大会で司会をさせていただきました。

たくさんのご来賓やメンバーが出席している中で、刺激多い周りの期待感と暖かい眼差しによる安堵感が入り交ざり、かなり緊張しましたが自分なりにうまくいったと思っております。

しかしながら、何度も何度もリハーサルを重ねたのにも関わらずオープニングムービーの不具合が生じるハプニング・・・

自分たちで完璧だと思っていても、少しのミスで全てが台無しになる怖さを痛感し、そして、自分たちの目だけでなく、たくさんの目がなければ成功しないものだと思いました。

福井県は杉本政権に替わり、式典では現場主義を掲げ SDGs に積極的に取り組んでいると、ご来賓で出席された福井県副知事の中村様が仰っておられ、福井県が国の政策、世界の政策に積極的に取り組んでいることを心から実感し

人に命令するだけで自分は動かず、周りが動いても感謝の気持ちを表さず圧力だけで人を動かそうとするような人間にはなりたくないと思った式典、ブロック大会でした。

フォーラム

福井ブロック協議会持続可能化委員会 委員長　嶋田　有希 君

公益社団法人武青年会議所の皆さま、「笑って楽しく学ぶ SDGs」にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

この事業は、幅広い年齢層の方々に SDGs の理解を深めていただきたいと思い、開催させていただきました。

今回、日本一わかりやすい SDGs を目指して活動しておられる、笑下村塾さんをお招きし、SDGs を笑いを交えて、講演をしていただきました。

SDGs とは何かを難しい言葉を使わずパワポ芸で説明後、SDGs の目標には、どんなものがあるのか大喜利風に考え、その後のババ抜きゲームでは、世界の課題を知り、私たちができることを考えました。ババ抜きゲームでは、所々で笑いがおき参加者のみなさまが、楽しそうに学んでいたことが印象的でした。

今回の事業を通して、福井県に SDGs の輪が広がり、私たちや未来の世代にとって今の生活よりも、よりよい未来を持続していくきっかけになれば幸いです。

意見交換会

会員開発委員会 委員長　寺田　秀之 君

終わり良ければ全て良し。古くからある諺です。意味は皆さんが思っていることで相違ないと思います。

私は常に「始まったら終わる。本気で取り組んでいても、そうでなくても」と会員開発のメンバーに伝えています。そういった意味では今回の意見交換会は残念でなりません。数名の新入会員が参加してくれましたが、終始、謝ることしかできませんでした。挨拶の際にドアクローズしていないにも関わらず、運営側が平然としているのには驚かされました。テーブルを並べ、飲食物を用意することは設えとよびませんよ。会場の立派さも問題になりません。その場に来てくれるであろう誰かの顔を想像し、いかに喜んでもらえるか、持ち帰ってもらえるかといったことを一つづつ積み上げていったものを設えと呼ぶのです。

「嗚呼、ここまで落ちたか」これが率直な感想です。この事業に参加した皆様は反面教師として長く語り継いでいっていただきたい。そう思いました。

キッズタウン

(公社)日本青年会議所 北陸信越地区
福井ブロック協議会　副会長　地内　武海 君

8 月 25 日（日）に大野市でお仕事体験　キッズタウンと題しまして（公社）日本青年会議所　北陸信越地区　福井ブロック協議会が事業を開催させていただきました。本事業の目的としまして福井県内の小学 1 年生～ 6 年生を対象に「県内の企業の魅力、やり遂げる事を体感していただく事」を目的とし設定させていただきました。この目的にした理由は「職業的能力」を育むためです。この「職業的能力」とは物を作っていく中、また物を作る事をやり遂げた時に新たに生まれる「創りだすという力」です。最近はインターネットや AI 等の普及により答えを手に入れたり、物を簡易に作り出すことができてしまいます。これからどんどん発達していくと「職業的能力」が失われていく可能性がございます。この必要な力を絶やさないために事業を立案、実施させていただきました。武生 JC の先輩を初め五十嵐理事長、現役メンバーの皆様のお力をいただきまして無事終える事ができました。また沢山のご登録、ご参加いただいたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

第 68 回全国大会 富山大会

監事　土橋　二彰 君

第 68 回全国大会　富山大会のテーマ『新陳代謝』です。

人体の新陳代謝のように、常に環境や状態に適応して新しいものに変化していく！

一年の集大成を体感しろ！感動がそこにはある！

私が入会して初めてその年に全国大会へ行ったのは、2007 年の北海道帯広大会でした。遠いとか近いとか関係なく、とりあえず参加してみようと思い、北海道の帯広まで事務局の先導の元、会員開発委員会メンバーと行ったのを覚えています。（その前に同期の新入会員らと話をしてお前が行くなら行くって話し合いはしてました笑）　遠い道のりだったかもしれませんが、それまで一生懸命にやってきた同期の新入会員と既存会員との話が尽きず、時間が短く「もう着いたんけ」みたいな感じでした。

全国大会は、大懇親会からの参加でした。会場は物凄く広く見渡す限りの出店や展示品があり、そこには人だかりで溢れかえっており、盛大で圧倒させられました。また、大懇親会のスペシャルゲストとして島谷ひとみさんの歌で会場が一気にボルテージが上がり、その場はコンサート会場になり、歌い踊り楽しみました。大懇親会を満喫した後、LOM ナイトをしました。居酒屋を貸し切り、卒業生と既存会員で飲んで食べて語ってる中、サプライズでアトラクションを事務局が行い、ややウケで盛り上がり、卒業生が笑いあり、涙ありの懇親会でした。次の日は、メインフォーラムに参加するのですが、物凄いスケールと迫力ある音響と映像が印象的で唖然として口が開いていたのを既存会員の方に注意されたぐらいでした。全然、話が入ってこなかったのを覚えています（笑）　さて、いよいよ大会式典部と大会卒業式の部です。式典は厳粛な雰囲気で行われ、一つひとつが確実に進む中、さすが日本 JC の事業だと感銘を受けました。式典が終わり卒業式の部は、毎年シークレットライブでアーティストの方が歌ってくれます。今まで私が聞いた方は、久保田利伸さん、T-BOLAN さん、ウルフルズさん等々、聞いてきましたが、私が一番感動したのは、最初に帯広大会へ行った森山直太朗さんでした。農地の会場でそこを大型の足組のテントと椅子を並べての設営に驚かせられ、透き通るような声が響き渡り、会場のスクリーンに涙する卒業生が映し出されたのもあり、感動の涙ともらい泣きで号泣していました。最後に卒業生スピーチですが、その迫力とこれまでの運動と活動の魂のスピーチが聞けます。自分事として耳を傾けていただけたらと思います。長々となりましたが、難しく考えず富山の地で武生 JC2019 年度の卒業生を祝福に行きましょう♪

なに？なに？副理事長

高　村：本日はよろしくお願いします。「なに？なに？副理事長」ということで、いろいろとお聞きしたいと思います。まず最初に副理事長の担いについてお聞かせください。

谷　口：何もしない。

一　同：（爆笑）

清水口：それは「見届ける」っていうことですか？

谷　口：そうだね。あとは、理事長と一心同体にならなあかんなと。理事長の目となり耳となり、鼻となり口となり。そういう想いはありますね。

正　光：一心同体ももちろんだけど、理事長の方向性を見て室長や委員長を導く役かなと思う。答えを言わずにどう導いていくか・・・かな。

清水口：なるほど、ありがとうございます。山崎副理事長はいかがでしょうか。

山　崎：二人の後はきついですね（笑）良く言われることですけど、理事長の分身として全体を見て、自分のラインはあるけど分け隔てなく導くというところが副理事長の担いかなと思います。

清水口：ありがとうございます。では次のテーマお願いします。

高　村：次に副理事長を引き受けた時の気持ちや理由を聞かせてください。

正　光：副理事長の担いを考えたとき、自分には足りないものがあると感じたからですね。

清水口：成長できるかなって思ったってことですね。

正　光：そう。副理事長でしかできない成長の部分があると感じた。
じゃないと受けない。すでにできることは受けないよね。

清水口：確かに・・・意味ないですもんね。

正　光：ちゃんとそこも書いておかなあかんよ（笑）できることを受けても成長は無い。

高　村：谷口副理事長はどうでしょうか？

谷　口：何回も言ったことあるかもしれないけど、今の理事長から声がかかって断る理由は無かった。それがまず第一。
あとは、今まで役を受けたときもそうだけど、受けた先に何か得られるものはあるだろうなと。それと下にいるみんなのために何かできることをやれればなと。ただそれだけです。

山　崎：室長を受けたときなんかは自分の委員会をなんとかしようという気持ちが大きかったんですよね。
だけど副理事長は会全体を見ないといけない。そういう意味でも、副理事長を受けることで視野を広げることができるかなと感じましたね。

清水口：話を聞くと、役を受ける先に成長が見えるというのは大きなポイントですね。

高　村：では次に「役職から得られるもの」を教えてください。実際に副理事長をやってきて得たことや学べたことですね。次年度の副理事長に向けて「こういうことが学べるよ」などでも構いません。

山　崎：質問の答えにならないかもしれないけど、副理事長は逃げることができない。会社でも部長課長がいるとして、課長の責任は部長の責任ですよね。そういう意味でも副理事長は責任から逃れることはできません。
副理事長になると、悩むぐらいならすぐ行動に移すという実行力は身につくかなと思います。

谷　口：ある意味「こういうとき理事長ならどう言うかな？どう行動するかな？」といったように、トップではないけど、トップとして会に対してどう影響与えるかというのを考える機会になる。
副理事長は理事長がいないときには代わって会を代表して出て行く必要があるわけで、そういう意味でも副理事長はトップの経験が中途半端にできる（笑）

清水口：疑似的にってことですね。

谷　口：そうだね。そういうのはあったかな。

清水口：正光副理事長いかがでしょうか。

正　光：役職から得たこと…真剣に喋って良い？

清水口：お願いします！

正　光：自分はもともとこういう団体が嫌いで、JC を好きになれとかっていうのは全く思っていなくて。
でも、何のためにやるのかっていう芯を持って 1 年ずつやっていけば、人から役の声がかかり、役をうけることで成長していけると思う。
副理事長を受けることで「何のためにやるのか」を考える良いきっかけになりましたね。

高　村：それでは、最後に「理想の副理事長像」について聞かせてください。

山　崎：やっぱり、室長がいるってことは副理事長がいる役割もあるわけですよね。僕が思うのは、先ほど正光さんが言っていたみたいに、当然答えは言わない。でも端的に室長に答えてあげられて、あんまりがつがつ委員長とか委員メンバーになんでもかんでもワーワー言わない。これが普通のことで、理想かなと。

谷　口：みんな見たことないと思うんだけど、正副理事長会議では理事長からだいぶ怒られてます。みんな知らないけど（笑）

清水口：全然知らないですね（笑）

谷　口：怒られるってことはやっぱり足りない部分があるってこと。

清水口：どこが足りないって感じますか？

谷　口：議案が通らない、上程できない。やっぱり、そこは副理事長が導いてあげないといけない。

正　光：結局のところ、上程できない・臨時が多いっていうのは副理事長が悪い。

谷　口：あとはやっぱり三人の仲が良いのは大事かな。意外と自分に足りないところを補ってくれたりする。連携・パートナーシップだね。

正　光：結局、自分のラインだけ見てたら副理事長は務まらない。室長は自分の室。副理事長は全体をみないといけない。

谷　口：でもそれはどの役職も同じじゃないかな。やっぱり同列の役職は見ておいた方が良いと思う。

清水口：まだまだお話を聞きたいところではありますが、お時間がきてしまいました。
今回は三人の副理事長にお集まりいただき話を聞いてきましたが、今後副理事長をする人はもちろんのこと、多くの人にとって貴重なお話だったと思います。
本日はありがとうございました。

8月度例会アワー報告

会員拡大委員会 委員長　向井　智 君

今回 SDGs 推進事業ということでまだ認知度があまり高くない SDGs をまずいろんな人に知ってもらうことが大切だと考え、一企業の経営者やそれに準ずるものが知りそれを社員さんや家族に言ってもらうそんな推進の仕方を考えました。SDGs を勉強していく中でこれは、とても広く大きなことであるが、私たち個人でもできることと知りました。そして経営者にとっては、ビジネスチャンスでもあるということも知りました。ビジネスと SDGs をうまくつなげて経営者に伝えられたらその企業がより強く持続可能になり我々の住む地域活性、強いては JC の根幹の明るい豊かな社会の実現に大きく進むと思いました。

そこで今回辻氏の行っている SDGs と絡めた事業が我々経営者に SDGs をどのように活用していくのか良い例になると考え講師として招き、また我々の活動地域において SDGs を掲げて取り組んでいる福井銀行さんとのパネルディスカッションにて自分事にしていくと考え事業構築をしました。

今回辻氏の公演は、大変わかりやすく来ていただいた方からも好評でした。福井銀行さんとの打ち合わせ不足か自己紹介のところで時間を押してしまい全体的な予想していた内容のパネルディスカッションでは、なかったもののアンケートなどを見ると SDGs を掲げて事業展開していくとどのようなメリットやビジネスチャンスがあるのか来場者に伝えられました。

今回設営面でも皆さんの協力のおかげで大きな問題もなく運営できました。ありがとうございました。

バースデー会員（秋といえば●●）

近江　智彦 君

暑さも一気に和らぎ、涼しい夜も多くなってきました。如何お過ごしでしょうか。

私の職種でこの時期は、缶コーヒーデザインの切替や新商品発売です。目新しい商品が手元に届くと新鮮味も湧いて心も弾みます。しかし、ここで問題も発生します。売れ行きの渋い自販機の中の古い商品を抜いて新しい商品を入れ、売れる自販機にデザインの古い商品を入れて売り切る、というのがセオリーなのですが、売れる自販機には感謝したい、早く新しいデザインのコーヒーを並べたいという気持ちも勿論湧いてきます。

そんな葛藤を抱えながら日々を過ごしております。

斉藤　陽介 君

秋と言えばきのこが美味しい季節。涼しくなってくると特に鍋に入れて食べることが多い。今でこそ色んな味のスープを買ってきては楽しんでいますが、我が家の鍋は昔から水炊きが基本でした。ポン酢に大根おろしを加えたものにつけていただきます。これが美味しい。それにきのこは色んな食感、風味があって面白い。

だからこの秋はきのこだらけの鍋を作りたいと思ってます。マイタケ、シメジ、エノキ、シイタケ、エリンギ、ナメコ、キクラゲ、ヒラタケ、それにハナビラタケやクリタケというきのこも食べてみたいです。

谷﨑　将大 君

秋と言えば○○の秋というのが定番ですが、我々会員開発委員会の中で密かにダイエットが流行しています。突然ですが皆さんは若者達を中心に流行している「2 週間で 10 キロ痩せるダンス」という踊りをご存知でしょうか。韓国人 YouTuber が踊る「HandClap」です。これは…!! と思い、出会った頃から「痩せなきゃ」が口癖の嫁さんと一緒に始めました。一回 3 分程度なので気軽に始められ、休憩も取りやすく、なにより曲が良いので楽しく踊れます。踊り始めて三日目で筋肉痛が来たことに老いを感じながら、今日もふたりで子供達に醜態を晒すのでした。

永田　拓也 君

秋といえば『実りの秋』『芸術の秋』『読書の秋』『スポーツの秋』等々とありますが、やはり『食欲の秋』ですかね、暑い夏も終わって夏バテも解消されて、食べ物が美味しくなりついつい食べ過ぎてしまう季節だなと思います。武生 JC に入会してから食べる時間も遅くなりだんだんと体重が増えてきて子供にも太ったと言われるので、今年の秋は『食欲の秋』の食べたい気持ちを我慢して、少しずつ体重を落とせるように頑張って行きたいという気持ちを持って『食欲の秋』に勝とうと思います。皆さんも『食欲の秋』で太らないようにしていきましょう！

蜂谷　雄次 君

秋と言えばということですが、秋が一番好きですね。様々な秋のいいところがありますが、私の中では旅行の秋という言葉がしっくりきます。毎年、会社の下請けの皆様と行く家族研修旅行を楽しみにしています。普段会えない社長の奥様やお子さん、お孫さんの旅行を楽しむ顔を見るのが励みになるし、一年の感謝を言える場でもあるので、継続してやっていきたいと思います。余談ですが、新婚旅行も秋だったなぁ（笑

ギャップ萌え〜

総務委員会　副委員長　上木　伸鷹 君

今回のテーマがギャップ萌えということでした。自分のギャップ萌えは動物が大好きということです。顔からそんなイメージはないと思いますが、動物園にいったりサファリパークに行ったりしています。見るのも好きですが触れ合うのがとっても好きです。自宅で犬を一匹飼っています。仕事が忙しい時期でも一日一回は犬と遊んでいました。散歩も朝か夜には必ず行っています。とても癒されています。

編集後記

9 月に入り、だいぶ暑さも和らいできましたね。あの恐ろしい暑さも、過ぎてみれば寂しいものです。今回私は、しろばん記事の集計を担当させていただきました。

初めての仕事なので上手く出来るかどうか不安でしたが、皆さんのスムーズな提出のおかげで、不慣れながらもなんとかこなす事が出来ました。

9 月はシニアと語る会があります。先輩との会話を通じて皆さん自分の考えの幅を広げられたらと思います。9 月も駆け抜けましょう！

（会員開発委員会　委員　棚田　兼太郎 君）

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.10.5
Vol.618

見開き

新入会員オリエンテーション特集 !!
新入会員紹介

- 11月度例会アワー（卒業生を送る会 PR）
- バースデー会員（新オリの思い出・意気込み）

We are allways challennge

我々は挑戦し続けます。
傍観者ではなく実践者になります。
青年会議所の真の力を発揮することを誓います。

新入会員オリエン

JCI Achieve を受けて

会員拡大委員会 委員長
向井　智 君

9月1日に会員開発委員会の新オリ事業の一つであるJCIアチーブセミナーを受けてきました。このセミナーでは、鳥取青年会議所の澤田トレーナーの元JCの何たるかを学びました。そこで世界には、3種類の人がいることをまず学びました、それは、起こす人、見ている人、知りたがる人だと。私たちJCは、どうあるべきか何が重要か、それは正しいことを行動し起こすものであることが大切と学びました。

またJCと他団体の違いは、何かという問いも投げかけられました。20歳から40歳までの団体、持続可能な問題解決のための事業を行う団体と色々な答えが出ましたが、最も違うのは、定款でメンバーの発展や成長が促されていることだとおっしゃられていました。

私たちが考え立案し実践することでまちと自分が成長するそんな素敵な団体に自分が所属していると自覚して日々JC活動に率先して参加し若き能動的市民であろうと思う事業でした。会員開発の皆様大変お疲れ様でした。

JC Iimpact を受けて

外国人と共に夢を描く委員会 委員長
斉藤　陽介 君

9月1日(日)　総社大神宮　社務所2階、午後から行われたJCIインパクトセミナーを受けることが出来ました。行動する市民として地域社会に貢献できるJCIメンバーのために向けられたコースと聞いていました。セミナーの中で特に印象に残っているのは倒木の話です。私たちのまちにも沢山の倒木(問題)があり、しかし多くの人は倒木を気にせずに暮らしています。何とか暮らしていける人は、わざわざ自分から動くこともないのかもしれない。でも確かにそこには苦しんでいる人や困っている人がいて、その人を救うにはやはり我々が問題提起し多くの共感を得て、人を巻き込み協働していかなくてはいけないと感じました。このセミナーでは自分たちのまちにある倒木は何か新聞記事から探し出し、他のグループの意見を聞いてニーズ分析を行い、問題を一つ定めてそれを掘り下げていく。なぜこの問題が存在するのか、課題は何なのか、このセミナーは事業計画書を作るために重要な課題の認識と設定について学べる。これから委員長をする方は受けておくことをお勧めします。

JCI Achieve って？

JCI Achieveは、LOMの意義や目的を、事例研究やディスカッションにより理解するコースです。全世界のJCが取り組む「JCIミッション」を私たち武生青年会議所の活動に効果的に取り入れるために、住み暮らすまちの特性を理解し、その価値を認識し、既存、新入会員両者が求める機会を提供し、より良い変化をもたらせるような魅力的な組織を構築していくことを学べます。

JCI Impact って？

JCI Impactは、能動的な人材として地域社会に積極的に貢献できるJCメンバーのために向けられたコースです。 コースは積極的な社会参加の概念について議論します。コミュニティー・ニーズの分析、実際に起った問題原因の検証。また武生青年会議所が地域社会に有益な変化を興すために他のパートナーと協働できる事業とは何か、学べます。

テーション特集 !!

なに？なに？模擬室長

理事　水野　裕二 君

キッズ・ソリューションズの模擬室長役として向き合っている事は、やはり自分が委員長として経験して学んできたノウハウを、いかにメンバーに上手く伝えられるかを重要視して取り組んでいます。中々対外事業の議案を作成した経験がないので分からないことも沢山ありますが、当時委員長時代に室長として支えてくださった松ケ谷専務がサポートしてくださったことを思い出しながら室長としての役割を全うしたいと思っています。と言いたい所ですが、家庭の事情もあり中々参加できていない現状にあります。そんな中でも寺田委員長のフォローを受けながら、キッズ・ソリューションズの意見や想いを聞き賛同しながら議案作成に務めています。本当に自分が新入会員時代のころと比べ、質の高いメンバーが揃っているので驚きを隠せませんが、それに負けじと模擬室長として彼らの良い部分を引き出しながら良い方向へ導き出せるよう審議に向けて精進して参ります。

会員開発委員会 委員　嶋﨑　正敏 君

「どうせ模擬議案やから」というあまさも出そうな1か月、そんなあまい言葉は一切はかず、現実的に、今、自分達が必要と感じ、武生青年会議所がやらなければならないだろうということを形にしようと奮闘していました。

テーマにしたことが「多文化の心と心」で、数値化するには難しいことと向き合い、慣れない議案作成をこなしていました。

テーマ決めから1か月でのスケジュールで、メンバー同士が時間を合わせ、全員が委員長という立場の中で意見をまとめてきました。討議、協議と色々な意見をもらう中で、想いに迷いが出たこともありましたが、その「心境の揺らぎ」こそ、なかなか普段の仕事では味わえないことと思います。

彼らが、迷い、揺らぎ導き出した言葉には、今後の武生青年会議所の在り方を考えさせてくれるものになることと信じますし、彼らの期待に応えられる武生青年会議所でありつづけなければならないと思います。

2013 年新オリの思い出

理事　三田村　哲郎 君

4 班に別れての模擬理事会でした。本年同様、討議、協議、審議と議案を作成し理事会に臨む形式でした。質問は班の誰が答えても良いのですが、僕の班は出席率が極めて悪く、審議の時は僕しか来なかったため、質問も答弁も僕 1 人だったのを憶えてます。あ、嶋崎さんも同じ班でしたね。

例会当日も過酷なものでした。土曜の昼はセミナーと協議。夜は居酒屋の青春で酒を飲み（飲まされ）お開きの後は先に寝た人間から顔に全力で落書きされるという異常な状況の中、審議に上程する議案を修正しました。僕は同期の黒田光俊先輩に落書きされました。ペンは水性でした。翌朝の審議は新入会員全員二日酔いでした。

転倒して前歯を失った新入会員もいました。奥様の誕生日なのに前歯を失い帰宅する旦那。顔を見た奥様の心境は知る由もありません。

過酷な新オリも、終われば楽しい思い出ばかりです。

新入会員のみんな、最後まで頑張ってください。

新入会員紹介

テラオライテック株式会社
ライフスタイル事業部課長
小村　祐介 君

会社ではリフォーム事業部課長として日々仕事をしています。

武生青年会議所では経営者の方々の考え方を学び、地域課題の解決に取り組んでいけたらと思っております。

これから宜しくお願い致します！

株式会社　山田組　取締役部長
山田　一宗 君

この度 10 月より武生青年会議所に入会させて頂きました。私は高校卒業後から約 20 年間、地元を離れて生活していましたが、去年産まれ育った越前市に戻って参りました。そこで仕事でお付き合いさせて頂いている方より、青年会議所の活躍ぶりを聞き、私も社会貢献や街の活性化へ協力したいと思い、入会する決意をしました。これから皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

卒業生を送る会PR

未来へつなぐ想い育成委員会 委員長　北川　優也 君

11 月 14 日（木）に 11 月度例会アワー卒業生を送る会事業「〜今を感じて輝く未来へ〜」を開催いたします。今年の卒業生を送る会は卒業生が将来に向けた決意を示す JC 活動の集大成の場とし、共に活動してきた仲間への感謝を胸に全会員で祝う設えとなっております。卒業生を既存会員一丸となって祝い、卒業生には JC 活動や JC に対する想いを既存会員と共に真摯に向き合っていただきます。卒業生の想いを聞いて私たちの武生青年会議所を更なる発展に向け会員一丸となって感謝の気持ち持って全会員で共に卒業生を祝いましょう。

バースデー会員（新オリの思い出・意気込み）

石本　広明 君

美濃会員開発と岡田会員開発で新オリを２回経験しています。当時を思い出すと辛いことも沢山ありましたが、皆で街を案内する企画を練り、実際に既存メンバーを引き連れて案内したことはとても記憶に残っています。そして居酒屋の青春では柳荘で遅くまで語り明かしたことは本当に楽しい思い出です。

嶋﨑　正敏 君

模擬議案を立てるにあたり、その時テレビでやっていた「矛盾」の番組企画から、なんでも切れる越前打刃物と絶対切れない越前和紙の対決企画を考え、あーだこーだ言いながら何日も集まって立案した思い出の新オリでした。太陽の広場で、寝起きで叫んだ暗唱は今でも忘れられません。その時は暗唱できなかったクリードも４年後の新オリで飛び入りでリベンジして唱和できました。

棚田　兼太郎 君

去年の新オリの思い出です。

私は入会してすぐ新オリの準備だったため、入会早々、連日の平日夜の集まりに面食らった覚えがあります。家族にもよく心配されました。

新オリ当日も皆で酒盛りした後に議案書の修正を書く事になり、手伝ってくれた先輩方も含め、次々寝落ちしていく様は地獄のようでした。ほんとこりごりです。

寺田　秀之 君

2014 年山本会員開発での新オリは、感動する話を日野山の山頂で行うという、とんでも企画でした。夜中の２時まで某先輩の熱い JC 論と酒にお付き合いさせていただき、５時前に登山開始。フラフラのまま山登りをした記憶があります。同期メンバーがいなかったら登れてなかっただろうなぁ。登山は二度としないと心に誓った新オリでした。

水野　裕二 君

寺尾忍委員長時代の新入会員として臨んだ新オリは、本番前日からろくに寝れもせず、右も左も分からないまま議案作成に没頭し、蓋を開ければ窮地に追いやられ悪夢でしかありませんでした。思い返したくない部分は多々ありますが、メンバーと共に一生懸命頑張り過ごした日々は良き思い出となりました。そして今思い起こせば全て我々の為に考えられた事業だったと、凄く感謝するべきことが大きかったと感じる新オリでした。

清水口　司 君

９月１日の JCI セミナーを皮切りに新入会員オリエンテーションが始まりました。

JC の根幹とも言える議案書作成を模擬的に行う事業です。討議、協議を終えて、議案書作成の難しさを感じるとともに面白さも感じています。

苦しみから生まれるものより、楽しみから生まれるものの方が良いと思っているので、より楽しめる環境に自分を持っていきたいなと思います。

上地　マルセロアルベス 君

初めての新入会員オリエンテーション美濃委員長正直右左何もわからなかったです。次のオリエンテーション理解できてとても面白かったです。地域のために活動やったり JC 仲間と一緒にものを考えて自ら活動考えて共に一緒に頑張って素晴らしい体験でした。オリエンテーション２回やることができてとても自分のためになりました。今年のオリエンテーション楽しみにしてます。

高村　沙織 君

私の新オリから５年が経ちましたが先日も当時の新オリメンバーと共に思い出話に花を咲かせました。当時は入会当初から新オリの話をされ何としてでも新オリは出席することを言われ続け、審議当日は委員長役の櫛村先輩に一人一個は質問するよう直前に言われたことを思い出します。そして山﨑侑君の酒に飲まれていた姿は何年たっても変わらないでいて欲しいと願います (笑)。

為永　直樹 君

※連絡が取れません。皆、自分事と捉えて声掛けお願いします！

松ケ谷　敏嗣 君

自分が経験した 2014 年度の新オリは夜中に日野山に登り、山頂にて御来光を浴びながら感動のスピーチをするという、とてもぶっとんだ事業でした（笑）

既存会員の皆さんに支えられ、新オリを終えた後にはこれまでの自分の人生では味わったことがない感動や達成感が経験でき、JC に対してスイッチが入ったことを今でも鮮明に覚えています。

今年の新オリも辛いことは多々あると思います。ただ、やり切った後には必ず見える景色がありますので新入会員の皆さん頑張ってやり切って下さい！！

角方　直樹 君

新オリの意気込みは、まず１番に早く JC に順応していけるように１つでも多くの事を学び今後の JC 活動に繋げていきたいと思います。また新オリでは初めて議案書を作る事になるので、分からない事があれば積極的に模擬室長はじめ先輩方から教えて頂いたりして、同期メンバーと意見を出し合いながら議案書を作っていきたいです。

萬谷　聡 君

誕生日は天皇陛下の即位礼正殿の日の萬谷です。この記事を書いているのは模擬理事会の協議が終わった頃です。みんなで夜な夜な議案書を作っています。まず模擬理事会に参加していただいた先輩方、多くの意見をいただきありがとうございます。議案書作りでも沢山の助けを得ています。本当に感謝しかないです。はじめて議案書を作ってみて、伝え方の難しさを感じています。審議の日までみんなで夜な夜な議案書を作り続けることでしょう。当日までに完成できるのか僕自身分かりませんがやる事は全部して審議に望みます！

編集後記

しろばんを作るにあたって大変な事はという事ですが、僕にとって全てが大変です!!

まず 19 時ぐらいから集まります。

普段の僕だったらお酒を飲んでゆっくりしている時間なのです…

そんな事を思いつつ嶋崎隊のみんなと今回はどんな感じにしようかなど話し合いながら作っています。

残り２回ほど作る機会があるので精一杯頑張って作ります。

（会員開発委員会　委員　中林　祐紀 君）

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.11.14
Vol.619

見開き

10月度例会アワー　新入会員オリエンテーション
福井ブロック協議会アワード～優秀賞
全国大会富山大会
12月度 PR 例会アワー褒賞事業
となみ 引継ぎ

- 青少年育成事業 出前授業
- ハロウィンパレード
- バースデー会員 ～秋と言えば○○～
- ギャップ萌え

新入会員オリエンテーションから得たもの、学び

外国人を受け入れる心を育てる委員会 委員長　谷﨑　将大 君

僕にとっての新オリは本年度のスタートから始まっていました。「これから入会してくる新入会員をしっかり引っ張ってやれ」とあちこちで言われ、不安だらけのスタートでした。

そんな中、1月4月とたくさんの仲間が入会し、自分の力不足からうまくいかないこともありました。

しかし、毎月の委員会やしろばん記事作成、ボウリング大会の企画運営、そして地区フォーラム大懇親会など、みんなで意見を出し合い紆余曲折しながらいろいろなことを一丸となって頑張ってきました。そういった過程があったからこそ今回の新入社員オリエンテーションに結びつき、やり遂げることが出来たのだと思います。

武生青年会議所に入会する前、「お前は本当の仲間を作れ。心を許しあって一生付き合える仲間を作れ。」父のその一言があって入会を決めました。

今回の新オリ、それまでの過程を通して得たもの、それは仲間だと胸を張って言えます。

嶋﨑室メンバーは本当に我が強く、あーだこーだ言いながら議案書作成に向き合ってきました。思い返せば本当に大変な日々でしたが「模擬理事会やでこんなもんでいいやろ」という言葉は一度も出てきませんでした。全員が真摯にまちの課題解決に向けて取り組んできました。出来、不出来は当然あるかと思いますし、ご指摘もたくさん頂きました。しかし今回上程させて頂いた議案書には我々「外国人を受け入れる心を育てる委員会」の想いが詰まっています。出来ることなら全会員に御一読いただけると幸いです。

毎日ガストに集まり遅くまで議案書作成の日々、店員さんを呼べば「ドリンクバーと山盛りポテトですよね？」と覚えられる始末…。毎回必ずパフェを食べるメンバーや、全身紺色のよくわからん寝間着のような服で来るメンバー(自称オシャレ)、帰りの会計で現れるメンバー…。破天荒でむちゃくちゃでしたが楽しかったなと思います。一生仲間やぞ！！

キッズ・ソリューションズ委員会 委員長　中村　真利江 君

勧められるまま入会した私にとって青年会議所がどんなところなのかよくわからないまま新入会員オリエンテーションが始まりました。最初は委員長から与えられたテーマを水野室のみんなで考え、多文化共生を選んでの議案作成をしていく中で、会員開発委員会以外の人たちからも色々なアドバイスやアイデアをいただきながら、みんなの意見を取り入れて、考え、やり直していくことで少しずつですが議案が形になっていく過程を経験しました。よくわからない事をよくわからないからと、人任せにしたり、関わらないのではなく、一生懸命、積極的に取り組んでいくと、そこには必ず支えてくれる仲間がいてくれる、そんな当たり前のようで当たり前ではないありがたさを学ばせていただきました。水野室のメンバーにも、アドバイスをくれた先輩たちにもありがとうを伝えたいです。また参加があまりできなかったメンバーにはJCを頑張るといい事があるよ！って伝えたいです。色々な事情で参加できない人もいると思います。でもそこを少しだけ無理をして参加して、頑張っているとそこには必ず見ていてくれる人がいます。その人は必ず助けてくれるし、これまで自分が考え付かなかったような意見も貰えます。できません、いけませんは簡単です。でも本当の意味で大切な仲間を増やしたいなら参加して、学んで、時には意見をぶつけて、つらい気持ちになるときもあるけど、それを乗り越えた時には本当に頼りになる仲間たちがそばにいてくれる。そんなあったかい団体だと心の底から感じる事ができるいい機会でした。最後の方は私が風邪をひいて体調を崩してしまったおかげで参加できない日もあって迷惑をかけたメンバーにはお詫びしたいです。でもいつかこんなこともあったよねと笑い合えるようないい思い出になりました。まだまだ知らないことだらけの私ですが今後もみんなよろしくお願いしますね！中村真利江でした(笑)

福井ブロック協議会全体会議 ～福井ブロック協議会アワード～ 優秀賞

共感を生み出すまちづくり委員会 委員長　水野　翼 君

この度、10月27日に福井ブロック協議会アワードにおいて、7月に行った「地区フォーラム記念事業～まるごと越前パークフェス～」の事業が優秀賞を受賞する事が出来ました。

まずもって全会員の皆様のお陰で無事執り行えたこと感謝いたします。

しかし議案書段階から本当に大変で室長をはじめとする理事メンバーには本当にご迷惑をお掛けしました。しかし頑張った甲斐もあり、最高の委員メンバーに助けられ最高の事業ができたと思っています。

アワード当日はプレゼンという自分の苦手な壇上で喋るという試練がありましたが、委員会メンバーの為にどうしても優秀賞を取りたかったので頑張りました。形としてメンバーに残せるものを取れて本当に良かったです。

次年度以降アワードがあるかは分かりませんが、次年度委員長の皆様は狙っていただきたいと思います。しかし、メンバーと一丸になって最高の委員会を作る事が重要だと思いますので、辛い事もたくさんあると思いますが頑張っていきましょう。

会員拡大委員会　委員長　向井　智 君

今回、公益社団法人日本青年会議所　北陸信越地区　福井ブロック協議会　AWARDS　BLOCK　2019青少年・人材育成部門に8月度例会のSDGs推進事業でエントリーいたしまして、優秀賞を頂きました。

この事業では、公益事業として経営者にSDGsのなんたるかを伝えられたと思います。これから持続可能社会にしていくためにSDGsは、必ず必要になってくるものだと思います。

この賞を取れたのもひとえに会員の皆様が動員や本番の協力があったからです！本当にありがとうございました。

全国大会 富山大会

専務理事　松ケ谷　敏嗣 君

まず会員の皆さまにおかれましては、台風の影響でLOMとして参加しない判断をしたことに多大なるご理解を頂きまして本当にありがとうございました。事務局を代表してお礼申し上げます。

全国大会は日本JCの今年やってきた集大成を発信する場であり、その年ごとに開催地が変わります。また卒業式も行われ、毎年約1万人のメンバーが集まる大会となっています。

その中で私は10月11日（金）に開催された日本JC総会とその後に開催された～SDGs　TOYAMA　FOOD　FESTIVAL～(大懇親会)に参加させていただきました。この懇親会は富山の食材はもちろんですが、北陸信越地区内からもブースを出展し、全国から来たJCメンバーに各地の魅力を発信する事業です。地区フォーラム大懇親会の全国大会版みたいな感じです。様々な工夫がされていて大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

今回はこのような結果になってしまい、特に卒業生の皆さまにおかれましては残念な思いでいっぱいだと思います。その分LOM内でしっかりと卒業生の皆さまをお祝いしたいと思います。最後になりますが全国大会の設営をして頂いたすべての皆さまに感謝申し上げます。お疲れ様でした！！

新入会員オリエンテーションを終えて

会員開発委員会 委員長　寺田　秀之 君

思い起こせば一年前の今頃に、委員会基本方針の審議をいただいたところから始まります。JC運動の価値があやふやになってきている昨今、私に友と成長を与えてくれた大切なJCに対しどんな恩返しができるか？そんなことを考えていました。模擬理事会という手法は具体的にではありませんが、うっすらと見えていたのも事実です。ですので、JCライフ最後となる議案書の作成自体は驚くほどすんなりと終ってしまいました。

1回目の委員長時代を知る先輩からは「寺田が模擬理事会をするとは思わなかった」と皮肉を言われたりもしましたね（笑）ですが、これが面白いのですよ。当時は想像もできなかったことを生むことができる。そうやって人類は文明を築いてきたのだなと感慨に浸ったりもしました。

そんなこんなで新オリは始まりました。そうそう、この記事を書いていて思い出しましたが、JCI impact、JCI achieveの両セミナーに関しては2年以上前から新オリでやろうと思っていましたね。この2つのセミナーを受講してから初めて議案書に携わって欲しい、そんな思いから新入会員の皆にはかなりタイトなスケジュールの中で奔走させてしまいましたね（苦笑）そんな中でも模擬室長を中心に連日連夜集まり議論を尽くしている姿を見て目頭が熱くなったりもしました。

JCはプロセスを大事にしている団体です。しかしそれは結果が伴わなくても構わないという事ではありません。参加、参画していただいた方はプラスの成長があったと確信しています。ただ、惜しむらくは全会員参加に至らなかったことです。新入会員だけでなく、全会員にJCとしての新しい価値を提供する気持ちで事業を開催しました。しかし、この結果をみて伝える難しさを痛感したしだいです。

この記事を書いたことにより､決算の委員長所見が書き難いです（笑）

最後になりましたが、新オリを開催するにあたり携わっていただいた全ての方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

監事　田中　慎二 君

まずは、寺田委員長をはじめとします会員開発委員会のみなさま、お疲れさまでした。

特に新入会員のみなさま、大変な事業だったと思います。お疲れさまです。

さて、今回の新オリは模擬理事会ということで、青年会議所で一番大事な理事会議をやっていただきました。まだ青年会議所の仕組みなど理解不十分なまま、予算、目的、手法などを考えていただき、資料を作成して会議で答弁する、本当に大変だったと思います。遅くまでチームで集まって議案書作成をしていたと聞いております。今回のセミナーや模擬理事会で、ある程度、青年会議所の仕組みはご理解していただけたのではないでしょうか。

近年、武生青年会議所では在籍年数が短く平均5年を切っております。今後、入会歴浅くして議案書を作成し理事会に出席するという会員がおのずと増えてきます。そのため青年会議所というものを早めに理解していただく事が大事なのです。

また、今回は既存会員も一緒になって青年会議所や議案書の事を、再確認できたのではないでしょうか。

新入会員は、新オリで、大変で嫌にもなるでしょう。どうかそれを乗り越えて一歩でも二歩でも成長していただきたいです。我々の成長がまちを変えるのです！

既存会員は、とにかく真剣に取り組んで勉強している新入会員には、真剣に接する！

それが今後も大事な事ではないのでしょうか。

最後になりますが、懇親会で新入会員が話した言葉、流した涙、本当に素晴らしかったです。素晴らしい感動を味わえるのが青年会議所なのです！今回の新オリにて、素晴らしい感動をいただき、ありがとうございました。

わたくしの10年の青年会議所活動、本当に勉強になり本当に感動いたしました。

12月 PR 褒賞事業

総務委員会 委員長　三原　卓也 君

武生青年会議所に脈々と受け継がれている伝統の一つとして、褒賞事業があります。一年間の頑張りをみんなで称えあう素晴らしい文化です。最優秀新人賞や最優秀委員賞、そして栄えある最優秀委員会賞などがあります。個々でもそれらの賞を目指しますし、委員会でもその賞を目指し委員会メンバーとともに青年会議所活動を頑張るわけでございます。

そのために皆さんが自分の委員会の事業の成功を目指し、成果を出そうと努力をするわけですが、褒賞事業の存在の意義はやはりそこに到達せんがための努力にあると感じます。委員会メンバーで集まり、事業をより良くするため数々の議論や検証、あるいはリハーサル等などみんなが仕事や家庭や自分の時間を削り手弁当で集まって活動をするわけです。尊敬できるあの人（メンバー）のためなら、参加してくださる外部の方々のお役にたちたい、この町のために貢献したい、自己の成長を試み会社や家庭に持ち帰りたいなど理由は数々ありますが熱い想いはみなさん持っておられます。

褒賞の結果がどうなるかは分かりません。しかしそこまでのプロセスに委員会や各個人が胸をはれればそれに越したことはありません。プロセスに後悔などがあれば次年度、あるいはこれからのステージを豊かにするエネルギーに変えて頂けたらと思います。

当日の設えをより感動的な演出にできるよう総務委員会全員で頑張る所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。

2020年度 地区フォーラム主管 LOM
となみ 引き継ぎ

副理事長 兼 地区フォーラム実行委員長　山﨑　侑 君

私達が7月に行った地区フォーラムを次年度に繋げる為、10月28日に引継ぎ会議 in となみを開催させていただきました。事前の準備段階では正直2時間という会議時間を余してしまうのではないかと心配でしたが、始まってしまえば質疑の多さに中々先の内容に進めず…（2時間ジャスト）。私達も昨年11月に上越JCさんから引継ぎをいただいた時はまだまだ地区フォーラムの右も左も分からない状態だったことを覚えています。同じようにとなみJCさんにとっても期待と不安の入り混じった感覚だと思いますが、引継ぎ会議に対する姿勢、そしてその後の懇親会では富山ブロック協議会大西会長（となみJC）も交えてその場にいる全員が心をワクワクさせながら地区フォーラムに臨む姿勢が頼もしく印象的でした。もちろん今回の引継ぎで全てを引継ぐことができるとは思っていませんがこの引継ぎ会議を行う上で大事なことは、となみJCさんと武生JCの関係性の構築です。私達が上越JCさんから地区フォーラムで多くのご支援をいただいたように、次年度も前年度開催地としての経験と知恵を惜しまず発揮して、全力で地区フォーラム in となみのサポートを行うことを誓いました。この引継ぎ会議をもちまして「第61回地区フォーラム2019in 越前」の区切りとなります。ここまで皆様と歩んでくることができましたことに感謝の気持ちを込めまして、引継ぎ会議報告とさせていただきます。ありがとうございました。

青少年育成事業 出前授業

未来へつなぐ想い育成委員会
委員　関　和宏 君

本年度の、未来へつなぐ想い育成委員会の事業として、中学校にお伺いさせていただき、対象の学生に対し「社会貢献について」の出前授業を行いました。

授業は２部構成で進行し、１部では世の中全体が抱える社会問題に対し、２部では対象の学生より事前アンケートを行い、自分達が思う「住み暮らすまちが抱える課題に対し、自分にどんな社会貢献が行えるか？」という内容を行いました。

学生達の事前アンケートで分かったことは、社会貢献に対するイメージは「大変」が８割くらいを締めており、ほとんどの学生が、中学生の自分に社会貢献は難しいと考えていた事と、自分のまちが抱える課題に関しては、「少子高齢化問題」であると、課題をしっかりと捉えていたことでした。

この事業の目的は、子供たちに「自分にも社会貢献ができる」と認識してもらう事です。出前授業では、事前アンケートにあがった、社会貢献とは「大きなこと」「大変」そんなイメージから「小さなこと」でも社会貢献で、「それならできそう」と言うイメージを持ってもらえるように専念しました。

まちのゴミ拾い・地域の方への挨拶など、小さなことでも社会貢献だと伝えました。その小さなことこそが社会貢献で、地域の課題を解決することに繋がる最も重要なことだからです。具体例として、まちの魅力を発信することで成功している事例をいくつか紹介し、自分には何ができるか？を改めて考えてもらうと、学生からまちづくりの面白い意見がどんどん出てきました。

事業後のアンケートでは、学生全員が社会貢献に対するイメージが「大変」から「やってみようと思う」へと変わり、地域の将来を担う子供たちに、この授業が少なからずお役に立てていると確信しています。

ハロウィンパレード

多文化人プロジェクト
寺尾　健一郎 君

10 月 26 日(土)・27 日(日)と「ハロウィンパーティー in 菊人形　～この町の子供たちに素晴らしい思い出を～」を越前多文化人プロジェクトとプロジェクトＥさんとの協働にて武生中央公園で開催しました。

ボールすくいや射的、宝探しなどの縁日コーナーや、ステージ企画、ハロウィンを目一杯楽しめるメイクアップブースや、シュラスコ、レインボーわたがしなどの豊富な飲食コーナーを設け、菊人形に遊びにきたご家族連れやお子様がさらに楽しんでいただける設営を行いました。

特に、初日の 26 日には、パプリカダンス＆仮装パレードと銘打ち、多くの方が一緒になってダンスとパレードを披露する企画を実施しました。当日は天候も心配されましたが、200 名近くの方が集まり会場が一体となって大いに盛り上がりました。

二日目は雨に見舞われるなどのトラブルもありましたが、市や他団体と共に、外国人住民が中心となってまち・地域づくりに取り組んでいく素晴らしい機会となりました。しかし、非常に多くの点でプロジェクトＥさんの力に依存し、外国人と共に夢を描く委員会メンバーも主力となって成し遂げれられたというのが実情です。このような企画を継続し、真に外国人住民が中心となって企画・運営できるように成長していくことが、私たちが目指す多文化共生のまち越前に繋がっていくと考えます。最後になりましたが、多くの会員の方にスポンサー他、様々な形で多大なるご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

バースデー会員（秋と言えば○○）

佐々木　一峰 君

私事ですが、秋に入ってから食欲旺盛でして食べ物がすごくおいしく感じおります。体重計にて実際に計ってはいませんが確実に 3㎏は増量していると思います。冬に向けて脂肪蓄積型と楽観視しておりますが、スーツを格好良く着こなしたいので徐々に適正体重に戻していこうと思います。皆様もご自愛ください。

田邉　真樹 君

今月で 39 歳、油の乗り切った男ざかり真っ只中の田邉真樹です。

秋と言えば○○ですが、音楽、食欲、読書と色々ありますが、私はもっぱら音楽を聴くのが好きでございます。最近は脱線して、よく落語を寝しなに聴くのがブームなんですが、１人の人が何人も演じたり、手ぬぐいや扇子で色々表現したり話の最後はかならず落ちがくる。とても勉強になります。

好きな落語家は柳家三三です！

最後に、秋とかけまして、初の高座とときます。そのこころは！！

どちらも、きが、こうようします。

おあとがよろしいようで。

谷口　康介 君

秋と言えば「食欲」と言いますが、私は生まれてこの方、外見で認識できるほど太った経験も無く、そうなりたいと願っていても叶わぬ結果が続いています。ですから、今年こそは太ることを目標に、食生活を見直し、昨年以上に頑張っているところです。しかしながら、量を食べることができない自分にとっては過酷な行為でもあり、何とか、量を食べずに太る方法を現在模索中です。「量を取らずに太る方法」皆さんにアドバイスいただければと思います。

堀口　恒平 君

秋といえば、食欲の秋とか、芸術の秋とかいろいろあります。自分の家は酒造りをしているので、準備が始まります。飲むのはすきですが、酒を造るのはそんなにすきではありません。しかし、新酒を楽しみにしているお客様もいますので気持ちを切り替え頑張ります。

山田　敏史 君

共感を生み出すまちづくり委員会、山田敏史です。私の中での「秋といえば」は「収穫」です。夏から秋にかけて米の収穫が始まり、米袋に納めるともうすっかり秋真っ只中って感じです。JC で学んだ事を社業に生かして、これからも農業を通じて地域を盛り上げていきたいと思います。よろしくお願い致します。

土井　梨津子 君

秋といえば、私は「芸術に触れる秋」

本物を見て触れることは感性を磨き、私の仕事でとても大切な「表現力」を育てます。先日、日本新美術館で見た「カルティエ時の結晶」美しすぎる時計や宝飾、歴史に心を奪われました。時間は不可視で減るばかりで決して増えることがない。時間は命そのもの。それをどんな使い方をするのかは自分次第です。新しい私の１年はどんなワクワクが待ってるでしょうか。両親・家族みんなに感謝。

ギャップ萌え～

会員開発委員会 副委員長
佐々木　一峰 君

飲酒後の暴食

私ほどギャップという言葉が、当てはまらない人はいないのではないかと自分事ですが思っています。そうは言いつつも考え探したところ基本的には小食ですが、お酒を嗜んだ後の締めの麺類（ラーメン・パスタ・そば）に関しては、一緒にいる人が引くほどの量を食べます。青年会議所メンバーのK・N君は知っていますが、横にいて完全に引いていました。お酒で満腹中枢がバカになっていて底なしに食べることができると勘違いしていることと調子に乗って挑戦的になっている私ですが、今後は体のことを考えて控えていきたいと思います。これから忘年会シーズンに入っていきますので皆様もご自愛ください。

編集後記

今回、初めてしろばん記事の担当をさせていただきました。一言で言うと「大変」が率直な意見かなと（笑）ただ、構成を考えたり期日管理をしたりと普段得られない経験もたくさんできたので終わってみるとやってみて良かったなと感じています!!

また、次に担当になるときにはもっとオリジナリティーをもって面白い構成を考えてしろばん作成に挑みたいと思います！

（会員開発委員会　委員　　齊藤　史明 君）

（公社）武生青年会議所　対内広報誌

Shiroban

2019.12.5
Vol.620

見開き

理事長対談
褒章事業への意気込み

- 理事長対談～こぼれ話～
- お疲れ様！事務局長
- 誕生日記事（思い出の一枚）
- 2019 年度しろばん総括

理　事　長　対　談

11月20日、事務局にて五十嵐理事長と谷口次年度理事長予定者との対談を開催いたしました。理事長の任を背負う責任と、トップとして描く武生ＪＣ像をお聞きしました。

対談者
五十嵐本年度理事長・・以降「五十嵐」
谷口次年度理事長予定者・・以降「谷口」
インタビューアー会員開発委員会　土井梨津子

【一年を振り返っていかがでしたか？】

五十嵐：振り返るとウルッときますが、みなさんあっという間と言うが、僕は予定者から入れると長かった・・・毎日不安が大きかったです。「僕でいいのかな」という思いが大きかったですが予定者の段階でそれを払拭しようと努力してきました。所信をみんなが読み解いてくれ、委員長が苦労している姿を、理事長という立場でしか見られない姿を見ることができ、言葉にできないくらい素晴らしい経験をさせてもらいました。残り１ヶ月を胸を張って過ごしたいと思っています。

【所信を振り返り実現できましたか】

五十嵐：パーフェクトとは言えないけど実現できた部分も多くあると思います。
先月の褒章プレゼンでの委員長の話を聞いて所信をしっかり理解し、そこを目指し動いてくれていました。理想と現状の差が課題でしたが、今その差は明らかに縮まったと思います。

【今後、続けるべきもの、改善するべきものは何だと思われますか】

五十嵐：武生ＪＣの古い「しきたり」を続けてほしい。入会したばかりの頃はなんでこんな効率が悪いことをするのだろうかという思いがありましたが、色々な交流会に参加する中で、自然に武生ＪＣで学んだ所作が出ます。大きく時代が変わる中で自分が差別化していかないと生き抜いていけない時代が来ると思っています。その中でこの「しきたり」は価値あるものだと思っています。武生ＪＣと言えば　座布団から降りるしきたりですが　それをなぜしないといけないのかを説明できない人が多いのではないでしょうか。古いしきたりを後輩に伝えていく中で、きちんとその理由を説明し納得することで、自然とできるようになると思います。ＪＣ以外でやるかは本人の自由だと思います。

谷　口：しきたりの意味をきちんと理解していなければやる意味がない。やらされるではなく自然とできることが大事。それにはきちんと意味を理解しないとできないと思います。

【武生ＪＣのあるべき姿は】

五十嵐：とある大先輩が言っていたように　この町からなくなったら困る存在でないといけない 「街をもりあげる　活性化させる」団体は他にもたくさんある。武生ＪＣはそれだけではなくもっと掘り下げて活動するべき。
例えば社会実験を兼ねて事業をする。事業後にデータを取り、どう変化が起きたかを検証する。それを市や他の団体に提供していく。それができるのがＪＣ。他の団体ではできないことをするのがＪＣだと思います。

【この街にＪＣは必要ですか】

谷　口：ＪＣは行政の下請けではないということに最初は理解できなかったが　下請けをしようとしていたのではないか。行政は僕たち市民が作るもの。官民というけど民が作っている。市民がしっかりしていないといけない。市の脳は僕たち市民で行政は手足。行政に頼る感覚を捨てないといけない。ＪＣに入会し行政に頼るという意識はなくなりました。ＪＣはそういう団体です。なくなっては困る団体です。

【谷口次年度、理事長を受けた思いを教えてください】

谷　口：きっかけは自分ではなかったかもしれないです。瞬間的に、やってみないと分からないという気持ちが大きかったです。なんでも拒まずやる。そこまで悩まず受けさせてもらいました。
受けるにあたり一番頭に浮かんだのはメンバーのことです。今年度は五十嵐理事長から副理事長の職を頼まれ受けました。次年度ラストの年だなと、今までできなかったことをしないといけない思いみんなに追いつかないといけないという思いがありました。組織が大好きなので、先頭に立ち　汗をかいて成長の機会を提供し、その仲間でＪＣの理念とする「街への貢献」をしたい。今年度含め五十嵐理事長が僕のスイッチを押してくれました。

【今年度副理事長としてはいかがでしたか】

谷　口：近くでみていて反省でしかない。右腕にならなければならないのに副理事長として会をしっかり見ることができていたかと反省しています。
五十嵐理事長は優しいからあまり言わないけど。言わせてしまったことが何度かあるので反省しています。

五十嵐：よく優しいと言われるけど怒りまくっています。何回も怒っています（笑）。役職としてしっかりやっているのかと言ったことがある。月を追うごとにみんなの取り組む姿勢が良くなってきたのが分かりました。

谷　口：五十嵐理事長は多くを語らないがなにを思っているかを察し、自分の行動を正していきました。

【一年度の会員の姿をどうイメージされていますか】

谷　口：公益組織である以上　全会員が必ず成長しているという状態であってほしいです。会員同士のつながりが今以上に濃くなってほしい。それがＪＣ運動の核となる部分にいかされるはず。組織力が高い組織になってほしいし、そうしたいと思っています。

【次年度の所信に愛という言葉がたくさん出てきますが、どういった意図ですか】

谷　口：愛とは、いろんな切り口で言えるが　心がないと見出せない。形や建前だけでは通用しないことをつないでくれることが「愛」。人間にしかないのが「愛」。
「愛」はとても大事だと思います。

【最近愛を感じた出来事はありましたか】

谷　口：卒業生を送る会で　卒業生からの愛を感じました。

五十嵐：愛を普段から感じている人がいます。メンバーの関君。僕が何か落ち込んでいたりするとそれを知っているかのように電話をかけてきてくれる。「どうもー」って電話越しで言われると前向きになれる。いつも愛をもらっています。

【次年度への意気込みを教えてください】

五十嵐：今思うと１年間はあっという間でした。さらに次年度は加速していくのだと思います。一秒でも長くＪＣに愛を注ぎたい。１年しかないということをしっかり認識し、来年１年は全会員へ目を向けたいと思います。

【武生ＪＣに足りないものは何だと思いますか】

五十嵐：スピード感が足りない。行動が遅いと思います。「明日やろう」は馬鹿野郎だと思っています。時代の変化についていくにはスピードと行動力が必要です。

谷　口：各々がアンテナを張っていないとだめです。「聞いてない」というのはやめよう。自分からアンテナを張り自ら聞き動くことが大事です。
そして色んな人間がいるということ多様性を認めることと思います。

【ＪＣとは】

五十嵐：あらゆるものを前向きに変化させてくれる団体
谷　口：前向きに人を見る機会を与えてくれる団体

～終わりに～
インタビューが終わった後は観覧していた会員を含め和やかに話しました。普段は聞けないことも聞くことができ、とても有意義な時間でした。五十嵐年度から谷口年度へしっかりとバトンを渡し、全会員の更なる成長が期待できると感じました。

褒章への意気込み ～委員会～

総 務 委 員 会

橋本　英明 君

今年も総務委員会の花形事業である褒賞事業日が近づいてきました。

武生青年会議所における褒賞事業の意味は公開褒賞審査にて五十嵐理事長にご説明頂きましたので割愛しますが、今年は 1 年通して頑張った会員だけでなく「月間 YDK(やはりできる会員)」と称し各月ごとに青年会議所活動を頑張った会員を発表するという新しい試みを行います。

最優秀新人賞・最優秀会員賞、最優秀委員会賞ももちろん 1 年を通して選ばれた素晴らしい賞ですが、忙しい仕事や家庭環境の間を縫って JC に参加して頂いたこの月間 YDK にノミネートされた最大 11 名の受賞にも当日惜しみない賞賛を送っていただければ幸いです。

最後になりましたが三原委員長から提示されました「和」的なイメージを総務委員会が 1 つになって演出した褒章事業を是非とも堪能して行って下さりますようよろしくお願いいたします。

未来へつなぐ想い育成委員会

永宮　清勝 君

入会 4 年目の永宮です。今年は青少年委員会に配属されて何をするのか楽しみにしていました。例年キャンプなどをしていたイメージですが今年は出前授業でした。メンバー全員初めての事で不安な事もありましたが、やってみれば学校側からも良かったという言葉をたくさん頂きました。もう一度やって欲しいという先生方もおられ、これは大成功だったと思える結果になりました。委員会運営についても、いろいろな事があり人が少ない中でメンバー全員で助け合い率先して動く事がいかに大事かを痛感しました。日々学びの場があったこの青少年委員会が最優秀委員会賞を頂きに参ります。

共感を生み出すまちづくり委員会

加藤　貴士 君

私にとって今日は最後の例会。そして最後の例会アワーである褒賞事業。とうとうＪＣライフも終わりが近付き、少しずつ寂しい気持ちがわいてきてますが、今日はそんな気持ちを打ち消してくれると思っています。一年間ワイワイと頑張ってきた共感を生み出すまちづくり委員会のメンバーと笑顔で抱き合い、お互いの労をねぎらいたいと思うし、何よりもこんな素敵な委員会へと引っ張ってくれた水野委員長の晴れ姿を楽しみにしています。

褒賞事業は嬉し涙あり、悔し涙あり、楽しかった気持ち、つらかった気持ち等、心が詰まった時間です。みんなの姿を目に焼き付けて最後の例会アワーを終わろうと思います。

会 員 開 発 委 員 会

清水口　司 君

月日が経つのは早いもので 2019 年も終わりを迎えようとしています。

4 月に入会させて頂きましたが、僕の中での今年の会員開発委員会と言えば「ボーリング大会」と「新入会員オリエンテーション」です。

ボーリング大会は新入会員がメインとなって開催させて頂きましたが、多くの皆様にご参加いただき「楽しかった」との声を頂戴しました。これをきっかけに会員同士の関係構築が図れたと思います。

新オリでは、議案書作成・事業立案を通して今までにない視点でものごとを見ることができるようになりました。

これらは寺田委員長の掲げた重点目標でもあり、会員開発のメンバーはその目標を達成できたと考えます！是非、我々に最優秀委員会賞を！

外国人と共に夢を描く委員会

倉橋　豊 君

外国人と共に夢を描く委員会は 6 月に例会アワーを担当しました。そこで一つの市民団体「多文化人プロジェクトチーム」を立ち上げました。

そこに至る経緯は、大変な苦労があったように感じます。委員会内での折り合い、外国人とのコミュニケーション不足と斎藤委員長の声の小ささから、不安が伝染し実行委員会においての不協和音。正直つらたんでした。そんな泣き言を言っても物事が進むはずもなく、「ピンチはチャンス」と捉え、上地副委員長の持ち前の明るさと、何事も「いいですねー！」の言葉に励まされ委員会一丸となり挑戦をし、大和に集まる日々が続きました。

そして、さすが多文化の委員メンバーと思うくらい外国人並みに個性バラバラ、自由奔放、女性大好き、勝手に話をするなど豊富な人材が集い、語り合い現在に至ります。小さな点同士を繋ぎ、強固に結びそして大きな円となりしっかりと成果を残したこの委員会。褒賞はいただきだぜ！

会 員 拡 大 委 員 会

黒田　克也 君

褒賞を迎えるにあたり本年度を振り返ると、初めての会員拡大委員会配属となり、不安と期待が入り混じった状態で始まりました。初顔合わせにて向井委員長より「本年度は歴代最高となる 25 名の新規入会者を必ず達成したい」との熱い思いを聞き、なんとか一致団結して目標を達成したいと思いを持ち、事業構築に向けて講師がお住いの神奈川県小田原まで日帰り強行で向かったり、拡大リストを使いやすく作り直したり、拡大候補者へ手分けして向かうなど、このスペースでは書ききれないくらい委員会で動いていたなと思います。拡大人数こそ現状目標達成できてはいませんが、この一年を頑張って動いていて委員会へ是非褒賞をお願いします。

理事長対談 ～こぼれ話～

例会や理事会、地区フォーラムと五十嵐理事長がいろいろな場面で堂々と話している姿を 見てきて、すごい人だなぁと感じていました。そんな理事長と初めて話した時は、「理事長」という役職は僕のような入会したばかりの会員と話すのは恐れ多いことだと思っていましたが、ユーモアを織り交ぜながら気さくに話しかけてくださり、なんだかとても身近な存在に感じたのを覚えています。この対談を通じて、これほどの人でも、歴代理事長の姿に追われ「僕でいいのか」と不安や葛藤の日々が続いたことを知りました。バトンは谷口次年度理事長の手に渡り、1月からは「愛」に満ち溢れた武生青年会議所が始動します。会員一人ひとり道のりはそれぞれに、どんな成長が待っているかは自分次第ですが、理事長は、個々が成長できる機会と環境を準備できるかを日々考えなければならない役職であると感じました。

（会員開発委員会 委員　谷崎　将大 君）

★座布団豆知識★

座布団は奈良時代からの歴史があり「おもてなしの心」が宿っています。誰かが挨拶しているときに座布団からおりることは「相手よりへりくだる」意味があり、相手への敬意を表するものです。和室に通され座布団があるときも、主人を待つ間や挨拶の間は、座布団には座りません。座布団に座る際も下からにじみよるように座ります。

お疲れ様！事務局次長

総務委員会・事務局次長　永田　拓也 君

今年一年を無事に終え、我々が様々な経験をさせてもらえる機会の裏側には、必ず事務局の方々の段取りと配慮がありました。

彼らの配慮なくして会の運営は成り立たないですし、彼らの配慮に気づけない成年経済人であってはならないと思います。

一年間の彼らの労をねぎらいたいと思います。お疲れ様でした。本当にありがとうございました。

事務局次長を一年間させていただきました。最初に聞いた次長はどんなことをするかとかの説明では聞いてなかったことも多くありました。こんなこともしないといけないのと思うこともありますし、めんどくさいこともあります。本当になんで僕らがしないといけないのか分からないことも多くあります。それでも、この一年間、次長をさせていただいたことは本当に貴重な経験でした。普段なら気にもならないことが気になったりしますし、委員会メンバーとして活動しているだけでは経験できないこともあります。本当に貴重な一年を過ごさせていただくことができました。ありがとうございます。

バースデー会員（思い出の一枚）

安久　泰弘 君

みなさんご存じの通り私の趣味は筋トレですが、それ以上に実は一人で旅行に行くことが好きです。この写真は石垣島へダイビングに行ったときに仲良くなった友達です。いやらしい意味ではなく出会いは本当に大切で、人の人生を変えることもあると思います。これからもどんどん挑戦し色々な出会いをしていきます。また、子供も産まれたので今まで以上に家族を大切にしてＪＣ活動をさせていただきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2019年度しろばん総括

会員開発委員会 委員長　寺田　秀之 君

いよいよ本年度最終号となってしまいました。本年度のしろばんは対内広報誌として、各事業への参加意欲を高めることを意識して作成にあたりました。後半になればなるほど新入会員の斬新なアイデアにより、読み応えが高まってきたのではないでしょうか。

さて、総括ということですが、毎月頑張っていた会員開発のメンバーを褒めあげていただきたいと思います。たった４ページですがその想い、可能性は無限大です。

最後になりますが、寄稿や取材させていただいた会員の皆様、ご協力ありがとうございました。そして１年間2019年度しろばんを披見いただきましてありがとうございました。

編集後記

入会してから８ヶ月　あっという間に今年度が終わろうとしています。ＪＣとは何かを学ぼうと必死に行動したこの数か月。会員のみなさんの意外な一面を見られたり、一人では出てくるはずもないアイディアが生まれたりと、しろばんを通じたくさんのことを学びました。ただ学ぶだけではなく、今すぐ行動していくこれが大事だと思います。皆さんのご協力のおかげでスムーズにしろばんが作成ができたこと深く御礼申し上げます。

（会員開発委員会　委員　　土井　梨律子 君）